

#9 2016 JULY

複数の分野を横断する思考様式「内部観測」を試みるウェブマガジン

 村
 久
 梶
 國
 安

 山
 保
 田
 島
 ×

 悟
 明
 岳
 訪
 表

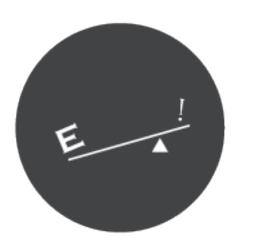
 標
 財
 去
 表

 杉
 本
 将





2016.7.23 vol.9



エウレカ記念日

巻頭言

わがままなワンタンとハッシュドブラウンポテト

久保明教

家庭料理の臨界(1)

小林カツ代×栗原はるみレシピ五番勝負

(構成)

(調理) **梶田岳志** 久保明教

村山悟郎

オートポイエーシスと内部観測、

そして制作論へ

57

23

9

7

街からダサい人が減ったのはなぜか

古着・ファストファッション・ファッションベンチャー

安喰教将

(司会) 澤宏司 × 國島萌衣

107 91

エウレカ記念日

成人や学校創立を記念してきた私たちであったが、サラダは新鮮でサラダの記念日が宣言されておよそ三○年が経過した。

サラズ(成人と同等に及うには、いらざはい)あった。

明らかだろう。これは記念日の日常化である。うことはない。そもそも成人の儀式とサラダのどちらがより身近かはサラダと成人を同等に扱うこと。いちど思いついてしまえばどうとい

こうの層を守ち戻して考える。あるいは、一方を也力で理解するに記念日的日常と日常的日常への二層化、そしてその再同化である。みなしたうえで、もういちど日常に戻せることを知ったことになる。サラダの記念日化を経験した私たちは、日常をいちど一段上のものと身近ゆえに記念日となりえない。これもまたありうる話だ。しかし

サラダ記念日の発見はエウレカ記念日でもあったのだ。う試みる。これぞエウレカへのひとつの第一歩ではなかったか。そう、二つの層を行き来して考える。あるいは、一方を他方で理解するよ

エウレカ記念日。カンチューハイで乾杯します。たった四杯で夜は

以下、今号の内容を概括する。

巻頭において久保は新連載『家庭料理の臨界』を開始する。本誌で大と同じ進行である。

の交わるところではなかろうか。 、栗原はるみレシピ五番勝負」。説明は不要であろう。初夏のある日 とはどこから来るのか。レシピと生活、平面化された情報とリアル しかしながら、参加者のコメントからは苦しさがにじみ出る。その苦 に行われたこの企画は、さながら、楽しいホームパーティのようだ。 の交わるところではなかろうか。

はたいへんな意欲作となった。 前号八号で往復書簡を寄稿、そしてその関連イベント「st:創造すが、 がったとは言い難い二者のあいだに真正面から挑む。そのうえ。現在、ウィーンで滞在制作中の村山はその制作の傍ら、オートした。現在、ウィーンで滞在制作中の村山は三万字を超える論考を著があったとは言い難い二者のあいだに真正面から挑む。そのうえが、現在、ウィーンで滞在制作中の村山は三万字を超える論考を著る相同」展に出展したアーティスト・村山は三万字を超える論考を著いたいへんな意欲作となった。

ファッションベンチャー。普通の生活者が日常的に接する衣料に詳しのバックグラウンドはそれぞれ古着と、ファストファッションおよび巻末では衣、ファッションをテーマとする対談を掲載した。対談者

い二人の会話から垣間見える「普通のファッション」とは何か。

今号九号の非明示的テーマは「生活」。ものを読んだり書いたりする。

きたとしたら、それは大きな喜びである。ることを始めてみる。今回の特集がそんな契機として少しでも貢献でいはずだ。ものを食べ、服を着る。日常のちょっとしたことから考え面倒くさいことを考えるのを好まない人でも、生活しない人はいな

S

E!

わがままなワンタンとハッシュドブラウンポテト家庭料理の臨界 1

久保明教

- 暮らし、見えない足下

日々、私たちは分析している。学問的営為に関わっているわけではらい。、私たちは分析している。学問的営為に関わっているわけではない。時間的に圧迫され、様々な思惑と関係性のなかを振りまわたちろん、私たちは常に能動的なわけではない。精神的に、身体的に、ち察し、整理した上で次の行動を模索して介入する客体とされる。かないであるにせよ、それを対象化し分析し介入することはできる。少ないであるにせよ、それを対象化し分析し介入することはできる。少ないであるにせよ、それを対象化し分析し介入するとはできる。少ないであるにせよ、それを対象化し分析し介入することはできる。少ないであるにせよ、それを対象化し分析し介入することはできる。少ないであるにせよ、それを対象化し分析し介入することはできる。少ないであるにせよ、それを対象化し分析し介入することはできる。少ないると、対象に関係を認識なくても、自らの能力や心理状態や仕事の進捗や周囲との関係を認識なくともそう信じて、そうふるまっている人間が少なくないことは、例のであるには、対象に対象をは、対象に関係を認識など、対象に関わっているとは、例のであるには、対象に関わっているとは、例のでは、対象に関わっているとは、例のでは、対象に関係を表しているとは、対象に関わっているとは、例のでは、対象に関わっているとは、例のでは、対象に関係を表します。

あり、認識し分析し――決して容易ではないにせよ――操作する対象ともに能動的だ。経済的活動や心理的動態や社会的関係は、私の外によ、心理学にせよ、社会学にせよ、学問的な知識の作り手と受け手はによって産出され、そのアマチュアによって受容される。経済学にせ社会科学的な知は、そうした「分析する私」のプロフェッショナル

とされる。

を知は暮らしを言語化するのに向いていない。 では、それを可能にしているものは何だろうか。乱暴に言えばそれでは、それを可能にしているものは何だろうか。乱暴に言えばそれでは、それを可能にしているものは何だろうか。乱暴に言えばそれでは、それを可能にしているものは何だろうか。乱暴に言えばそれでは、それを可能にしているものは何だろうか。乱暴に言えばそれ

は、枝葉末節を衒学的に言祝ぐだけに終始してしまう。 とことは極めて難しい。特定の暮らしを前提としての「暮らす私」に依存する。だから、「暮らし」を「分析」はその背景としての「暮らす私」に依存する。だから、「暮らし」を「分析」な時定の暮らし方を相対化できず、ただ肯定するように(1)、「分析する私」を問的分析が図(fgure)であるならば、暮らしは「地」(ground)だ。

ば、 中軸に据えるものではなくなってきたことの帰結である。 を欠いていたことではなく、 おいて、精神分析は学問的な知となりえた。 ア・ダリビの暮らし(3)において、夢を無意識の抑圧と結びつける らし」という見えない足下においてやんわりと規定されている。 念への学問的参照が減少してきたことは、 を伴った外部観測の体裁を整える。 条件としての暮らしの可変性を捨象し固定化することで一定の客観性 フロイト流の精神分析は有効性を持たない。 人の内面に求めていく、そういった暮らしを私たちがしている限りに 分析する私」の視界において何が有効で有意味で有意義か、それは「暮 暮らしは社会科学的分析の「境界条件」(2)であるとも言えよう。 夢を見たらその解釈のもと直ちに狩りに行くパプアニューギニ 私たちの暮らしが個人の内面 近年、 それが元から学問的精密さ 精神分析や無意識という概 社会科学的分析は、 あらゆる行為の源泉を個 への固執を 境界 例え

概念使用の終わりなき再帰的考察に嵌まりやすいのも、 立する範囲を若干逸脱した場所で展開されることになる。 庭料理をめぐる実践を対象とする本連載もまた、 る前提を一 ではなくイデオロギーの発露だと揶揄されるのも、 れないものとなっているからだ。 を占めており、だからこそ学問的対象としては一見して重要とは思わ いうものが学問の暗黙の前提としての の契機となってきたことにも確かな理由がある。それらは知を規定す ジェンダーや家族を対象とする社会科学的分析が、その言葉遣いや -それに規定されながらも-「暮らし」において重要な位置 掘り返す試みだからだ。 社会科学的分析が成 時に学問上の変革 しばしば学問 家庭料理と 家

もちろん、ここで扱うのは境界条件としての暮らしそれ自体ではな

の暮らしを照らし出すものとなっている。 様々な言説は、それらの齟齬や矛盾や変容を通じて、境界条件として私」の視界に入り込んでくる。だが、同時に家庭料理を分析的に語る評価や判断や提言が集中するものとなっており、しばしば「分析するい。私たちの生活を構成する要素のなかでも、料理はとりわけ様々ない。私たちの生活を構成する要素のなかでも、料理はとりわけ様々ない。

る。 としての暮らしの変容に光をあてることが試みられる。 らの間で生じる齟齬や矛盾や変容を検討することによって、 つの時期における家庭料理をめぐる様々な言説や実践を精査 新たな展開が模索されていく二○○○~二○一○年代である。 とりわけ現時点におけるその動態を捉えるために三つの時期を設定す 築主義では捉えきれない構築物である。 けのものにすぎない。 されるものも、激しい変化のなかで束の間安定した像を結んでいるだ 形態に対するポストモダニズム的懐疑が提起され改変が試みられた る意味でその近代化が完成した一九六○~七○年代、 構築する構築物 構築の前提をなす暮らしを構築する契機である限りにおいて単純な構 えば家庭料理もまた社会的に構築されるものであり、 れた不動のものであるかのようにイメージする。社会構築主義的に言 一九八○~九○年代、ポストモダニズム的改変の常態化を前提として 暮らしは常に変わり続ける。 私たちが現在イメージする家庭料理の基本的な姿が形成され、 (あるいは常にその構築性を忘却される構築物) を、 にもかかわらず、私たちはそれを脈々と継承さ 「家庭料理」という言葉からイメージ 本連載では家庭料理という、 同時に、 その基本的 境界条件 この三 社会的

分の適用は便宜的な比喩にすぎないが、家庭料理という暮らしが構築もとより、モダン/ポストモダン/ポスト・ポストモダンという区



その先駆けとなった一人の料理研究家にまずは焦点を当てよう。る。確立された家庭料理というフォーマットが突き崩されていく運動、たのかを捉えるために活用する。今日に続く家庭料理のダイナミズムされる領域において何が賭けられ、何が求められ、何が諦められていっ

2. おいしい時短

べている。「働く女性のキッチンライフ」と題された著作において次のように述「働く女性のキッチンライフ」と題された著作において次のように述を皮切りに日本を代表する料理研究家となりつつあった一九八一年、彼女、小林カツ代は、NHKの料理番組「きょうの料理」への出演

もっと大事なことは夫や子どもとの関係までざらざらしてくるのでざらつきは、ゴミ、ホコリがたまったという居心地悪さだけでなく、はざらざらし、居心地の悪いものになっていきます。働く女性が暮らしの部分に目をつぶると、たちまちにして家の中

何はともあれ「食」に目を向けたいのです。なくやりたい部分を重点的に、効果的にやっていくということで、てできかねるし、息切れしてしまいます。そこで、なるべくぬかりかといって、生活全般ぬかりなくなどといったことは、正直いっ

す。

少々のざらつきは大目に見られます。ただし、単においしくさえあ人間、おいしいものを食べていればかなりご機嫌でいられるし、

)。 ればいいかというと、人間は感情の動物ゆえ、そうはいい切れませ

も…ということもあります。[…]たとえば、味のいい店だからと外食やテイクアウトばかりではどう

考えていく。 知恵と工夫でカバーしていく、とにもかくにも食生活だけは第一に明恵と工夫でカバーしていく、とにもかくにも食生活だけは第一に時間の足りなさゆえに、毎回手のこんだ食事作りは無理にしても、

ろから考えていかなくてはならないことがわかります。(4)だけは確かです。「食を大切にする心」を持てば、かなり広いとこできるだけのびやかに、快適に過ごすための潤滑油になり得ること働く女性のキッチンライフの充実は、仕事を持ち続け、家族とも

この文章は、主に以下四つの要素から構成されている。①生活実感のではだけで構成されていれば、理知的で権威的な料理指南書となるだと④だけで構成されていれば、理知的で権威的な料理指南書となるだはである」)である。もしカツ代の文章が①と②だけで構成されているがのでではならない」)、④常識的な理念(「食を大切にする心」)である。もしカツ代の文章が①と②だけで構成されている。①生活実感に根ざした感覚的で曖昧な表現(「ざらざら」、「ざらつき」)、②穏やれば、生活を豊かな表現で綴る良質のエッセイに留まるだろうし、③利学的な観察と分析(「人間は感情の動物ゆえ」、「かなり広いとこの文章は、主に以下四つの要素から構成されている。①生活実感ろう。

り、肥るとわかっていても深夜にお菓子が食べたくなる。「働く女性」取るべきだと考えていても、時にはファストフードが無性に恋しくな「常識的な理念と生活実感はしばしば対立する。毎日健康的な食事を

ない熱意と工夫によって実現されうるものとして位置づけられる。 大で「暮らしの部分」に目をつぶりたいという実感のあいだで揺れ動かで「暮らしの部分」に目をつぶりたいという実感のあいだで揺れ動かで「暮らしの部分」に目をつぶりたいという実感のあいだで揺れ動いたことは、正直いってできかねる」)、実感に基づきながら無理のいったことは、正直いってできかねる」)、実感に基づきながら無理のかで「暮らしの部分」に目をつぶりたいという実感のあいだで揺れ動ない熱意と工夫によって実現されるるとして位置づけられる。

の数々であった。その代表作の一つを見てみよう。ではなく、なによりも彼女の代名詞と言える「おいしい時短」レシピ読者に送り届けたのは、上記のような食生活全般を考察する文章だけ実感を黙殺せずにより「ご機嫌な」生活を実現するためにカツ代が

「わが道をゆく! わがままなワンタン」

- く。(1) ワンタンの皮は三角形に半分に切る。豆腐、細ねぎを切ってお
- (2) A (長ねぎのみじん切り、しょうゆ、豆板醤)を混ぜあわせる。
- 一気に入れる。箸でかき混ぜてほぐす。(3) 鍋に水、スープの素を入れて火にかける。中火にしてひき肉を
- (4) 豆腐を加える。少ししてワンタンの皮を一枚づつ加えていく。
- ま油、塩、こしょうをふる。(5) (5) 皮に火が通ったら火をとめる。Aを加え、細ねぎを散らし、ご

一般的なワンタン料理では、Aと似た材料をひき肉と混ぜて団子に

なるように計算されている。 ですくって口に入れると通常のワンタンスープにかなり近い味わいにいう、料理の中核になる過程を削除することで短い調理時間を可能にいう、料理の中核になる過程を削除することで短い調理時間を可能にし、ワンタンの皮で包んでからスープで煮ることになる。これに対し

う通常の味噌汁と変わらない手軽な料理に変えてしまう。だが、 収まらない。それをカツ代は、材料を切って調味料で煮るだけ、 タンの調理法から外れて「わが道をゆく」レシピでありながら、 に作れるよ」というカツ代の提案には嬉しい驚きがある。 にとって、「こうすれば目先も変わってインパクトもある汁物が手軽 タンスープひとつでは物足りず、つい主菜とご飯を求めてしまう人々 理のワンタン(雲呑)は、 は、手間がかかりすぎる。 副菜・ご飯・汁物という家庭料理の定型的な組み合わせの一つとして 寒い日の夕食などにはぜひ献立に加えたい一品だろう。だが、 に濃厚な中華料理を味わいたいという「わがまま」を叶えてくれるの 柔らかい肉団子の食感とトロみのついた熱々のワンタンスープは、 日本の家庭料理の汁物カテゴリーにうまく 餃子と同じく一食の主役となりうる中華料 通常のワン 主菜

生活が送れるのだというメッセージを伝え、それを実現するための武という定説に従わなくても、「知恵と工夫でカバー」すれば「ご機嫌な」な時間の余裕がない中で「料理(例えばワンタン)とはこういうものだ」けでもなく、時間が短縮できて美味しいだけでもない。それは、十分このように、カツ代の「時短」レシピは、単に時間が短縮できるだ

器を授けるレシピなのである。

「簡単で美味しい」というイメージからは意外に思われるだろうが、「簡単で美味しい」というイメージからは意外に思われるだろうが、「簡単で美味しい」というイメージからは意外に思われるだろうが、「簡単で美味しい」というイメージからは意外に思われるだろうが、「簡単で美味しい」というイメージからは意外に思われるだろうが、「簡単で美味しい」というイメージからは意外に思われるだろうが、「簡単で美味しい」というイメージからは意外に思われるだろうが、

理を作ると調理と出来上がりの関係がつかめるようになり、 庭によって火力も違い、人によって味や食感の好みも違う。それを一 うがない。だが、「10分煮る」といった客観的な指示しかない場合 の言うコテッなのか」と。もちろん、それであっているかは確かめよ ろうか?」とか「たらこは煮汁を吸ったようだけど『コテッ』とから 律に「10分煮る」と言うのではなく、 してくれればいいのよ」という鷹揚なニュアンスが伝わってくる。 に比べて、 に適切なタイミングがわかってくる。「なるほど、これがカツ代さん まったのかな?」と、いちいち悩むことになる。だが、何度か同じ料 調理する側としては、「竹串は通るけど、これは『スーッ』なのだ その内実は各人に任せることで、彼女のレシピは作り手を育てる カツ代の記述からは「その辺の細かいところは自分で塩梅 擬音語でタイミングをマーク 自分なり 家

達とつながれば料理に対する自信も深まっていくだろう。といった擬音を思い浮かべて調理するのは楽しいし、その楽しさが上良くなり、他の料理にも応用できるようになる。「スーッ」や「コテッ」均質に火が通ると食感がボソボソしてあまりおいしくないことを調理均質に火が通ると食感がボソボソしてあまりおいしくないことを調理内側は火の通りが外側よりやや弱い状態だと理解している。内側までのだ(ちなみに私は現在「コテッ」とは、たらこの表面に照りがでてのだ(ちなみに私は現在「コテッ」とは、たらこの表面に照りがでて

て、 取らず、それでいておいしい! 仕事と家事を両立しなければいけな ピを大切にしていきたいです」。 の数々はありがたく、元気のもとでした […] 残していただいたレシ をもらって台所に立っています」、「カツ代さんのレシピは、 料理をするのがいやだなぁ…と、思ったのですが、 代さんのお人柄も、お料理も大好きで、共働きの子育て時代から、ず た『NHKテレビテキスト「きょうの料理」』 い私のような全国の主婦、母親にとって、 いぶん助けていただきました。[…]今年の札幌は30℃を超す暑さで、 んの声」欄(6)には、以下のような投稿が寄せられている。「カツ 創意工夫に満ちたレシピで読者の生活を応援してきたカツ代に対し 愛読者の多くは感謝を口にする。例えばカツ代の死後に出版され 励ましともいえるメニュー 増刊号の「読者の皆さ カツ代さんに元気 手軽で気

築(解体・再構築)していく高い分析力と構想力でもある。自分が働底的に疑い、食材や調理の相性を精査しながら大胆に定番料理を脱構が、それを可能にしたのは彼女の人柄だけでなく、従来の調理法を徹代から読者へ、読者からその料理を食べる人々へと伝わっていく。だレシピと文章を通じてカツ代が発信し続けた穏やかな愛情は、カツ

励まし、助け、彼女たちの「元気のもと」となりえたのである。多くの人々、とりわけ両者の相克に直面しやすい「働く女性」たちをらす私」を滑らかに接続することによって、カツ代は家庭料理を担うきかける対象を緻密に「分析する私」と穏やかな愛情を伝えながら「暮

3. 消費社会の家庭料理

られるがゆえの苦肉の策にも思われる。そもそも「時短料理」とは「正 る。この料理に限らず、カツ代のレシピのほとんどは、一目みて「主 料理とはこういうものだ」という暗黙の了解である。 統な調理法で作った料理と同じような物をより短い時間で作れる」と シチュー」、「ほうれんそうのガーッ」「ケンタッローフライドチキン」 菜・副菜・ご飯・汁物」のどれにあたるか判別できる。「なまけもの の定型的な献立における「汁物」というカテゴリーにしっかり収ま タンを大胆に脱構築した「わがままなワンタン」は、だが、家庭料理 の滑らかな接続は、 るカテゴリー自体から逸脱するものではない。 いうことであり、 め物」「自家製フライドチキン」のように)陳腐な家庭料理だと感じ るレシピ名は、意地の悪い見方をすれば、料理の構成に忠実な名前を つけると(例えば、「豚肉のシチュー」「ベーコンとほうれんそうの炒 (息子・小林ケンタロウの名を冠したレシピ)といった遊び心あふれ しかしながら、 料理名から想起される味わいやそれが位置づけられ 小林カツ代における「分析する私」と「暮らす私」 ある制約の下で可能になっている。それは 中華料理のワン 「家庭

確かに小林カツ代は既存の料理のありかたを疑い、解体し、再構築

料理の理念的なあり方自体は基本的に肯定されているのである。 とされる出汁の取り方や、高名な西洋料理研究家たちが広めた各種とされる出汁の取り方や、高名な西洋料理研究家たちが広めた各種とされる出汁の取り方や、高名な西洋料理研究家たちが広めた各種をされる出汁の取り方や、高名な西洋料理研究家たちが広めた各種をある手法を提示した。しかし、その挑戦の主な対象は日本料理で正統する手法を提示した。しかし、その挑戦の主な対象は日本料理で正統

をもとに新たな料理を作りあげる読者投稿レシピに注目する。一九八○年代初頭から九○年代初頭に割削されて若い主婦層の人気を集めた雑誌『すてきな奥さん』に掲載された、スーパーで購入した食品化は、家庭料理のあり方にも大きな影響を与えていく。例えば、生活化は、家庭料理のあり方にも大きな影響を与えていく。例えば、生活が、カツ代の『働く女性のキッチンライフ』が出版されただが、カツ代の『働く女性のキッチンライフ』が出版された

たものだ。
忙しい合い間を縫ってつくる料理は、おなじみの冷凍食品を使っ

チリコンカン」。ギョーザからつくる「揚げギョウザの香味ソーススープ、ウスターソース、チリソース、赤ワインを混ぜた「お手軽を通してつぶし、大豆の水煮缶、ピーマンみじん切り、ケチャップ、ベーコンを散らした「ホットポテトコロサラダ」。ハンバーグに火ポテトコロッケを揚げてつぶし、粒マスタードやたまねぎを加え、



肝心なのは、これが読者からの投稿だということである。実際にかけ」、肉だんごでつくる「ボリューム洋風茶碗蒸し」もある。

ある。 肝心なのは、これが読者からの投稿だということである。実際に 肝心なのは、これが読者からの投稿だということである。実際に まる。

日々、目先を変えて食卓に驚きを提供しなければ、自分も飽きる。夫があり手間がかかっていることをアピールしなければならない。女性も働く時代に専業主婦を選んだからには、料理にも創意工

7

が、 ラを失っていったように、『すてきな奥さん』の冷凍食品料理はもは らない。だが、カツ代の脱構築の標的が正統とされる料理のあり方や や脱構築とわざわざ呼ぶ必要も感じられない。そもそも冷凍食品自体 思想業界を席巻した「脱構築」という概念が、その標的となる近代的 築の標的はスーパーやコンビニで買える冷凍食品である。 その調理法だったのに対して、『すてきな奥さん』の読者が行う脱構 これらの「再加工料理」は小林カツ代の「おいしい時短」料理と変わ むしろ、これらの料理では、 な知や制度の権威がどれほど批判されようとも(批判されるべきもの 既存の料理を解体し再構築して新たな味を作る。その点において、 冷凍という技術を駆使して既存の料理を解体・再構築したものだ。 維持されるという状況がなくなるにつれてその特権的 九○年代の若い主婦から十~二○歳下の かつて学問 こなオー

ることに主眼が置かれている。四駆」と同じように、既存の商品を組み合わせて自分なりの一品を作少年たち(あるいは彼女たちの息子たち)が当時熱中していた「ミニ

カツ代の料理本において読者の範例であった「働く女性」がより一かツ代の料理本において読者の範例であった「働く女性」がより一かったいるのは「手作りの家庭料理」という発想そのものではないだろうに思われる。むしろ、『すてきな奥さん』の冷凍食品料理が標的とこまで改変できる発想と技術の持ち主であれば、スーパーで素材をと変わらないのではないか」という疑問は解消されない。冷凍食品をと変わらないのではないか」という疑問は解消されない。冷凍食品を上夫と手間をアピールし、食卓に驚きを提供することは十分できたよ前人し、自分なりのアイディアで手作りの家庭料理を作っても、創意に思われる。むしろ、『すてきな奥さん』の冷凍食品料理が標的としているのは「手作りの家庭料理」という発想そのものではないだろうか。

頻繁に使用される。それでも彼女の料理が手作りに思えるのは、スー小林カツ代のレシピでも、市販のケチャップやチキンスープの素が

作り」として特権視する、考えてみれば奇妙な通念だったのである。等)を組み合わせて料理を完成させることが「手作り」であるという時間改良された色鮮やかな南瓜を、食品メーカーが長年の研究をもとに加工したみりんと酒と醤油で調理した「かぼちゃの煮物」もまた、に加工したみりんと酒と醤油で調理した「かぼちゃの煮物」もまた、立派な「再加工料理」ではないだろうか。「手作りの家庭料理」という概念を支えてきたのは、スーパーで購入した「素材」をあたかも畑が概念を支えてきたのは、スーパーで購入した「素材」をあたかも畑が開金を支えてきたのは、スーパーで購入した「素材」をあたかも畑が開金を支えてきたのは、スーパーで購入した「素材」をあたかも畑がで自ら収穫した作物のようにみなし、収穫=購入後の加工のみを「手作り」であるというが、「手作りの家庭料理」というである。

代にカリスマ的な人気を獲得した一人の「主婦」であった。 でおりないものと買えるものといった二項対立を崩し、両者の関係を組み変えよものと買えるものといった二項対立を崩し、両者の関係を組み変えよらとする意志と才気を感じとることもできる。「家庭料理なるもの」を脱構築するだけでなく、その外部へと踏みだし、家庭料理なるもの」を脱構築するだけでなく、その外部へと踏みだし、家庭料理と間をアピールしたいという欲望だけではない。そこには、家庭料理と間をアピールしたいという欲望だけではない。そこには、家庭料理と同体を変容させていくこと。その本格的な展開を担ったのは、五夫と手におりてきな奥さん』の冷凍食品料理から読み取れるのは、工夫と手により、

4. ゆとりの天才

セラーを記録したレシピ本『ごちそうさまがききたくて。』の末尾で彼女、栗原はるみは、一九九二年に出版され一二一万部のミリオン

次のように述べている。

毎日うちで食べているおそうざいを集めたら、この本ができました。あらためて見直すと、「へぇ、うちって、食いしんぼうの友だちがいて、食いしんぼうの友だちがいて、そんなまわりの人たちから、どいえるかもしれません。今回は、思いかけず、食器もうちのものだから、これは、わたし流というよりも、みんなで作ったものばかり。といえるかもしれません。今回は、思いかけず、食器もうちのものだから、これは、わたし流というよりも、みんなまわりの人たちから、といえるかもしれません。今回は、思いかけず、食器もうちのものだから、これは、わたし流というよりも、みんなまわりの人たちから、といえるかもしれません。今回は、思いかけず、食器もうちのもができましたができましなができました。

麗な写真が誌面を彩る。愉快なネーミングやオノマトペに満ちている日うちで食べているおそうざいを集めた本が何でミリオンセラー?」と疑問に思うだろうし、彼女の本を愛読する人であれば、「そうそう、性たち、頻繁に訪れる多くの友人たちから好評を博すにいたったレシ供であることが繰り返し強調される。料理を中心に栗原家の落ち着きながらも素敵な生活をつづるエッセイ調の文章がレシピの合間に配置ながらも素敵な生活をつづるエッセイ調の文章がレシピの合間に配置ながらも素敵な生活をつづるエッセイ調の文章がレシピの合間に配置ながらも素敵な生活をつづるエッセイ調の文章がレシピの合間に配置ながらも素敵な生活をつづるエッセイ調の文章がレシピの合間に配置ながらも素敵な生活をつづるエッセイ調の文章がレシピの合間に配置ながらも素敵な生活をつづるエッセイ調の文章がレシピの合間に配置ながらも素敵な生活をつづるエッセイ調の文章がレシピの合間に配置なが、キッチンで躍動しリビングで寛ぐはるみのグラビア、料理だけでなく洗練された趣味でまとめられた食器や調理器具やできるが、「そうだ」といる。



ような体裁を取っている。
みの著作はさながらアイドルの写真集とライフスタイル誌が融合したとはいえ料理指南書の域をでないカツ代のレシピ本とは異なり、はる

だが、勿論はるみは自分と家族の素敵な生活を文章と写真で綴っただが、勿論はるみは自分と家族の素敵な生活と文章と写真で綴ったでは、勿論はるみは自分と家族の素敵な生活と文章と写真で綴っただけで一二一万部を売り上げたわけではない。彼女の真骨頂は、文章だけで一二一万部を売り上げたわけではない。彼女の真骨頂は、文章だけで一二一万部を売り上げたわけではない。彼女の真骨頂は、文章だけで一二一万部を売り上げたわけではない。彼女の真骨頂は、文章だけで一二一万部を通じて読者を「栗原さんちの素敵な生活」にそれを作るだけでといっという。

繰り返される膨大な数の試作である。

はるみの料理本が累計二千万部を超える売り上げを弾気が「ボタンを押すだけ」とも言われる簡単な操作によって支えられまって表敵な空間へと変容するのである。ただし、RPGの広範な人よって素敵な空間へと変容するのである。ただし、RPGの広範な人よかである。によるところが大きい。それを可能にしているのは、日々の方に、はるみの料理本が累計二千万部を超える売り上げを弾気が「ボタンを押すだけ」とも言われる簡単な操作によって支えられる形である。

て、何よりもうれしいのは、見知らぬ人から、「うちでも作ってみわたしのつたない料理を雑誌やテレビなどで紹介するようになっ

ことにはおかまいなく感想をきいています。(8) ら、さすがに「また、これ」と言われることもありますが、 納得がいかないものも。 ます。一度でこれ、と決まるものもあれば、なかには何度作っても の雑誌やテレビ番組が世の中に出るギリギリまで、 なことがないように、一度試作したものを紹介し、 しの料理を作ってみて、まずかろうものなら、 ました。おいしかった」と言われることです。 試作、 試作の毎日で、 申しわけない。 だから、 味見役は家族ですか そのあとも、 何回も試作をし もし、

変換したRPGが、「ボタンを押すだけ」でその世界に容易に没入し Ļ でおいしく見栄えのする料理を可能にする。 らないせん切りやみじん切りによってデジタル化された食材が、 操作できる状況を作りだしたように、単調ではあるが特別な技術の要 容易であり、調理環境や調理者の技術によって外観や味わいが変化す の調理と比べて、均質に細分化された食材は火の通りの管理や成形が 食材を均質に切断する調理法の多用である。 ける仕掛けがつまっている。その一つが、せん切りやみじん切りなど、 には、極めて高い確率で「簡単でおいしい」料理を読者=調理者に届 うに」という想いのもと、試作を繰り返して完成するはるみのレシピ は弱い。「まずかろうものなら、申しわけない、そんなことがないよ る余地が少ない。剣と魔法のファンタジー世界をデジタルなビットに ここには、小林カツ代のレシピから読み取れるような、 各人の工夫の余地を残し、料理の腕をあげてもらおうという配慮 もとの形状を残した食材 その一例を見てみよう。 読者を応援

「ハッシュドブラウンポテト」

これはむしろ、せん切りのじゃがいものためにあるような料理。せた切りといっても、それほど細く切る必要はなく、たとえ箸の太さほかりといっても全然かまいません。とにかく、その細切りにしたじゃがどになっても全然かまいません。とにかく、その細切りにしたじゃがをくずしてからめながら食べるのが、朝食の楽しみ。最近、細切りポをくずしてからめながら食べるのが、朝食の楽しみ。最近、細切りポをくずしてからめながら食べるのが、朝食の楽しみ。最近、細切りポケトの冷凍も売っていますが、そちらはもっぱら時間のないときのピンチヒッターです。

- (1) じゃがいもはせん切りにする。
- うをふって、同様に焼く。 ふたをして焼く。底面に焼き色がついたら裏返し、塩、こしょら、じゃがいもを入れて平らに広げ、塩、こしょうをふって、(2) フライパンを熱してバター、サラダ油を入れ、バターがとけた
- (3) じゃがいもに火が通ったら、器に盛り、目玉焼きをのせる。 (9)

も面白く、食べてみたいと思わせるのに十分である。カラフルなテー麗な円形にまとまって目玉焼きがちょこんとのった写真は、視覚的にかりだが、せん切りにしたジャガイモに香ばしそうな焼き色がつき綺調理に難しいところはなく、材料もどの家庭にもありそうなものば

ます」と綴られている。
天気のいい日は、庭に食器を持ち出して、朝ご飯を食べることもありで微笑むはるみの写真の横には「猫の額ほどの広さしかありませんが、朝方の日光が照らしていて、レシピの下部に配置された緑あふれる庭切かの日光の上に白い円形の平皿、その上に円形のハッシュドブラウブルクロスの上に白い円形の平皿、その上に円形のハッシュドブラウ

理を作って食べれば、傍らに配置された素敵な食器や調理器具やテー 空間へと変容していく運動に誘われる。 買い求めるついでにショップに立ち寄ることもできる ブルクロスも欲しくなる。はるみは自らセレクトしたそれらの雑貨を 実際に調理して味わうことを通じて、ありふれた家庭の空間が素敵な 外観をもち簡単で美味しい料理に他ならない。読者はレシピ本を読み、 の主婦」から「素敵な生活」への移行を可能にするのは、 額ほどの広さしかありませんが」といった記述によって、自分がどこ そちらはもっぱら時間のないときのピンチヒッターです」とか「猫の く素敵に見せる一方、「最近、細切りポテトの冷凍も売っていますが、 せる。おしゃれな料理写真や調理器具によって自らの生活をこの上な で販売しているので、レシピに載った生ハーブなどの食材を百貨店で 全国主要都市の百貨店内インショップ「share with Kurihara harumi_ にでもいる普通の主婦でもあることがさりげなく強調される。「普通 ことのないはるみは、その代わり、 カツ代のようにレシピの調理指定に読者が入り込む余地を確保する エッセイ風の文章のなかで隙をみ レシピ本に載った美味しい料 洗練された

しているのか、「栗原さんちの素敵な生活」に憧れてそれが詰まったこうなると、読者は美味しい家庭料理を作るためにレシピ本を購入



だが、 研究家・心平が代表取締役を務める株式会社「ゆとりの空間」 原さんち」とは、はるみが社長を、夫・玲児が取締役を、長男の料理 家庭料理」にすぎないようにも思えてくる。そして、ここで言う「栗 味」にはならないために、彼女のレシピは本代と調理という手間を払っ り返し作っても自分の癖がつきにくい。いつまでたっても「我が家の くなる。 商品(レシピ本や雑貨)を購入しているのか、容易に見分けがつかな に他ならない。資本金七千万、二百人の従業員を抱える同社の事業規 て「栗原さんちの味」をお取り寄せする手段、いわば「お金で買える しく見栄えのするものであり、何度も作って定番になった料理もある。 本連載に先立って調理したはるみレシピの数々は、意外に簡単で美味 として読むだけでも十分に楽しめるように工夫されている。 誰でも美味しく作れるように構築されたはるみのレシピは、 はるみの料理本自体、 レシピとして用いずライフスタイル誌 確かに、 のこと

原家) 味わう)という、より直接的な関係へと変換される。栗原はるみとは、 料理はそのまま「ゆとりの空間」という企業の活動であり、 とめられて二千万部を超える売り上げを達成してきた。栗原家の家庭 まずもって、 るという旧来の図式における企業と家庭の間接的な関係は、 商品である。 価した)料理は「みんなで作ったわが家流」のレシピを集めた本にま 日々、主婦(=社長)であるはるみが料理を作り(=試作し)、家族 が食べる 料理を通じて家庭生活を消費社会にダイレクトに接続し 出版社が販売するレシピ本を参考にして家庭で料理を作 (家庭料理) (=試食する)。家族が美味しいと言う (=幹部が評 を家庭で消費する(=レシピを見て調理し 企業 その主力 $\widehat{\parallel}$

た天才的な企業家として評価されるべき人物なのである。

れる。それを可能にしているのは、 下の「分析する私」は、 味料を使いながら外食の濃い味付けに負けない、味のインパクトと安 となる。しばしば「濃い」と評される味付けも、 ピは、家庭料理を外で食べる料理に確実に近づけてくれる稀有な手段 が家の味」へと集約させることには無理があるし、だからといって、 もコンビニやファストフード店やファミリーレストランで様々な料理 とは異なり、一九九○年代の家族を構成する各人は、家庭料理以外に 好みをすりあわせることが重視された一九六○~七○年代の家庭生活 品のようにも見えるだろう。だが、 ものにすぎないと考える人々からすれば、 が家の味」であるべきで、レシピ本はあくまでその参考に用いられる ンを雑誌で調べ、多彩な食材を知り、 論とは対照的である。 されるワンタンを味噌汁のバリエーションに落とし込むカツ代の方法 定感を生みだすことに寄与している。その方法論は、 食べるのはあまりに寂しい。そう感じる人々にとって、はるみのレシ 各人の好みの味をコンビニで買い集めて別々の食品を同じテーブルで を日常的に味わい、自らの味の好みを育てている。それを一律に「我 出にくいはるみのレシピは「我が家の味」の熟成を阻害する悪しき商 家庭料理とは家族の皆の好みをすりあわせながら作りあげられる「我 家族が囲む食卓に向けて料理を供する「暮らす私」と滑らかに接続さ しかし、それは必ずしも否定的な評価であるとは限らない。 はるみ本の愛読者において、 雑多な家事に追われながら好みのバラバラな 家庭料理を絶えず精緻に分析する 出身地の異なる夫婦が異なる味の 常に新たな味を求める消費社会 誰がつくっても味の偏りが ありふれた家庭の調 美味しいレストラ 中華料理店で供 確かに、

模は、

料理研究家の個人事務所の範疇を遙かに超えている。

暮らしを送る、栗原はるみという社長=主婦に他ならない。

け確実に変える自由度を持っているのである。 べる「お店の味」を部分的に導入しながら家庭料理の枠組みを少しだ ンとナチュラルチーズを添えても合うだろうし、お気に入りのベーグ ルや冷製スープをあわせてもよいだろう。はるみのレシピは、 洋風朝食にブラウンポテトが加われば、食パンではなく堅いドイツパ のかたちを変えうる。目玉焼きと付け合わせと食パンという定型的な りじゃがいもソテーに目玉焼きを崩して食べるブラウンポテトは朝食 味付けもそれほど変わらない。 ものばかりで、朝食の目玉焼きの傍らに供されるじゃがいもソテーと 味料や得体の知れないスパイスは入っておらず、 テト料理にもなるだろう。だが、はるみのレシピには味の濃い旨み調 を取れば有名ハンバーカーチェーン店の朝のセットの付け合わせのポ 「ハッシュドブラウンポテト」は、もう少し規格化された製造過程 だが同時に、円形に延ばされたせん切 材料はなじみのある 外で食

を土鍋に注ぎ、和食然とした鯖の味噌煮にパンを添える)によって、を土鍋に注ぎ、和食然とした鯖の味噌煮にパンを添える)によって、ワインと相性のよい生ハムやバジルの葉をのせた「レンコンのピクルカフェのワンプレートランチのように味付けを変えた「さばの味噌煮」、バゲットを添えて土鍋で供される「オニオングラタンスープ」、焼いたサンマとレンコンと白米を炊きこんでケチャップをたらした、カフェのワンプレートランチのような「サンマの洋風炊き込みごはたいがれま、意外な食材の組み合わせ(レンコンと生ハム、サンクとケチャップ)や、華やかで驚きのある盛りつけ(グラタンスープ」、大切のでは、いずれも、意外な食材の組み合わせ(レンコンと生ハム、サンカン・パートランチのような「サンマの洋風炊き込みごはたいずれも、意外な食材の組み合わせ(レンコンと生ハム、サンカン・パートランチのような「サンマの洋風炊き込みごはかい」とは、いずれも、おかで驚きのある盛りつけ(グラタンスープ)、カッ代とは異なり、はるみのレシピ本には「主菜・副菜・ご飯・汁」を土鍋に注ぎ、和食然とした鯖の味噌煮にパンを添える)によって、たりは、いずれば、大口で、おは、いずれば、から、おりによって、

空間」を生みだすことによって、消費社会のなかで家庭生活を送る多 変換するのではなく、 できるようになっている。 定型的な献立の一品としてレシピを活用することも可能だ。 こともできる。 な見た目のおかげで、それ単体でランチや夕食にして洗い物を減らす バゲット付きオニオングラタンスープや洋風炊き込みご飯は、 の洗練された見た目に反して、食材のほとんどは容易に家庭で手に入 家庭料理を洒落たレストランやカフェの料理へと近づける。 くの人々を助け、 はその内部に置かれており、 に美味しい。 な食器や調理器具を購入してもよいが、なじみの食器で食べても十分 いって、それに倣う必要もないし、「主菜・副菜・ご飯・汁」という るものであり、プロの料理人のような調理技術が必要なわけでもない。 定型的な家庭料理の外部に踏みだしながらも、 レシピ本でワインやバゲットが供されているからと 励まし、 両者のはざまに自由に行き来できる「ゆとりの 魅了してきたのである。 栗原はるみの著作は、 読者はその時々で両足のバランスを調整 家庭をレストランに だが、 常に片足 おしゃれ 華やか

5. そっけない論争

理と外食の区分といった点において、両者は明らかに異なる方向性をピの基本的な特徴、読者である家庭料理を担う人々との関係、家庭料懐疑と改変の推進者であった。だが、ここまで見てきたように、レシ民主化」(10)を進めた料理研究家として並び称されることもある両民主化」(10)を進めた料理研究家として並び称されることもある両

提示してもいる。

年にケンタロウが交通事故で重傷を負った後、心平に交替)。たり、自己の立場を理論的に正当化しようとはしない。九○年代以降おる小林ケンタロウと栗原心平は、ともに二○○八年に始まったテレある小林ケンタロウと栗原心平は、ともに二○○八年に始まったテレーでででは、は安たちは同時代の学者たちのように、お互いを批判しとはいえ、彼女たちは同時代の学者たちのように、お互いを批判し

らす私」 だが、簡単で美味しい料理を媒介として人々の生活に浸透していった 理を中心として生活を精緻に「分析する私」であると同時にそれを「暮 はるみが明示的な論争を繰り広げることはなかった。彼女たちは、 えしてきた。 としての暮らしの変化に寄り添い、 彼女たちの仕事は、 であり、暮らしをその外部から観察し分析する社会科学者ではない。 料理研究家としての共通点は多く、 へと滑らかに接続することによって人々を魅了してきた存在 能動的で分析的な私たちの日常的活動の境界条件 変化をあぶり出し、 活動の場が近くても、 変化を推進さ カツ代と 料

十分通用するインパクトと懐かしい家庭料理の味わいを自らの手でつの流れであるように思われる(11)。カツ代のレシピには、現代でも身体のなかに染みわたっている。けれど、やはりそれは異なった二つ様々な齟齬や疑問を感じさせはするものの、すでに私たちの暮らしとせずとも食べなれた定番料理の源となっており、それらの味わいは、意識本連載に先立って二人のレシピを繰り返し調理し味わった私自身が

験の中で「分析する私」と「暮らす私」 される過程で生じたそっけない論争を追跡する。 年代、カツ代とはるみが標的とした家庭料理の定型的なあり方が確立 女たちのレシピは無言のままそっけなく、 理臭が疎ましくなる。 と外食に負けない強さをもった味わいが生みだされる楽しさがある。 を重ねるだけで本に掲載された写真とあまり変わらない派手な見た目 繰り返した五番勝負を以下でお送りする。 カツ代と栗原はるみの著作から各五つのレシピを選び、 章に頼った本稿では表現しきれない領域、 える無言のそっけない論争は、それに先行する争いを前提とし、 なり、はるみの料理を味わっているときには、 カッ代の料理を楽しんでいるときには、はるみレシピの外食臭が嫌に くりだす技術を育む喜びを感じるし、はるみのレシピには簡単な調理 に後続する争いの前提をなしている。 一九八○~九○年代を代表する二人の料理研究家のレシピから味わ 後者から前者が逃れようとする運動を体感していだきたい。 明示的な論争を繰り広げることはなくても、 連載次回では、一九六〇~七〇 が交差し、 しかし激しく戦っている。 料理を作り味わうという経 カツ代レシピの家庭料 だが、 前者から後者が逃 調理と試食を その前に、 それ 文

注

- 279頁 神の生態学(改定第二版)』 佐藤良明訳、新思索社、258一(1)グレゴリー・ベイトソン 2000「遊びと空想の理論」『精
- jp/#lprojects/c10d6)8―31頁(2)松野考一郎・上浦基(2014「内部観測 The Origin」『ヒ』

11

- (∞) Roy Wagner 1972 Habu: The Innovation of Meaning in Daribi Religion The University of Chicago Press
- うるおいのある食卓の作り方』大和書房、4―6頁(4)小林カツ代(2014『働く女性のキッチンライフ~手早く、
- ま筆者。 の具体的な数量、独自の表現にあたる部分は省略した、括弧内(5)『決定版 小林カツ代の毎日おかず』講談社、43頁、レシピ内
- (6)『NHKテレビテキストきょうの料理二月増刊号 まだまだみた
- の80年』筑摩書房、139-40頁(7)阿古真理 2013『昭和の洋食 平成のカフェ飯 家庭料理
- (8)栗原はるみ 1992『ごちそうさまが聞きたくて』文化出版局、
- (9) 同書、55頁、レシピ内の具体的な数量は省略した。
- が、本著および前掲書をはじめとする家庭料理の歴史に関するその時代』 新潮社、145頁。次回から詳細に言及する予定だ(1) 阿古真理(2015 『小林カツ代と栗原はるみ(料理研究家と)

た料理研究家として平野レミを挙げることができるだろう。格で、家庭料理をめぐる社会・経済・女性史的コンテクストと家庭料理の関係については阿古の著作がすでに優れた記述と分析を十分に展開しているからである。
市短のテクニックを外食に負けないインパクトのある出来上がりへと結実させることで、カツ代とはるみの方法論を融合させりへと結実させることで、カツ代とはるみの方法論を融合させに、
京の子グニックを外食に負けないインパクトのある出来上がりへと結実させることで、カツ代とはるみの方法論を融合させた料理研究家として平野レミを挙げることができるだろう。
本阿古の著作は、本連載にとって最も重要な先行研究である。本

E!

小林カツ代×栗原はるみレシピ五番勝負

(構成) 久保明教

.調理)梶田岳志

膨大な二人のレシピから各五つを選び、友人達と一緒に実際に調理した。試食コメントと ツ代。アイドル的な人気を集め一九九○年代を代表する料理研究家となった栗原はるみ。 投票による対戦形式で紹介する。 簡単で美味しい料理の数々を提案し一九八○年代を代表する料理研究家となった小林カ

する家庭料理のあり方の違いを感じながら読んでいただきたい。 決にはなりにくく、不釣り合いに思われる組み合わせも少なくないだろうが、二人が提案 ものを選んだ(1)。大きく異なる個性を持つ両者のレシピだけに、がっぷり組み合う対 比較や調理がしやすいようにある程度は類似していて/両者の創意や特徴がよく出ている 特に人気の高いレシピを集めた二人の料理本から、 家庭料理の定番から大きく外れず、

第一戦、昼の副菜

にして肉料理やタルタルソースにも転用できる自家製ピクルスを選んだ。いずれも酸味を 料理「ライタ」からヒントを得たと思われる胡瓜のサラダ、はるみレシピは、みじん切り 加えた爽やかな野菜料理だが、受ける印象はずいぶんと違うものになった。 …まずは昼食のサブメニューから。カツ代レシピは、南アジアで広く食されるヨーグルト 器にヨーグルトごと盛り、ミントの葉を飾る。混ぜ合わせてきゅうりをあえる。ラップをかけて冷蔵庫で冷やす。すい大きさに切る。プレーンヨーグルト、塩、白こしょうをよくすい大きさに切る。プレーンヨーグルト、塩、白こしょうをよく





自家製ピクルスミックス(栗原はるみ)



試食コメント



田本はる菜(一九八四年生まれ、沖縄県西表島出身、茨城県つくば市在住)

図者 キューカンバーサラダ

理由 題性があったのだろうか? ダはその点、さわやかに食べられる。平凡だが、サラダだし平凡でいいと思う。しかし すっぱい漬け物でしかない。マイナス点がピクルスにいきました。キューカンバーサラ 一九八○年代のレシピだと思うと、ヨーグルトにキュウリって、酢豚にパインくらいの話 ピクルスは綺麗だけど、要は紅白なますじゃねえか、と思った。すっぱい漬け物は

澤宏司(一九七一年生まれ、東京都練馬区出身、同杉並区在住)

著 キューカンバーサラダ

理由 ので毎日でも食卓に出せますが、子どもが成人した頃に「実は嫌いだった」と言われそう うりとヨーグルトのサラダ」ですので、ネーミングの勝利もあるかもしれません。手軽な です。ピクルスは味が濃かったです。 シンプルでおいしいです。ミントのアクセントがさらによかったです。実質は「きゅ

E!

梶田岳志(一九八二年生まれ、京都市下京区出身、東京都目黒区在住)

勝者 キューカンバーサラダ

作らなさそう。 スの組み合わせは厳しい。ただし、パンなどに挟むと味の濃さが活きてくると思う。バゲッ コンセプトが実態の美味しさに追いついていない感じはある。また作るかと言われれば、 カンバーサラダは、手軽に作れて、箸休めとしての役割もまっとうし、ミントがアクセン トが常備されているライフスタイルにおける、漬物的ポジションの提案ではないか。キュー トとなって食卓の楽しさにも寄与する三方良しのレシピ。ただし、肝心の味は今ひとつ。 ピクルスは単品では味が濃く、箸休めに使いにくい。味の濃いメインとこのピクル

久保明教(一九七八年生まれ、神奈川県大和市出身、東京都国立市在住)

著 自家製ピクルスミックス

理由 けるが、子供のころ風邪の時に食べて戻したりしたら、一生食べられなくなっていそう。 僅差でピクルス。キューカンバーサラダはどこか湿っぽい。今ならおいしくいただ

結果

栗原はるみ O勝3―1で小林カツ代「キューカンバーサラダ」



第二戦、昼の主菜



・昼食のメインはパス

どこをとっても対照的で好みが分かれそうな二つのレシピだが、結果は一方的だった。 …昼食のメインはパスタ対決。手軽さと本格感、ボリュームと洗練された味の組み立て。



じゃが芋スパゲティ(小林カツ代)

加えて混ぜる。器に盛り、粉チーズとパセリをふる。たじゃが芋を入れ、強火で炒める。ゆで汁を少しとスパゲティをかけ、にんにくを加える。よい香りがしてきたら、水けをよく切っかけ、にかで、ゆで汁はとっておく。オリーブ油と赤唐辛子を中火にじゃが芋は細切りにして、水にさらす。スパゲティは表示どお



スパゲッティミートソース(栗原はるみ)

を加え、ひと煮立ちさせてアルコール分を飛ばし、デミグラスソー じん、セロリを加えて炒め、マッシュルームを加える。赤ワイン ひき肉を加えて炒め、塩、こしょうをふる。さらに玉ねぎ、にん ライパンにオリーブオイルを熱し、にんにく、ベーコンを炒める。 にんにくはみじん切りにする。マッシュルームは水気をきる。フ ベーコン、玉ねぎ、にんじん、セロリはそれぞれ粗みじん切り、

る。 スターソース、塩で味を調える。ゆでたてのスパゲッティにミー スを加える。 トソースをかけ、パルメザンチーズのすりおろしをたっぷりかけ ノなど)を加えて混ぜながら少し煮て、全体がよくなじんだらウ さらに好みのハーブ(バジル、タイム、ローズマリー、オレガ





試食コメント



勝者:スパゲッティミートソース

田本

理由:どっちもピンとこなかった。そもそもカツ代の「じゃが芋スパゲティ」は、なんで

ば、パッと見て子どもが喜ぶゴルショーク(注:シチューを壺などに入れパイ生地を被せ 個人的にはもっと単純にトマトっぽい味がしてもいいと思った。ケチャップを入れたらい ジャガイモをいれるのかわからなかった。栄養的にも炭水化物のみだった。 かった(今もだが)。凝ったミートソースは、わかりにくい。大人向けだと思う。 て焼きあげたロシア料理)とか、生クリームのかかったビーフシチューとか、わかりやす い! そういえばうちでは母がミートソースを作ることってあまりなかった。洋食といえ どちらかといえば、はるみのミートソースがおいしかったが、食べ慣れない味だった。

澤

勝者:スパゲッティミートソース

理由:ミートソースは懐かしい学生街の味で美味しく頂きました。ただし、栗原はるみさ んのイメージはこれでいいのかと人ごとながら心配です。じゃが芋スパゲティは、たとえ

気にする母親は怒る、そんな一品です。 休日に父親が子どもに出す、子どもは喜んでワシワシ食べる、でも栄養バランスを

梶田

勝者:スパゲッティミートソース

シピになっていたのかもしれない。じゃが芋スパゲティは、 理由:キューピー的なトマト味ミートソースではなくボロネーゼという印象。 ている感じがあり、見た目を良くするパセリが味に効いていないように思える。これなら ので、いま使える感じはしないけれど、かつては少し特別感のある、家庭で使いやすいレ えて、たっぷりの野菜を使っていることで、子供にも食べさせたいと思えるのではないか。 とはいえ、古めかしい味で、もはやドミグラスソースはごちそう感をもたらさないと思う ペペロンチーノとじゃがいものサブ一品を作る。 「きょうの料理」的なオーセンティックさがあるが、スパゲティというカジュアルさに加 単調な味を見た目でごまかし その意味で

久保

勝者:じゃが芋スパゲティ

が、 理由:僅差だが、手早く簡単に作れ、食材も少なくてペペロンチーノより食べごたえのあ で食べていたミートソースは、ひき肉とにんじんと玉ねぎを炒めてケチャップとウスター る「じゃが芋スパゲティ」は使いやすいレシピと思う。夜食に良さそう。ミートソースに いたはるみのミートソースには物足りなさを感じた。 ソースをたっぷり同量くわえた(水なし)もので、子供っぽい味と言われればそれまでだ ついては、どうしても「ミートソースはこういうものではない!」と思ってしまう。 凝縮された旨味たっぷりの肉汁を求めて今でも時おり作ってしまう。上品で抑制の効

結果 栗原はるみ「スパゲッティミートソース1―3で栗原はるみ「スパゲッティミートソース 1 1 勝勝



第三戦、夜の副菜

出せばどちらとも相性が良い。二人が提示する異なった家庭料理のスタイルのなかで、お 酒と主食をつなぐという同じ役割を果たす二品の対決となった。 前者は日本酒のあてにもご飯のおかずにもなり、後者はワインやバゲットを揃えた食卓に …夕食のサブメニューは、たらこの煮物とニョッキという異色の組み合わせ。とはいえ、



大根たらこ煮(小林カツ代)

大根は皮をむき、半月に切る。かぶるくらいの水を加えて竹串、大根は皮をむき、半月に切る。かぶるくらいの水を加えて竹串でまうが汁を回しかけ、少し煮て火をとめる。 大根は皮をむき、半月に切る。かぶるくらいの水を加えて竹串でようが汁を回しかけ、少し煮て火をとめる。



(栗原はるみ) じゃがいものニョッキ、レンジトマトソース

耐熱ボウルに玉ねぎとにんにくを入れ、オリーブ油をかけて 一大のでは、 一大のでは、 一大のでは、 でもかいもは皮をむいて四つ割にし、水にさらして水気をよく きる。キッチンペーパーを敷いた耐熱ボウルに入れ、与ップをし ですり混ぜる。生地を二等分にしてそれぞれを棒状にのばし、2 ではり混ぜる。生地を二等分にしてそれぞれを棒状にのばし、2 のはである。 ではりる。表面をフォークで軽くつぶして格子状に編み目 をつけ、鍋にたっぷりの湯をわかしてゆでる。ニョッキがゆであ をつけ、鍋にたっぷりの湯をわかしてゆでる。ニョッキがゆであ がったら器に盛り、熱いトマトソースをかける。パルメザンソー ス、粗びきこしょうをおろしかけ、バジルの葉を添える。



試食コメント

田本

勝者:じゃがいものニョッキ、レンジトマトソース

<u>う</u>。 にも似た、クニョクニョとした食感も良い(むしろトマト味のすいとんなら簡単で良いの 理由:手をかけただけある。ニョッキは珍しいし、見た目にも楽しい。若干「すいとん_ 頃にはビールを飲みすぎていたせいか生姜の微妙な味がよくわからなかったためだと思 ればすごくいい(大根たらこ煮がピンとこなかったのは、冷めていたせいもあるが、この ゲティでは代替できない。この柔らかなフォルムとクニョクニョがなんとも言えない幸福 な感じをもたらすからだ。確かにバゲットがあればちょうどいいし、なくてもワインがあ ではないか?)。私にとってはすいとんがうどんで代替できないように、ニョッキはスパ

澤

勝者:大根たらこ煮

そうでない取り合わせ、味を出す役割と染みる役割のバランスがよかったです。それにし 理由:ニョッキは美味しいけど普通、パンチがやや足りないです。大根とたらこは、 ても最近のグリーンピースっておいしいですね。

伊集院萌(一九九〇年生まれ、埼玉県川越市出身・在住

勝者:大根たらこ煮

理由:大根とグリーンピースとたらこの組み合わせが意外と良い。味が染みたタラコ、 感がプチプチしておいしかった。味が染みたグリーンピースも意外と和食ぽい味で結構お いしい。ニョッキの方はトマトソースの味にもう一工夫ほしかった。

梶田

勝者:大根たらこ煮

理由:たらこの旨味を大根とグリーンピースに染み込ませ、 キじゃなくてトマトソーススパゲティで良いと思ってしまう。 きを得られない我々にとって、手間をかけてこのレシピを作るなら、トマトソースニョッ となお染みる。ニョッキはおいしいのだけれど、平凡な美味しさ。ニョッキではもはや驚 とめるテクニックは見事。カツ代の構想力が遺憾なく発揮された一品。 清涼感のあるしょうが汁でま 酒を飲みながらだ

久保

勝者:大根たらこ煮

理由:実はたらこ煮を作るのは三回目なのだが、これまではレシピ指定の煮汁がかなり少 作っても楽しい。 少ない煮汁で十分煮ることでタラコの味を煮汁に閉じ込め、その煮汁を下茹でした大根と ないので焦がすことを恐れて煮汁全体の分量を増やしていた。今回レシピ通りに作って、 スという禍々しい色合い、意外な組み合わせの食材が不思議とまとまっていく過程は何度 う、このレシピ本来の狙いがよく分かった。 ピンクのたらこに白い大根、 グリーンピースに全て染み込ませ、 最後にショウガ汁でさっぱりした後味をつけるとい 、緑のグリーンピー

キの食感やソースとの絡まり具合などの点で一段劣るように感じてしまった。 に近い味がつくれるのは凄いと思う一方、だからこそお店の味と比べやすいので、ニョッ はるみのレシピは、ニョッキというとレストランで食べることが多いため、 簡単にお店

結果 4―1で小林カツ代「大根たらこ煮」

1 2 勝勝



第四戦、夜の主菜





さと肉類のボリューム感を両立させる、彼女が最も得意とするスタイルの一品。 は、最近人気の「おにぎらず」にも通じるものがある。一方のはるみは、野菜のヘルシー …夕食のメインは、家庭で作られる洋食のなかでもポピュラーなロールキャベツと煮込み ハンバーグの対決。料理名の一部でもある調理過程を削除してしまうカツ代の大胆な発想

食べるとロールキャベツ (小林カツ代)

してきたらひき肉を加える。再びフッフッしてきたら、ふたをして弱火で約50分間煮る。焦げつかないように、木べらで鍋底かがきかたくり粉を加えて混ぜ、固まっているひき肉をつぶしてほぶをかたくり粉を加えて混ぜ、固まっているひき肉をつぶしてほぶきかたくり粉を加えて混ぜ、固まっているひき肉をつぶしてはがける。



煮込みれんこんバーグ(栗原はるみ)

にし、かためにゆでる。マッシュルームは石づきを取る。かためにゆでる。にんじんは皮をむいて輪切り、または半月切り玉ねぎは粗みじん切りにする。カリフラワーは小房に分けて切り、れんこんは皮をむいて角切りにし、水にさらして水気をきる。

らに混ぜる。八~一○等分して丸く成形する。加え、粘りが出るまでよく混ぜる。玉ねぎ、れんこんを加えてさぶウルに合いびき肉を入れ、卵、薄力粉、塩、こしょうの順に

こしょうで味を調える。最後にカリフラワーを加えて温める。約10~15分煮る。中濃ソース、トマトケチャップを加え、塩、たらマッシュルーム、にんじんを加え、アクを取りながら弱火で飛ばす。デミグラスソース、スープ、ローリエを入れる。煮立っ飛ばす。がいた焼き色をつける。赤ワインを加えてアルコール分を飛鍋にサラダ油を熱し、成形したれんこんバーグを入れて両面深鍋にサラダ油を熱し、成形したれんこんバーグを入れて両面







田本

勝者:煮込みれんこんバーグ

感もよかった。一方の「食べるとロールキャベツ」は、どうしてもひき肉と分離してしま むしろそういう演出効果を狙ってつくられたレシピなのか。食べるなられんこんバーグ、 鍋にぎゅうぎゅうの半玉キャベツ、そこへ缶ジュースを投入している画は面白い。これは 理由:単純においしかった。ドミグラスがおいしかった。レンコンもシャキシャキして食 話題にするならロールキャベツだと思わせる対決だった。 い負けていると思う。ただロールキャベツ調理中の視覚的インパクトは強い。とくに片手 い「食べてもキャベツ」だった。ソース対決だとするなら、ちょっと勝負にならないくら

澤

勝者:煮込みれんこんバーグ

グ自体は思った通りの味。ウスターソースの使用はちょっとずるいかなと。食べるとロ 理由:煮込みれんこんバーグは付け合わせの野菜の美味しさが際立ちました。れんこんバー べるとロールキャベツは手間の少なさ、鍋ごと出したときの皆のワーッというインパクト ルキャベツも美味しかったですが、食卓に載った単品としてはれんこんバーグに軍配。 まで考慮すれば作り手の満足感は高そうです。

伊集院

勝者:煮込みれんこんバーグ

たが、今回は「煮込みれんこんバーグ」に一票。 理由:「食べるとロールキャベツ」も、キャベツの甘みが生きていて想像以上に美味しかっ が秀逸すぎた。デミグラスソースで煮た付け合わせの野菜もさりげなくうまい。 ハンバーグにレンコンのしゃきしゃき感

梶田

勝者:煮込みれんこんバーグ

理由:れんこんバーグは思った通りに美味しい。驚きはないが、この味を安定して家で作 はこれ以上崩すと味がダメになるラインを超えたのではないか? スープの旨味が足りな れるのだから凄い。はるみの世界観がよくわかる。カツ代の「巻かない」ロールキャベツ ていたように感じた。 い、キャベツに巻かれた肉汁のジューシーさが無いなど、ロールキャベツの良さが殺され

久保

勝者:煮込みれんこんバーグ

E!

期待していただけに残念。れんこんバーグは、ソースは説得力のある美味しさだったが、 感じてしまった。カツ代流アイディア料理の代表例としてよく取り上げられるレシピで、 まったこともあるかもしれないが、やはりロールキャベツは巻いた方が美味しいのではと 理由:「食べるとロールキャベツ」は、煮る時間がレシピの指定より若干少なくなってし レンコンのシャキシャキ感が少しハンバーグから浮いている印象。これも調理の問題かも

結果 0―5で栗原はるみ「煮込みれんこんバーグ」 2 勝勝



最終第五戦、夜の汁物

倒的に不利だけど大阪出身のカツ代ならあるいは、と考えたのだが… るみのレシピから色鮮やかなカボチャの冷製スープを選んだ。見た目ではそうめん汁が圧 このためカツ代のレシピから単品でもいけそうな大阪風のそうめん入り味噌汁を選び、 ティ風のはるみレシピは、単体でも存在感があって既存のカテゴリーに当てはまりにくい。 に沿って一品一品が明確な役割をもつカツ代のレシピに対して、その多くがホームパー …夕食の汁物はなかなか決まらなかった。「主菜」「副菜」「ご飯」「汁」というカテゴリー



なすとそうめんの汁(小林カツ代)

とみょうがを加えて火をとめる。椀に盛り、練りがらしをのせる。満る。火を弱めてみそを溶き入れ、フツフツしてきたらそうめんはかためにゆで、よく水で洗って水けをきる。出し汁になすをいれて火にかけ、ふたをして柔らかくなるまで出し汁になすをいれて火にかけ、ふたをして柔らかくなるまですはへたを落とし、縦に縞に皮をむく。縦半分に切って横に



かぼちゃの冷たいスープ(栗原はるみ)



試食コメント

田本

勝者:なすとそうめんの汁

チンで、一からあのポタージュのような濃厚スープが出来上がったのかと思うと感動すら覚 知っていそうで知らなかったテクニックを手に入れられたのもよかった。 とさせてくれる、まさにちょうどいい一品だった。味噌汁にチューブ辛子を入れるという、 そうめん汁は、そんな疲れた体にそっと寄り添い、しかもいつもとちょっと違う香りでハッ える。ただ、あの日の気温、人口密度、疲労の蓄積を思うと(すみません)、かぼちゃのスー 理由:これは悩んだ。「かぼちゃのスープ」も十分美味しかった。しかもあのコンパクトなキッ プはそんなことはお構いなしに濃厚な味でこれでもかと攻めてくるかのようだった。一方の

澤

勝者:なすとそうめんの汁

らないのでは…、と言いたくなりますが、そうめんがなかったらかぼちゃに一票入れていた パクトに敗れました。お味噌汁に練りがらしとみょうが! 勝因はこれにつき、そうめん要 理由:かぼちゃの冷たいスープも美味しかったのですが、なすとそうめんの汁の意外なイン すお椀でした。ごちそうさまでした。 気もします。意外なほどハードな展開となったこの企画、 ボロボロになった胃腸・心身を癒

伊集院

勝者:なすとそうめんの汁

の ? 理由:圧倒的に染み渡った。 と思ったけどこれが予想外にうまい。ミョウガ、練り辛子も最高! カツ代がいたらもう外で飲み歩かない。最初はそうめん入れる 胃袋摑まれまし

E!

は好み。 た。 かぼちゃスープは、もう少しかぼちゃの甘さとコクを生かした味付けの方が個人的に

梶田

勝利者:なすとそうめんの汁

理由:かぼちゃスープは美味しい。本当にはるみには安定感がある。 とつの定番に仕立てあげるカッ代レシピのひとつの完成形であろう。 常に完成度が高いのだ。家庭料理の「普段使い」という制約の中で、 味噌汁と茗荷でいただくそうめんのボリュウム感という安心感もある。 この味噌汁においてはナスとからみあった辛子が具材としてのナスを際立たせる一方で、 み合わせたことだ。残り物で作った料理は、往々にして味の焦点が定まらない。しかし、 た「夏の冷蔵庫から残り物を入れました」とでも言うべき味噌汁に、このテクニックを組 見られるテクニックで、味の焦点が定まる。注目すべきは、そうめんとナス、茗荷を使っ 味噌汁には、安定感を超える驚きがあった。 最後に辛子を落とすのは、 味わいを追求し、 しかし、そうめんの 茶懐石の味噌汁に 家庭料理として非

久保

勝者:なすとそうめんの汁

理由:かぼちゃのスープは、ミキサーや濾し器にかけないことでカボチャの食感を残しな べ応えが両立している、凄まじい才気を感じさせるレシピ。 味噌汁にしか見えないが、 練り辛子の組み合わせが、 冷たいスープ」という料理名から想像される範囲に留まった。他方、カツ代のなすとそう がら手間も省き、簡単で食べ応えもありながら爽やかな味になっていたが、「かぼちゃの めんの味噌汁は、さっと茹でた薄切りの茄子、火を止めた後に加えるみょうが、そうめん、 味と食感の両方の面でとてもよく効いている。写真では地味な 本格的な料理屋のような組み合わせの妙と家庭料理としての食



結果 5-0で小林カツ代「なすとそうめんの汁」

最終結果

栗原はるみ 2 勝(9 票)小林カツ代 3 勝(1 2 票)

* * *

調理者の感想(梶田岳志:元・クックパッド株式会社会員事業部サービス開発グループ長)

化する。コントロールは難しい。あるいは、ステーキやローストビーフなど、肉を焼くだ ろう。加熱時間や温度、鰹節や昆布を引き出すタイミングなどによって仕上がりの味が変 けのレシピも難易度が高い。(ちなみにクックパッドで最も人気が高いレシピのひとつに 「ステーキのおいしい焼き方」がある。) 調理の段階で失敗しやすい料理と言えば、自分で出汁をとってつくるシンプルな煮物だ

きないように考えられている。総じて栗原はるみのレシピには、常に一定の味をキープで きる安心感があった。 シピが多く、下ごしらえには少し手間がかかるものの、火を入れる調理の段階の失敗が起 「スパゲッティミートソース」や「煮込みれんこんバーグ」などみじん切りを多用するレ 栗原はるみのレシピは、見た目から受ける本格的な雰囲気に反して調理が簡単だった。

これに対して、小林カツ代のレシピは作るのが難しい。今回の夕食のメインである「食

理者である私の火入れや下ごしらえが十分と言えたかは自信がない。腕によっては、 べるとロールキャベツ」は栗原はるみの「煮込みれんこんバーグ」に完敗を喫したが、 で別物に仕上がる可能性を感じさせるものであった。

という意思を感じ取ることが出来た。家庭料理という営み自身を応援する点で、私は小林 さに根ざしつつ、その雑多さを楽しく美味しい家庭料理に結実させていこうじゃないか、 生活の雑多さを排除し、コントロールした上に成り立つ美しさにも思えてしまう。これに しかし、 カツ代の可能性を信じたい。 対して小林カツ代のレシピからは「なすとそうめんの汁」に見られるように、生活の雑多 調理者の目からすると、失敗したくない特別な日に頼りたいのは栗原はるみのレシピだ。 彼女のレシピには遊びがない。レシピから感じ取れる世界観は美しいものだが

企画者の感想(久保明教)

調味料は七十品目以上。買い出しは数回に及び、彩りのミントを探して高級スーパーをさ まよい、皿や器をなんとか使いまわして綺麗な写真になるように苦心した。半ばやけになっ り経験したことのない激しい疲労を感じた一日だった。調理した全十品で使用した食材 に見えるかもしれないし、確かに楽しさはあったけれども、同時に全員がこれまでにあま が終わった際には全員が思わず拍手をしたことを思いだす。 てビールと日本酒をあおりながら野菜を刻み続け、終電が出る直前にギリギリ全ての勝負 まず言っておきたい。当日の写真は「美味しいものを作って食べているリア充なやつら」

い。 時間配分に追われて調理していると、全て放りだして近所のファミレスにでも行きたくな 見栄えがして工夫が感じられる料理を作るのは楽しいし、ワイワイ食べるとなお美味し だけど、それを用意するのは本当に大変で、 時折わかりにくいレシピの指示と厳しい

がら— のウスターソースが、ありふれたミートボールを洗練させた「煮込みれんこんバーグ」に 多くのファンを獲得してきた。本格的な味わいの「スパゲッティミートソース」には少々 彼女は水面下の激しいバタ足を決して見せることなく、素敵な「ゆとりの空間」を夢みる さんちみたいな楽しくてゆとりのある生活を送りたい」と思わせる。だが、それは隅々に 料理だけでなくそれを取りまく空間をこの上なく素敵に見せるはるみの料理本は、 は大さじ1のケチャップが入っている。そのレシピは、家庭にある食材をフルに活用しな まで気を配り創意工夫しながらコントロールされた生活を商品化したものに他ならない。 でも、考えてみれば、この素敵で過酷な事態はそのまま料理研究家にとっての日常だ。 -完全に同じにはならなくとも――「お店で食べる味」へと確実に近づける。

だ」という縛りから逃げだそうともしてきたのではないだろうか。作りやすく飽きのこな 覚ますように めに、希有な才能と努力が注がれている。でも、私たちは「家庭料理とはこういうもの 理とはこういうものだ」という確信があり、それを少しでも手軽に美味しく食べさせるた アイディアや技術がふんだんに詰まっていることが分かる。ただ、その前提には「家庭料 い「キューカンバーサラダ」が、子供の頃を思いだせばどうにも耐えがたい吐き気を呼び 見ための印象とは違って、実際に作ってみるとカツ代のレシピにはプロの料理人に近い

のだ。 庭の空間を少しだけ確実に変える。 菜をテイクアウトし、 を雑多な生活のあり方に軟着陸させる。その身振りは、仕事帰りにデパ地下のしゃれた総 ンで談笑しているような空気が生まれ、同時にウスターソースやケチャップが「お店の味 有名店の調理済み食材をネットでお取り寄せする現代の私たちの生活に染みついているも はるみのレシピは、そのおしゃれな見ためと洗練された味わいによって、料理を囲む家 「自分へのご褒美に」と少し高いおつまみ缶詰をコンビニで購入し、 気のおけない仲間たちと行きつけの美味しいレストラ

E!

た私たちの薄暗い窮状を示しているようにも思われる。 際の「これ、どう考えてもはるみの圧勝だろ」という予想を覆したカツ代の堂々たる勝利 しているからなのかもしれない。そう考えれば、対決メニューを決めて料理写真を並べた 私たちの疲れた身体に染みわたる。しかしそれは、 ないだイタリア料理屋で食べたニョッキの方が美味しかったな」などと呟いてしまう。 メントで頻発したように、ありふれた家庭料理を高度な技術で再構築するカツ代の料理は だから、はるみのレシピには「美味しいけど、まぁこんなものか」と感じてしまう。「こ 家庭料理から離れたいのに離れられない、あるいは、 私たちの身体がすっかり「はるみ 離れたくないのに離れてしまっ 化

するその人自身もうまく制御できないつながりが溢れてくる。楽しいけれど少し怖い時間 などで盛り上がったわけでもない。 の欲求を醜く思いもした。当日はお互いの仕事について話しこんだわけでもなく、恋愛話 を食べて育った田本さんと京都の日常的洗練を大事にする梶田さんが、ともにデミグラス 家のレシピを食べ比べるという経験は、とても面白いものだった。西表島でゴルショーク を過ごしたように思う。 上品なミートソースに怒りを覚えた郊外育ちの私は、身体に染みついた旨味や食べ応えへ う外で飲み歩かない」と言う伊集院さんはきっと飲み歩きをやめないだろうし、 はるみの を子どもに作ってあげようかと想像した瞬間に妻の怒りを予想する。「カツ代がいたらも ソースのことを「ドミグラス」と呼び、 考察は別にして、出身も年齢も性別も異なる友人たち(2)と日本を代表する料理研究 料理を作り感想を言いあうだけなのに、その人を構成 一児の父である澤さんは「じゃが芋スパゲティ」

E!

- ・小林カツ代×栗原はるみレシピ五番勝負(二〇一六年七月二日)
- レシピ出典 小林カツ代 2014『決定版 小林カツ代の毎日おかず』講談社 小林カツ代 2015『NHKテレビテキストきょうの料理二月増刊号 ま

だまだみたい! 小林カツ代のベストおかず』NHK出版

栗原はるみ 2015『おいしくたべよう。素材をいかすレシピ133』集栗原はるみ 2014『わたしの味 選びに選んだ80のレシピ』集英社

英社

調理

梶田岳志(キューカンバーサラダ/自家製ピクルス/スパゲッティミートソース/ じゃが芋スパゲティ/食べるとロールキャベツ/煮込みれんこんバーグ)

久保明教(大根たらこ煮/なすとそうめんの汁/冷たいかぼちゃのスープ)

澤宏司(じゃがいものニョッキ・レンジトマトソース)

田本はる菜、伊集院萌

撮影 澤宏司

調理補助



(1) レシピ内の具体的な数量に関わる記述は省略ないし簡略化した。

注

いるように思われるが、「これが一般的な家庭料理だ」という感覚自体が各人によって異 結果になったとも言えるだろう。家庭料理に対するイメージや経験は一見広く共有されて 属性や特徴はある程度似通ったものであり、特定の特徴を共有する人々だからこそ、この (2)とはいえ、大半の友人の集まりがそうであるように、本稿で試食役を担った人々の

ど)を通じて異なる視点とつながり、 的属性に依拠した評価や分析であることは否めない。だが、本連載の狙いは、自己の生活 能性を探ることにある。本誌巻末言も参照のこと。 なく、特定の視点から語りながらも、対象への参与(レシピの詳細な検討、 を規定する、容易には変更できない条件を捨象した地平から客観的な分析を試みるのでは なるという複雑さを持っている。この対決記事にせよ連載本文にせよ、特定の世代や社会 自己の視点を対象化しながらそれが変容していく可 調理と試食な

梶田 岳志(かじた・たけし)

会社・会員事業部サービス開発グループ長を経て、 マネージャ。好きな相場は東京とうもろこし。 一九八二年生まれ。京都府京都市下京区出身。大阪大学人間科学部卒。 株式会社お金のデザイン・プロダクト クックパッド株式

久保 明教 (くぼ・あきのり)

博士(人間科学)。一橋大学大学院社会学研究科・准教授。 バラ肉、うすいえんどう、カニカマ。 る現代人類学の展開」『現代思想』41(8): 172-183(青土社) 紀日本の機械と人間』(世界思想社)、「人類学機械と民族誌機械 て文化/社会人類学の観点から研究を行う。著書・論文に『ロボットの人類学 一九七八年生まれ。神奈川県大和市出身。大阪大学大学院人間科学研究科単位取得退学。 科学技術と社会の関係につい がある。好きな食材は、 -ガタリ記号論からみ |20世

E!

オートポイエーシスと内部観測、 そして制作論へ

村山悟郎

確認しておきたい。そのうえで、それらが如何に制作行為に展開可能 を見せている。これについては、河本英夫氏と郡司ペギオ幸夫氏の議 みで構成するのではない。しかし、ただ制作行為に申し添えただけで とはいえ、オートポイエーシスと内部観測とを、私が経験科学の枠組 らに加えて、本稿では内部観測の理論も自作に参照するよう試みる。 で現象学を研究しながら、二年間の滞在制作中である。さらに、それ 現している。私は美術家であり、絵を描く行為者として、これまでオー 織化とその継続を、内部観測は観測自体の自己組織化とその持続を表 はある。いずれも現代の経験科学の認識論と存在論のあいだで、 かを具体的に示さなければならないだろう。 は、何がどのように援用されうるのかは全く明らかではない。まずもっ トポイエーシスを制作に活用しようと目論んできた。現在はウィーン い視座を提起している。オートポイエーシスはシステム自体の自己組 論を見ながら、オートポイエーシスと内部観測の理論構想上の違いを オートポイエーシスと内部観測、 両者はともに当体に内的な視座を持ちながらも別様の理論的展開 これらは親和性の高い理論構想で 新し

内部観測的性格を露わにすることができるだろう。 学の手法の中で対比的に見いだすとすれば、それはコンピュータ上で 実装とは何かを解いてゆきたい。 の基本的なセルオートマトンのモデルと見合わせながら、内部観測の て得られるパターンや挙動と比較検討することで、 らされる「クラス4」など、独特な構想力で内部観測の視座をモデル するのは、郡司ペギオ幸夫氏によるセルオートマトンによる研究であ なモデルで構成している。また内部観測でいえば、とくに本稿で参照 るはずである。一般的なセルオートマトンの決定論的なルールによっ に実装してみせている。これらを検討すれば内部観測が具体的にわか 工生命体や、局所的ルールを非同期時間で適用することによってもた る。「生命壱号」と名付けられたアメーバや粘菌のようにうごめく人 である。ヴァレラは、オートポイエーシスの産出ネットワークを簡潔 つくりだされる実験数学のシミュレートであり、 絵を描く行為者としてのオートポイエーシスや内部観測を、 構成論的アプローチ 郡司氏のモデルの そこで、

何らかのルールが決められており、何か問題につきあたるとその都度子どもたちが公園で遊ぶとき、鬼ごっこでも缶蹴りでも、そこには

れは、 待っているのだ。 ンとポイエーシスの中間項として位置づけている。 ではないか。こうした企図のもと、私は自分の制作をシミュレーショ て構成されるであろうし、 が明示的なルールを持つのであるなら、 れまでの遊びの構造に依拠しながら、変化を被るはずなのである。 えられるのではなく、 にルールが書き換えられる。このときのルール変更は誰かに強引に与 作を実行するなかで、 制作においても似たようなことが言えるだろう。 彼らの遊びのなかから自然に出現してくる。 システムに新たな変数が出現する局面をじっと 創発を作品として観照することもできるの その変化の歴史は構造を伴っ ルールを設定し制 もしその制作 そ

イエーシスと内部観測から制作論への道筋を示したいと思う。実制作のなかに組み込んでいた。最後にはそれを紹介して、オートポる以前から、偶然にも私は私で、制作プロセスの非同期性を発見的に実は、郡司氏のセルオートマトンに実装された時間の非同期性を知

内的な視座

な視座が強く意識される体験があったので、少し記しておきたい。替えることは困難になっていた。その時に、母の靴下をめぐって内的

を書くのが困難であったことからも伺える。 みると、そこにさらにハンカチが加わったそうである。 のは同じ靴下ではなく、軍手であった。それを修正するよう指摘して できるのだった。また、靴下をたたむさい、ペアとして組み合わせた あたって、ひらがなは書けるが、部首とつくりが対になっている漢字 両足で色違いの靴下を履いてしまう。とはいえ、 出来たそうである。 「対」の概念が失念しているようであった。これは、 月 母は靴下を履くことも、 しかし、履き分けることはできなかった。 青と赤の靴下の色を見分けることも 指摘されれば認識は 母が字を書くに こう考えると つまり、

内的な視座を占めているのだろうか、と私は想像してみる。という概念はあるのにもかかわらず、「対」のない世界。それが母の足」と言うと、ちゃんと対応する足を差し出すことはできた。「左右」四月に着替えを介助したとき、靴下を履いてもらうのに、「右足」「左

て見せても満足した様子はない。どうしたんだろうと、よくよく聞いかく。しっかりと履き終わって、しばらくすると、何か母の様子がおかしいようだった。そして母は「あなたも靴下を履きなさい」と私に言う。私がいぶかしげに履いて見せると「他の家族の者にも靴下を履かせてあげなさい」と続けて言うのだった。それに合わせて私は水色のとある朝、いつもどおり靴下を履いてもらうために用意していた。とある朝、いつもどおり靴下を履いてもらうために用意していた。

E!

の靴下に履き替えたのだった。なかったらしい。「靴下を変える?」と聞くと、うんと頷いて、紺色てみると、どうやら自分の履いている水玉の靴下がそもそも気に入ら

う。もちろん他者の内的世界に寄り添い、 る領域である。 や介護の現場だけでなく、芸術家の育成やスポーツトレーナーなど教 察力が求められるのだろう。でなければ、 はひんぱんにある。介護もリハビリも、 には感覚の主格が二人称的に感じられたのであろうか。こうした場面 路の現在の表現として有意な結びつきがあるのだろう。 族にも靴下を履かせるという迂回的ともいえる言明には、 散らばっている。 てゆかなければならない。 育/指導の現場の実践的な課題でもある。こうした実践について、探っ 靴下ひとつとっても、母の内的世界を想像するための萌芽が各所に 自分の靴下が気に入らないという感覚と、 それがオートポイエーシスと現象学の交わ 対象者の内的視座への鋭い洞 たんなる処理に没してしま 協応する能力は、リハビリ そのときの母 母の思考回 周囲の家

オートポイエーシスの内的視座

与えた他律的システムではなく、自ずと機能を獲得していった自律的命の原基にたいする問いをもはらんでいる。誰かがその細胞に機能をが、環境のなかから如何に自律的に発生してきたか、というような生体動を継続してゆくような機構を描きだしている。原始的な細胞生命のの原基にたいするのが、システムがそれ自身として自己組織化し、恒常的にみる議論であり、システムがそれ自身として自己組織化し、恒常的にオートポイエーシスは、システムを内的な視点から記述するよう試

得するのである。 なる。これによってシステムにとっての時間 - 反応の連鎖の系列を獲 の継続的な作動をつうじて、諸要素の配置を安定させるような構造 応の連鎖が次第にネットワークを形成するようになる。 ランダムでない勾配へと変化してゆく。すると同時並行的におきる反 た諸要素が、隣接しその相互作用を経ることによって、 応、変換、合成)過程を経て出現する。当初、 以下のようなものだ。システムは、諸要素の同時多発的な相互作用(反 り十全に説明されるような対象、すなわちそれが生命なのではないか。 システムと捉える。こうした内的視座によって、 が「作動的閉域」とよばれる相互作用の循環的連鎖を画定するように (膜) オートポイエーシスのシステムの自己組織化のおよそのシナリオは が現れると、ネットワークの動態が再生産しつづけ、 ランダムな配置であっ システムの様相がよ ネットワーク 密度や分布の システム

オートポイエーシスはあくまで構成素の産出プロセスの連鎖可能な配子の物性によって相互に引き起こされる反応が「構成素」にあたる。子の物性によって相互に引き起こされる反応が「構成素」にあたる。テの物性によって相互に引き起こされる反応が「構成素」にあたる。でした。このとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分表。このとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのは細胞でいえば分子であり、それぞれの分のとき諸要素というのと言葉を表している。

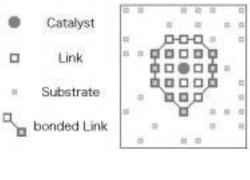
レンジメント)のことをとくに位相的領域と呼んでいる。置によってシステムが決まってくるため、このネットワーク‐配置(ア

質、 DNA はポリペプチドつまり酵素的・構造的なタンパク質の特定に関 的にイメージすることができる。 ミュレートによってよりシステムの機構を簡単に抽象化しつつ、 己組織化をセルオートマトンによってシミュレートしている。 ネットワークが相互の産出に寄与して一つの位相領域をつくりだして 与しており、ポリペプチドは諸分子(タンパク質、 を描き出し、あらゆる生命の一般的な原理として提唱したのだった。 オートポイエーシスの産出ネットワークによりシステムの自己組織化 いるのである。 プロセスや反応速度の決定の関数となっている。 および代謝産物) この配置を具体的に単細胞でいうと、 脂質、 炭水化物、 ヴァレラはこうした産出プロセスによるシステムの自 の生成にかかわっている。 核酸) があげられる。 マトゥラーナとヴァレラはこうした 諸要素として分子 代謝産物は、 マトゥラーナによれ これらのプロセスの 脂質、 細胞 糖質、 (タンパ このシ 心の構成 視覚 核酸 ク

持ち、 細胞膜の形成運動である。 トするモデルを示している [1]。 を形成する内的ダイナミクスを、 この産出プロセスのネットワークとその維持の代表的な例が、 テムが自己組織化して、 オートポイエーシス・システムは、 自律して作動する。 自らの位相領域を環境から区切りつづける。 ヴァレラは、 自らを構成する構成素を自ら産出 格子状の二次元平面上でシミュレ 系として閉じたダイナミクスを 要素間の相互作用によって膜 原始的 シス

しにくい。その点、このシミュレートは膜が創発する具体的なプロオートポイエーシスの構成素の産出ネットワークは抽象的で把握

SCL モデルを元に、 見てほしい。 完全な形に洗練されて紹介されている。 体の視覚化に成功しているのである。 てしまう。 実のなかでオートポイエーシスを視覚的に捉えようすると無理が生じ や情報のネットワークが位相空間を形成するシステムであるから、 セスをイメージできるのでかなり有用である。 ト ら (https://www.youtube.com/watch?v=wTUX6L5xseQ) たシミュレーションプログラムによる動画も YouTube にアップされ ルの場合は、 ステムではなく、 は、ニュートン的な空間に質料をともなって物理的に相互作用するシ Link(SCL) モデル(McMullin and Varela, 1997)である[2]。 そのため抽象的な議論の立て方になる。 各要素の相互作用のコードを指定して、 生化学やコミュニケーションのような不可視な反応 鈴木啓介(人工生命) このヴァレラのモデルは、 それが Substrate -がコンピュータ上でつくっ オートポイエ しかし、 ネットワーク自 このモデ ま 1 ず この ・シス



触媒) ると、 ウ つのしは、 BL(bonded Link: 結合リンク) となる。 産出する 接 は ですると、 オ 各 ークするなか、 工 他 元の二つのSに と二つの S(Substrate: 基質) が 0) (Lは一定頻度の メ 両手をつなぐように最大二 一つのL (Link: と隣 **|** が 接すると、 核であるC 空 分解 間 上 時 L を IJ てしまう)。 間が経過 ラン 接合し ンク) (Catalyst: ダ を 7 す 1



際の細胞でもこのようなプロセスが働いているとマトゥラーナとヴァ 鎖が、Cを核にして囲い込むように環状につながると細胞のような閉 ステムが出現してくる、これがオートポイエーシスの特性である。実 てゆく。そうしてSとLは代謝して絶えず入れ代わりながら、産出ネッ るからだ。これによって閉域内部には、Sが絶えず供給されCと結び るSを透過するいっぽう、LやCは通さず内に留める性質をもってい 膜状につらなって形成された BL は、 域構造をつくりだし、膜のような働きを持つようになる。というのも、 の Lと接合できるので、BL は次第に鎖のように連なってゆく。 レラは説くのである ロセスを引き出すネットワークの絶え間ない継続によって、自ずとシ トワークを再帰的に維持してゆく。このように構成素が次なる産出プ ついてLを生成し、 膜のリソースとして膜の内側に L は貯め込まれ 内外からランダムに接近してく この

解しにくいので、まずは原文からその記述をひいてみよう。となく、みずから実行するプロセスが自己自身の有機構成の維持に寄ない、という四つの特徴をあげている。境界の自己決定とは、細胞膜与しているということだ。個体性(統一体)は、自らの作動をつうじとなく、みずから実行するプロセスが自己自身の有機構成の維持に寄の形成運動によってネットワークがみずから単位化することである。で定常状態を維持していることである。境界の自己決定とは、細胞膜やして最後に「システムには入力も出力もない」とくる。ここにオートポイエーシスのうとである。は、場別のは、は、自体性・個体性・境界の自己決定・入力も出力もは、という四つの特徴をあげている。自律性とは、他に従属することである。というには、というには、カーシスの有機構成を定義をしている。

アロポイエティック・マシンとして扱うことはできる。 乱との間に何らかの関係があるというとき、この関係とは、 を明らかにはしない。」[3] ら、そのような扱いは、 域に属するのではない。 が観察される領域に属するのである。それはマシンの有機構成の領 がってこれらの内的変化と、われわれ観察者が指摘できる一連の攪 ティック・マシンであるための規定的条件 - に寄与される。 と、変化は常にマシンの有機構成を維持すること - オートポイエ し、そうでない場合もある。 を繰り返すことになる。こうした内的変化は同一である場合もある だけである。もし攪乱が繰り返されれば、 ティック・マシンは、攪乱を補うような構造的変化を内的に起こす よって攪乱されることはある。しかしそうした場合、 オートポイエティック・マシンが自己の作動とは無関係な出来事に 「オートポイエティック・マシンには入力も出力もない。たしかに、 たしかにオートポイエティック・マシンを オートポイエティック・マシンの有機構成 しかし、どちらの内的変化が起ころう マシンも一連の内的変化 オートポイエ しかしなが マシン した

点とを分けることが重要視されている。再び細胞を思いおこそう。空なかには、観察者の視点と行為者(システムの有機構成レベル)の視部からの入力や指令によって変容したりはしない。また、この言明のみずからを維持している。そのネットワークの内的ダイナミクスは外みがりやすいが、システムは構成素の産出細胞をイメージすれば分かりやすいが、システムは構成素の産出

が、 異は同型と考えておく。)システムと同一地平上において、それぞれ ことになる。これが、 テム現象論的な意思が込められている。 もない」という言葉には、システム自身の視点をとる内的視座 - シス 力や出力がある」といった観察者から見たシステム全体にとっての機 その作動に内在的な視点をおく。このとき存在しているのは、 の構成素が同時並行的に産出関係のネットワークを作動させている、 ではなく位相領域に存在するのだから、このイメージは正確ではない の視点のレベルだ。 落として、それぞれの分子と構成素のレベルから見る。 このシステムへの視点を、 から地平へ俯瞰する視点から、 えていくためである。 きや注意が重要な意味を持つのは、 は内的ダイナミクスのなかに巻き込まれてゆき、 能は存在しないのである [4]。このように「システムには入力も出力 トワークとその維持のみであって、細胞膜のはたらきや、環境から「入 イナミクスを観察したとき、そこに細胞膜が生じていることがわかる。 観察者の視点と行為者の視点の差異と、 (厳密にいえば、 芸術の制作プロセスと重なる点でもあり、 細胞のネットワークが作動する地平にまで 諸要素の相互作用による産出関係のダ プロセスのさなかにある経験を捉 産出ネットワークは物理的空間 そして、このシステムの視点 俯瞰と地平のレベルの差 つねに動きつづける これが行為者 産出ネッ 気づ

たとしよう。彼にとっては外界など存在していないに等しく、知って人の例をあげた[5]。もし仮に、潜水艦の中だけで生きてきた人がいについて執拗に注意をうながしている。これについてマトゥラーナと、オートポイエーシスの議論では、システムにたいする観察者の扱い

それらが相互に結んでいる特定の関係(つまり内的ダイナミクス) シスなのである。 生命の内的ダイナミクスの特性として記述される系がオートポイエ の生きたシステムの理解についても同様にいえることだ。そのうえで、 とがオートポイエーシス論にとって重要な認識論である。 とってこのような内的視点と外的視点があり、 とってのみ、 () 艦の行動は存在しており、 か存在していないのだ。 るのは潜水艦 潜水艦と周囲の環境との相互関係の変化、 の操縦の仕方だけである。 「観察者」(潜水艦の外側から見ている者) その成否が問題となっている。 計器類の示す値の変化と、 それらを混同しないこ すなわち潜水 これは全て システムに に

ある。 力もない」という定義であり、 リソースを構造体内部に選り分けながら溜め込み、 細胞において膜の働きが担っていた。 点の齟齬を強調しておきたい。ここにはマトゥラーナとヴァレラが注 を継続しているだけである。 を評価しているのは、 持する。 力も出力もない」という二つの特徴の行為者の内的視座と観察者の視 指摘されている。 追ってきたが、その定義とモデルの様相との間にはいくつかの 意を促していた内的視点と外的視点の混同があるようだ。 [6][7]。ここではとくに定義に記述されている「境界の自己決定」「入 ここまでマトゥラーナとヴァレラのオートポ あくまでシステム自身は、ただ産出ネットワークの反応 このとき、 河本と郡司は、それぞれにその難点を指摘している システムにとって膜がそのような機能を持つこと システム自身ではなく、 そして、 オートポイエーシスのシステム論上の それを主張するのが ネットワークの再生産に必要な 外側から見た観察者で イエーシスの立 代謝システムを維 境界とは、 「入力も出 一論を



5 膜の働きの一部を担っている。 矛盾の解決の要として何を考えていたか? 決定不能性から、 し込むための方策だったのだろう。 マトゥラーナとヴァレラが、オートポイエーシス論を経験科学に落と 座の混同を余儀なくされる立論上のアポリアがあるのである。 るが、他方でそのシステムの定義/記述においては、 構造体の外部に代謝/排出されてゆくだろう。オートポイエーシスは、 反応を繰り返しているだけである。 位置づけや働きを知ることはできず、あくまでも周囲のエレメントと を動き回りながら周囲のエレメントと反応して、結果として、 ンの格子平面に立って、各エレメントの同じ地平にいるとする。 力点であった。 行為者の視点をシステム論に導入したオートポイエーシスを評価しつ トポイエーシスの本質が認められる。当初採用された観照者の視点か 盾を指摘しつつ課題を設定する。「いかにして、外部からの できなければならない」と述べる。 シミュレーションモデルからもシステムの実行性は簡潔に示されてい つ、批判的 つ「オートポイエーシス・システムは観察者に依存せずに自己を規定 行為者の視点への転換、 検証を加えている。ではヴァレラとマトゥラーナは、 たとえば、あなたがいま SCL モデルのシミュレーショ 自己決定が導かれるのであろうか? この点にオー その萌芽がここに認められる」と述べ、 しかし、そのとき全体における自分の 河本は、こうした問題を指摘しつ そしてやがては膜からも分離し、 また、郡司はこうした記述上の矛 それが産出ネットワーク 観察者と内的視 (境界の) これは 自分は この そこ

がみずからの内的視座から自己を規定できるようシステムの根幹としてトゥラーナとヴァレラは、観察者を介さず、オートポイエーシス

応ネットワークの循環が見られる。 以上のでは、 関と取り代わり代謝してゆく。ここには絶えず膜を形成してゆく、反基質は、核と反応して膜の素材となり、膜内に溜め込まれ、少しずつれの反応ネットワークは連鎖をつづけていた。膜外から取り込まれた来たように、膜の形成運動において、代謝を繰り返しながら、それぞて据えたのが、産出ネットワークの循環であった。SCL モデルで見て

る。 性を構成可能か吟味するなかで、 数理的に矛盾が生じてしまうと指摘する。とくに郡司は、理論の実行 係のなかに循環を持ち込むようなマトゥラーナとヴァレラの記述は、 えて、慎重に擁護している。 ナとヴァレラが根幹に据えるの循環構造を「作動の継続 て、より高次の反省的作動であると主張する。)河本は、 自己言及の循環は自己とメタ自己の異なる階型をめぐった循環であっ 自己言及の循環を区別するよう促している。 体的前提に接続されてしまうことによって生じる矛盾と同型だと述べ ている。自己言及のパラドクスが陥る循環のように、部分的言明が全 階型の作動をつうじて「循環に巻き込まれる」と述べるのにたいし、 郡司は、ここでもまた「境界の自己決定」と同じく、 (他方、これについては河本は、 循環性には無理が生じていると断じ オートポイエーシスの循環と、 オートポイエーシスが同 部分 - 全体関 マトゥラー へと読み替

理解は、巻き込まれるというこの経験によって得られるものである。の意味がわかるようにつくられている。そしてこのシステムの作動のがつくと一つの閉域を動いていることがわかる。このシステムの自己どってみる。するとこの経験は意図せず循環のうちに巻き込まれ、気「(産出プロセスのネットワークを)そのまま追体験するようにた

あたえたのが、オートポイエーシスである。」 また行為主体にとって(für es)でもなく、作動したことが自己であ まを行うことが、同時に自己の理解につながるのであり、ここで語ら るというように、それ自身にとって (für sich) 理解される。作動の行 また行為主体にとって(für es)でもなく、作動したことが自己であ

あろう。 られた大文字の循環なのではないか。だから、このとき産出ネットワー でいる。たしかに、 ワークの経路の束である。 環ではなく、ただ作動するそれぞれエレメントの反応の連鎖ネット れの辿る道がある。それはシステム全体が継続維持を果たすための循 すら合成しつづけるだけである。それぞれのエレメントには、 の旅を巡る。いっぽう核である触媒は、 をするようたどってみる。基質は、反応ネットワークを経ながら代謝 述されていない。再び、モデルのなかで、一つのエレメントの追体験 クに感取されうるのは、 トワークの循環に他ならないが、 順列組合せからなる散逸構造の渦のように反応系を束にして巻き込ん となるが、そこにはそれら相互規則全体を通底する循環そのものは記 メント間の相互規則を与えると、その規則自体がシステムの内的視点 河本の言及を、シミュレーションモデルで考えたらどうか。 細胞が細胞のかたちをとどめているのは反応ネッ 循環というよりも、 反応は同時並行的におこっており、 それはやはり観察者の視点から与え 訪れる基質からリンクをひた 作動の定常的な継続性で 無数の それぞ 各エレ

は別立ての議論ではあるが、郡司はアリの単純な群モデルを用いて、オートポイエーシスシステムが観察者なしに自己を規定する回路と

システムの行為論に近いだろう。 全体が興奮状態に入る、といった論理で、 な行動の連鎖によってつながり、 なる鳥瞰的観察者も存在しないことが例証している。 $\overline{\infty}_{\circ}$ 群が内的な視座から意識を獲得しうるという思考実験を披露している 言う、作動の行為を行うことが、 の程度において)と考えることはできると言うわけだ。これは河本が 最終的な記号化/意思決定(意識)が得られるとき、 していることであり、ミクロな脳神経細胞の情報処理過程によって、 ることができるか、ということになる。 つながったアリどおしが情報のやりとりを伝播させることで、 大きな水準の差みられない。 別言すれば、 局所的な情報処理によっていかに全体性を獲得す だから、 なんらかのパターンを形成したとき 同時に自己の理解につながるような それはいわば脳が、 群が意識を持つ(群の知能 たとえばアリの群が局所的 脳のなかにいか 脳内の情報処理 既に実現

はこう述べる。

スは記述の領域に回帰せざるを得ない。そして、ここから逆にオー「「産出プロセスの循環」を中心に据える刹那、オートポイエーシ



じ、エネルギー的に開いた、といった解釈がなされる。こうしてオー たとえば相異なる操作とエネルギーとに振り分けられ、操作的に閉 り含意されるべき進化可能性のことであり、 としての本質的不安定性はない。 スは明確に脱‐記述を目標とするのにもかかわらず、 トポイエーシスに関する論述の総体を眺めると、オートポイエーシ トポイエーシスは、プロセス自体といった概念をも喪失する。」 ような観点はない。 ていることの中心概念である。 トポイエーシスを操作に関して閉じた閉域と定義する限り、 した理論としてしか存立し得ないことが納得される。 閉じつつ開かれている、という相反する行為は、 しかし、オートポイエーシスにこの それはプロセスを中心に据える限 じつは閉じつつ開かれ たとえばオー 目標から離反

ステムを構想せよ、と問うのだ。
郡司は、定義の記述にふくまれる矛盾を執拗に批判する。なぜ矛盾
郡司は、定義の記述にふくまれる矛盾を執拗に批判する。なぜ矛盾
郡司は、定義の記述にふくまれる矛盾を執拗に批判する。なぜ矛盾
郡司は、定義の記述にふくまれる矛盾を執拗に批判する。なぜ矛盾
おしたい
おしたがない
おしたがない
おしたがない
おしたがない
おしたがない
おしたがない
おしたがない
おいがない
まいがない
まいがないがない

シスを構成しようと人工細胞の生成を試みるルイージや、河本はそこの問いにかんしては、別の見方もある。生化学的にオートポイエーオートポイエーシスには、変化やプロセスはもたらされないのか?他方、作動的閉域をつくりだすことによって定常状態を維持する

の射程にある。ここからさらにオートポイエーシスは地球外も含めた たまま構造を変容させるようなモードも、 昆虫や両生類の変態(メタモルフォーゼ)のように、個体性を維持し 被りつつ作動が維持される可能態としてのシステム像を含んでいる。 とえば鉄イオンで代謝する有機体を想像せよ)、循環の内実が変容を ワークを再生産できるものであれば、 すでに多様であることを主張するのである。」産出プロセスのネット 作動することそのものになる。 動することによって現実化する。 シスの規定をみたす構成素がたまたま存在すれば、 が現実化するにあたって別段正当な根拠は必要ない。オートポイエー 機構として示す。 また、河本はオートポイエーシスによる現実の多様性について以下の であったか?(それは可能であったろう)と思弁的に問うている [9]。 ムは際限のない多様なシステムとして現実化するのである。 ように述べる。「オートポイエーシスは、システムの作動の可能性を れぞれ思索する。 可能な生命」へと議論を拡張しうるだろう。 この作動の可能性をみたす構成素があれば、 ルイージは D 型アミノ酸のみから成る世界は可能 そのためオートポイエーシスは現実が かりに無理に根拠をもとめるなら、 何が構成素であってもよく(た オートポイエーシスの論理 システムはただ作 システム システ

能な生命へのイマジネーションを膨らませてくれたからだ。産出ネッに否定されてしまったのだが、私は今でもその衝撃を覚えている。可に否定されてしまったのだが、私は今でもその衝撃を覚えている。可て発表されたことがあった。これは特異な湖の環境において DNA の少し前だが、二○一○年に「GFAJ - 1」という細菌が NASA によっ少し前だが、二○一○年に「GFAJ - 1」という細菌が NASA によっ

しれない。 るならば、地球外には全く別様のオートポイエーシスが存在するかもトワークを代替する生化学物質によって代謝する細菌、これが存在す

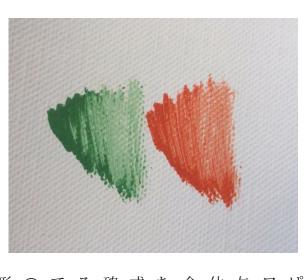
るのがオートポイエーシスの自己である。 は、 まったという感触とは異なる。そのとき定常的に自己として感取され 象的色彩にも影響するが、 画を再開するときに色彩のチューニング狂うような感触がある。 くの休憩のあいだ、パソコンのモニターじっと見ている。すると、 移行するときである。 ポイエーシス(心的システムとして)が全体として感取されるときと することを、私自身の制作経験に即して考えてみる。 イトバランスが乱れて、視界が青くなる。モニターの光は、 さて、話を少し戻して、 循環というより、 絵の具でドローイングしているときに、 行為の継続のなかで新たな構成素へと発見的に システムが内的視座から意識や自己を規定 にもかかわらず世界や自己が変容してし そのさいオート 人間の現 しばら ホワ 描

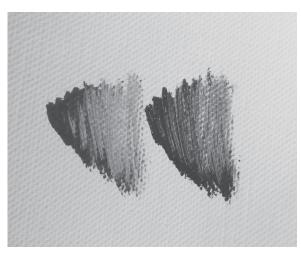
だった。 産出ネットワークに入るために、どんな差異化に力点を置くか再度設 逡巡があり、 ンやコントラストに微妙な変化をつけながら丹念に造形を構成してゆ さから暗さまでの調子の濃淡に差異化の構造があって、 ドローイングを描いていたことがあった。 からねばならなかった。 く。そのときは少し〆切に追われていて、すぐに別の作品にも取りか また、こんな経験もある。二週間ほどモノクロの絵の具でひたすら 通常、 しかし絵の具はモノクロではなく三色のカラーを使うもの うだうだしてしまう。 新しい作品に取り組むときには少なくとも二~三日の 別の作品とは、同じタイプのドローイングで なぜかというと、おそらく新しい モノクロの場合は主に明る グラデーショ

> る。 とき自らの心的システムのオートポイエーシスが強く意識されるよう のだろう。これまでモノクロで自己先鋭化していた調子の濃淡に加え のこともあり、 をもって、助走をつけたい感じなのである。 定しなければならないからだ。いったん落ち着いて、 である。これは構成素の産出ネットワークを維持したまま、 自己(モノクロに先鋭化した差異化の構造) な感覚がある。 て、色彩の差異がヴァリエーションとして浸透したからである。 に差異化の構造を組織することができて、ドローイングがずんずん進 一つ加わったことによって出現する自己言及的な内的視座の回路であ んで行く。同じドローイングシリーズの色違い、というのが良かった なぜなら、 不意に次の作品にとりかかった。すると、いとも簡単 行為を継続することをとおして形成された に、事後的に気づくから しかし、 差異のイメージ そのときは〆切 反応系が この

を評価し、 してゆく。 とるからである。 論を展開する。実行的なモデルを構成するという研究のアプローチを ポイエーシスを語るのには、 河本がモデルを元に議論をせず、 存在論を掲げ、リハビリの現場で実践的な研究へと展開をみせている。 述と定義の不備、 郡司は生命を議論するうえで内的視座を提起したオートポイエーシス ではその捉え方が分かれている。 これまで見て来たようにオートポイエーシスにたいして河本と郡! つぎに郡司が生み出したモデル「生命壱号」を参照して、 行為者のシステムへの継起としての作用を認めながら、 部分と全体関係の矛盾を批判して、 オートポイエーシスを起点に、 おそらくそのような背景がある。 神経システムの現象学としてオート 河本はオートポイエーシスの行為 理解の在り方は分岐 内部観測へと議 他方、

E!





くのか、見ていこう。から別様の生命像を見通してゆどのようにオートポイエーシス

生命壱号

同様、 は、 形成)を実装することを可能と る作動を構成することによっ 確保したまま局所的な規則によ 式を脱構築し、全体の不定性を な振舞いをするという創発的図 全体として予想もつかないよう 体関係すなわち局所的な作動が 与していた。こうした部分 - 全 ワークが細胞膜の形成運動に寄 ぱら内的で局所的な反応ネット イエーシスのモデルでは、もっ の一種である[10]。オートポ 展開されるセルオートマトン の数理モデルである「生命壱号」 (アメーバ運動やネットワーク 郡司が構成した原初的な生命 さまざまな細胞のふるまい ヴァレラの SCL モデルと マス目の状の格子空間で

て、このモデルの意義についてまとめておきたい。してゆんでもらうこととして、ここではオートポイエーシスからの展開としーシス している。モデルの説明は簡単にとどめ、詳しい解説は表題本書を読

話の順序としては逆転してしまうかもしれないが、モデルのふるまに細胞運動の一般モデルを構想していると言える。
おこう。細胞は、膜と中身の原形質、そしてそれを内から支える繊維おこう。細胞は、膜と中身の原形質、そしてそれを内から支える繊維を失った箇所の膜は外側に柔らかく押し出され、流動的に伸びたがう運動を繰り返すのがアメーバ運動なのだ。生命壱号はこのようという運動を繰り返すのがアメーバ運動なのだ。生命壱号はこのようなアメーバ運動から、真正粘菌のネットワーク形成までを射程に入れなアメーバ運動から、真正粘菌のネットワーク形成までを射程に入れなアメーバ運動から、真正粘菌のネットワーク形成までを射程に入れなアメーバ運動から、真正粘菌のネットワーク形成までを射程に入れなアメーバ運動から、真正粘菌のネットワーク形成までを射程に入れなアメーバ運動を繰り返すのがアメーバ運動なのだ。生命壱号はこのようなアメーバ運動なのだ。生命壱号はこのようなアメーバ運動の一般子デルを構想していると言える。

生命壱号の基本的機構は、アメーバ運動に見られるふるまいと似て生命壱号の基本的機構は、アメーバ運動に見られるふるまいと似て生命壱号の基本的機構は、アメーバ運動に見られるふるまいと似て生命を号の基本的機構は、アメーバ運動に見られるふるまいと似て生命を号の基本的機構は、アメーバ運動に見られるふるまいと似て

壱号のモデルの意義についてこう強調する。 デルが念頭にあって、システムの展開が志向されている。 歩手前で部分 - 全体の相克を踏みとどまらせながら、多様な運動が可 ただちに離散してシステムは持続性を損なう。システムが崩壊する一 のような運動は生まれない。また「内-空域」をランダムに取り込む、 体性に依拠するのであれば、「内 - 空域」は取り込まれず、アメーバ 係をバランスよく調停しているようだ。自らの塊を維持するという全 能になっているのである。ここではオートポイエーシスでの議論やモ つまり集合体をただの粒子の集まりとして捉えた場合には、 規則によってもたらされたのだと郡司は言う。 る主な要因は『「内‐空域」が自らの履歴を避けて挙動する』という 生命壱号が、 システム自体を持続的に運動させることに成功してい それは部分と全体の関 郡司は生命 集合体は

ある。」

定なものとしたことで、集合体の形状はここまで多様となりえたので定なものとしたことで、集合体の形状はここまで多様となりえたのでプとトークンの対等な綱引きとしてモデルを構想し、両者の関係を不了全体性というタイプを一義的制約として用いるのではなく、タイ

とくに履歴という時間性からつくりだしている。郡司の提起は、オー続維持を果たし、生命壱号は細胞自体の多様な運動を内部状態の変化のアンチテーゼから来ているだろう。もちろん、シミュレートされた成果を見ると、それは全く別の細胞の側面をそれぞれに描いているにったが、チェー・ポイエーシスの境界の自己決定のような部分 - 全体関明らかにオートポイエーシスの境界の自己決定のような部分 - 全体関のがである。女一トポイエーシスの境界の自己決定のような部分 - 全体関のでであり、トークンは部分(粒とくに履歴という時間性からつくりだしている。郡司の提起は、オークのでは、大田のでは、大田ののでは、大田のでは、大田ののでは、大田のでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田ののでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田ののでは、大田ののでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田ののでは、大田ののでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田ののでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のは、大田のでは、大田のいは、大田のは、大田のは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、大田のでは、、大田のでは、、大田のでは、、田ののでは、、田ののでは、、田ののでは、、田ののでは、、田ののでは、、田ののでは、田のので

こそ、 測を実行的に検証してゆくさまを追ってゆきたい。 孝一郎が述べる内部観測を概観しつつ、そこから郡司が内部観測を構 内部観測は生の時間を構成するよう、科学を更新する。 の認識論にそったかたちで展開しようと目論むのが内部観測である。 べる。「観察者は、認定対象と独立にあるわけではない。 発したのがオートポイエーシスである。」そして、また郡司もこう述 そのものに関連づけるよう語ることはできる。そのような語り方を開 成的に展開したセルオートマトンをみて、 ような認識と存在のはざまで、 ての実在概念であったはずだ」。つまり、生命を知るとは、 あらゆる次元で、向こうとこちら、 が言うように「システムの在り方を、観察者からではなく、 で論じたとおり定義に相矛盾する形で記述されざるをえなかった。 ステムを捉えるさい、 それを先駆的に構想したのがオートポイエーシスであったが、 存在論的寄与に開かれた認識論的構造と存在論的構造の対とし 観察者を排除することはできない。 理論を問わねばならない。 境界の中に食い込んでいる。 時間ととも に組織化する観 つぎに、 しかし河本 観察者は、 システム 常にこの 前節

E!

内部観測 - 時間を構成する

織体は、 \ \ \ \ することで新たに発生する親和性を活用していない。 外部観測である。 盤はもう一回集中して!」などと言うわけにはいかない。 験などにおいて対象を観察するさい、終始一定不変の観測方法をとら 在形の記述のかたちをとりながらも、 **識論が問い立ての前提にある。理論科学における時間には、** 成するための哲学である。 解いてゆく。これらの現象を理解するための時間論を経験科学内で構 もつれた時間性を、 対時間を更新する背景として、クワインとプライアーによるパラドク べき内部観測」[11]では、 における意義を確認しておきたい。 経験科学の 接合・統合するという問題そのものがない。」のだという。こうした もともと異なる時制を認めた上で、改めて異なる時制をまたぎ、 を受けず与えず、絶対的時間において観測を実行する観察者、 なければならない。「序盤は注意深く!」-ス、量子論、 よりアクチュアルになるだろう。郡司の生命壱号において、「空 - 領域 内部観測についてまず、松野孝一郎氏の議論を参照して、 物理法則の時間もまた、時制の変化をともなわない。科学者は実 時制の違いを積極的に参照する親和性、 時間性につい 熱力学、インフォメーション、意識、脳、 松野日く「無時制の時間を尊重する物理科学での組 言語の時制と現象論的な「今」を手掛かりにして ての問題設定は、 内部観測は、 経験科学の認識論において前提にある絶 今年五月に刊行された著「来たる 対象に時制の変化がともなわな 基本的に経験科学における認 生命現象を捉えるさいに、 「中盤は適当に!」-「終 すなわち履歴を参照 物理科学には、 などに現れる 対象に影響 三人称現 経験科学 これが かつ

実装されていたことを思い起こしてほしい。の軌道が自らの履歴を参照することによって部分 - 全体関係の拮抗が

観測を内臓する。これを内部観測と言う。」[12] は測を内臓する。これを内部観測と言う。」[12] がない。何が何を観測しようとも、その観測は後続する、果てしないは測から成り立つ。その観測は経験世界の内部のみから生じて来る。い観測から成り立つ。その観測は経験世界の内部のみから生じて来る。い観測を内臓する。その観測は経験世界の内部のみから生じて来る。では、外部観測にたいして、内部観測とはどのように一般化されうでは、外部観測にたいして、内部観測とはどのように一般化されう

者が時間的同期化へと向かってゆく経験の運動となる。 期であるが、 その観測の様相を変化させる、 内部観測体は予期に基づいて判断を行う。 であり、 継続すること」であろうか。内部観測は、 るわけだから、相手との関係性を含めた自己組織性である。 内部観測体が相互作用することは、 互作用を考えたとき、物理現象は絶対時間のなかで共在する要素の るかを確定することもできない。 み替えても良さそうだ。もちろん観測行為は同定可能な相手を要請す 礎とする。 い方を借りれば、 内部観測は、 時制の変化を含んでいる。 後続する観測を内蔵する観測とは、 内部観測においての相互作用は実情がことなる。 経験の内部にあって、 「観測が次ぎなる観測の開始条件となって、 観測運動である。 他方、「今」という時間におい 観測が完了するまで、 相互予期と相互決定によって、 絶えず観測をおこなう持続を基 内部観測は、 外部観測と異なり、 観測の自己組織化と読 外部観測において相 時間のなかで 何を観測す 河本の言 非可逆 観測が 7 両

は、 る。 び速度をマップする。 ながら観測を実行するのである。 内部観測では当体固有の自由度をもって時間のなかでその視点を変え 同様に特定の位置を占めることができるのだ。このように外部観測で スペースに入ることになる。 えば縦列駐車のさいには真横からスライドするのではなく、 である。運転では、 マップすることになる。このとき松野が指摘するのは、 観測を対比的に述べた分かりやすい例がある。 から後進してブレーキを踏みながら減速しつつハンドルを切って駐車 いする観測だ。どちらの視点からしても、 エウレカ・プロジェクトの松野の対談 [13] には、 つねに定常的で巨視的な観測によって移動を捉えるのにたいし、 外部観測では、 GPSのように車の三次元的な座標と進行方向およ ハンドル操作によって位置をとってゆくため、 他方、内部観測では、 外部観測よりも少ない自由度ながらも、 車の移動を捉えることにな 運転手の視点から移動を それは自動者運転にた 外部観測と内部 運転の自由度 斜め前方 例

登場したが、システムがハッキングされて都市機能が麻痺するという が車を同期させる。 自動運転である。そこではコントロールシステムに透徹した絶対時間 滞を未然に回避するようコントロールされている、それが外部観測的 されたトラックが道をゆずらなかったことによる。この出来事から少 はなく、運転支援(追突防止と車線維持)であり、 事故死者が出たと報じられた。 メージしてみる。 し空想をふくらませて、 二〇一六年に七月に、アメリカで自動運転の公道実験中に初めての 全ての車が GPS で位置情報を管理され、 アニメ「攻殻機動隊 ARISE」にもそんな都市像が 自動運転の外部観測と内部観測の世界像をイ 報道によれば、 実際には、 事故の原因は衝突 自動運転で 衝突や渋

> するモデルをシミュレートしている。 そうだが、はたしてどうだろうか。ちなみに、 同期化するのである。 と車が相互に観測行為によって同定し合うことで、 運転機能が搭載され、 事態を招いていた。では、 いた (笑) [14]。 ガニの群を研究するなかで、 においては、 「どうぞ、どうぞ」になぞらえて「ダチョウ倶楽部モデル」と呼んで 予期すらも実装した内部観測型自動運転が実行性を持ち それぞれに衝突を回避するよう動いてゆく。 手動運転と自動運転が入り交じる不確定な世界 内部観測的自動運転はどうか。 カニ同士が相互予期を働かせて群を形成 これをダチョウ倶楽部のギャグ 郡司はミナミコメッキ 個別だった時間が 各車に自動 車

セルオートマトンを実装しようと腐心するのだ。 的なシミュレーションモデルのなかで構成するために、 する以前に現在完了形と現在進行形の間の同期・更改に着眼すること す。「行為体を窒息させかねない不変の客観性の強要を回避しつつ、 めるにはどのようにすればよいのか。 部観測を、経験科学の客観性を維持しながら接続させて、 が求められる」と述べる。 経験科学としての客観性を守り通そうとするなら、 さて、改めて問おう。 内部観測は、 こうした議論から郡司は、 松野は、 科学へ挑戦する科学である。 その問題自体を指し示 現在形の言明を草 内部観測を実行 非同 理論たらし 期 嵵 間の 内

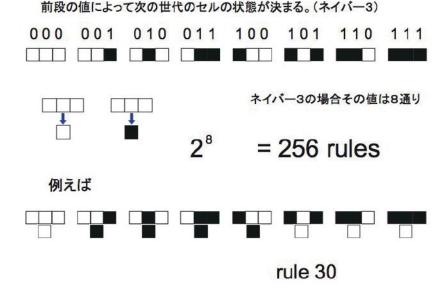
セルオートマトン

とえば、平面にモザイク状に石を敷き詰めてゆく。そのとき、隣り合っの集まりと再帰的ルールの時間発展によってパタンをつくりだす。たセルオートマトン(以下 CA)は、小さなモザイク状の単位(セル)



構成しようと企図する郡司は、 もウルフラムの一次元 CA は複雑系研究の代表例である。 の「SCL モデル」も郡司の「生命壱号」も CA の成果である。 描きでマス目を塗りつぶしてこの研究を始動していった。コーンウェ 礎である。かつてコンピュータの無い時代に創始され、ノイマンは手 を探索しうる、多様なパタン生みだす計算装置だ。ウラムのつくりだ き点であり、単に地球上の生命現象を模倣・再現するのではなく、我々 をシミュレートできてしまうことがこの手法にとって本来的に驚くべ がある。力学系の決定論的なプロセスにもかかわらず生命らしい現象 命をモデル化し、シミュレートすること)の代表的な手法として CA とがある。複雑系や人工生命の研究には、その構成論的アプローチ(生 れるか。この規則とパターンを調べてゆくと、単純な規則を膨大なタ 定し、それに従ってひたすら並べてゆくとどのようなパターンが生ま た石の色だけを見て次に置く石の色を一意的に決めるような規則を設 作に取り組み始めた経緯がある。そして、ポスト複雑系として CA を したパタンや、ノイマンの「自己複製」オートマトンは、 論的プロセス(つねに均質な時間に均一の規則を適用する外部観測的 インスパイアされ、これをきっかけに再帰的な時間発展をともなう制 イの有名な「ライフゲーム」や、ヴァレラによるオートポイエーシス イムスケールで実行することで、まるで生命らしい様相が出現するこ **人類が未だ見ることのできないような「可能な生命」のありうべき姿** に逆張りした内部観測的な時間を構成する。 ウルフラムの CA を展開させて、 その研究の 私は大きく なかで 決定

セルとよんでいる。各セルは「状態」(0/1、白/黒など。ノイマCA では、無限に広がる格子状の空間があり、その格子一つ一つを



テップ毎に区切

時間発展はス

りが入れられ不

連続であり、

時

化させてゆく。

発展し状態を変

したがって時間

を持ち、

規則に

オートマトンな

ン

0)

自己複製

らば 29 状態

る。 このような単純かつ局所的なルールによってシミュレートは実行されの三つの近傍の状態を参照するので、3近傍 <neighbor 3> と表す)。の状態が決まってくる(ウルフラムの一次元 CA ならば、前ステップ態によって決定される。周囲のセルの状態配列をみて、セル自らの次

セル自体および

における、

その

状態は、

時刻 t

る一つのセルの刻 t+1 におけ

近傍のセルの状

詳細な分析を概観していこう [15]。ウルフラムは一次元2状態 CA のまずスティーブン・ウルフラム(Stephen Wolfram)による CA の

結んだ円筒状の空間)、縦軸を行ごとに時間発展する格子状のビットている。横軸がひろがる空間 S(空間の両端を周期境界条件によって空間ではなく、時間発展が一方向へむかって線型に進むことを意味しルール 256 通りの表現パターンを詳細に分析している。一次元とは、

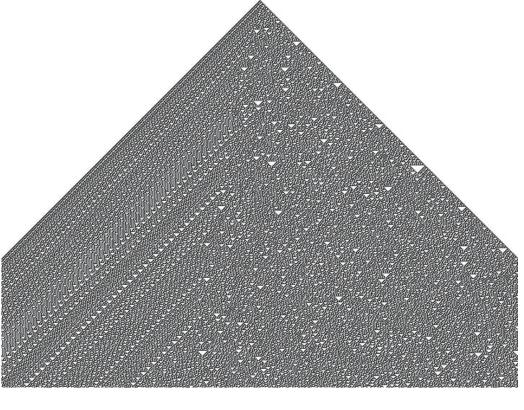
くる(neighbor 3 のルール)。 のクイ(白/黒)の二つの状態いずれかをとる。次の時刻におけるセルの状態である。 とる。次の時刻におけるセルの状態がずれのがでとる。次の時刻におけるセルの状態がずれ

ルを、 黒か白に決めるようなものだ。ちょっ のセルが0/1いずれの状態をとるか に再帰的に適用することで後続のパタ に初期値を与えてやれば、 ルールである。決定論的で、 い。これがウルフラムの一次元 CA の とややこしいマスゲームと言ってもい いる服の並びをみて、自分の服の色を を設定する。隣の席に座る三人の着て 通りあり、それぞれの配列に接した次 つのセルの0/1の配列パターンは8 ンが自動的に決まってくる。このルー たとえば、先の図で示すように、三 各行の時刻の、 それぞれのセル 以降のパタ 最初の行

化のように、機構としては単純であるが、そこには途方もないタイムよって、初期値からは想像もつかないような全体が創発している。進ス状のパタンが現れる。ここでは、単純な規則の膨大な再帰的適用にンが得られる。上で示したルール30を走らせると左図のようなカオ

様相である。お進行中であり、得られた兄体的お進行中であり、得られたパターンスケールがあり、そのプロセスはな

3,4)をあたえている。セル空間が なり周期的または定常的になるパタ ない部分へ局在化され、動きがなく 間発展がアクティブな部分とそうで のセルに覆われてしまい、 すべて同じ状態(真っ黒 or 真っ白) 細に分析し、四つの分類 (Class 1, 2, タン (Class 3)。そして、そのいず 以降のセル空間の全てに波及するパ もって、最初の行の0 展がカオスになり、 ル30のように、セル全体の時間 くなるパタン (Class 1)。 とりうる 256 通りのパタン全てを詳 ウルフラムは、この一次元 CA が (Class 2)。そして、上で見たルー 初期値鋭敏性を /1の配列が セルの時 変化しな

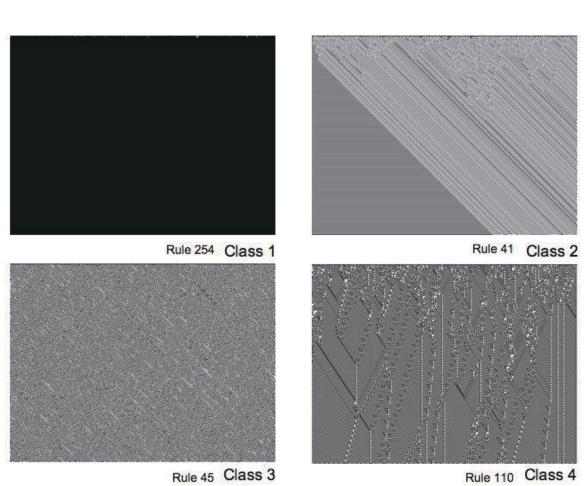


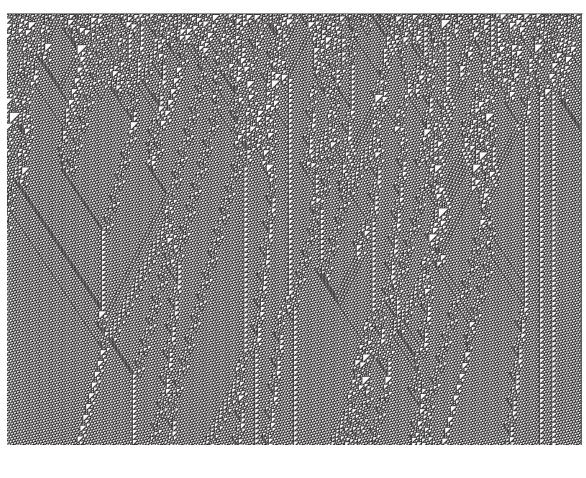


ルフラムはこれを(Class 4)と名づけている。な、注目すべき複雑な振る舞いのレアパターンが発見された。ウれのパタンにも収束しない Class2 と Class3 の間に位置するよう

「Class 4」のセルの時間発展は複雑で、パタンが発展する箇所が滝(カスケード)のように局所化されており、長い空白の過渡状態も持っている。しかし、ウルフラムが初期値の配列を順繰りに成され、それらが斜めに動いて相互に衝突し合い、複雑に振る舞って無限に収束することがないことがわかった。また、うまく初期値を操作してやることで class2 や class3 のようなパターンをつくって論理演算も構成できることがわかっており、ある種の計算の能性(チューリングマシン)も有している。こうした class4 のパタンは二次元 CA やコンウェイの「ライフゲーム」のなかにも見出せるとウルフラムは述べている。3近傍という単純で決定論的なルールでも、複雑で予測不能なパタンが創り出されることを示したのである。郡司は class4 を評して、パタンとカオスを共存させる複雑さを持ち、かつ知能を有したシステムであり、抽象的な生命のメタファーであると述べている。

ンが相互作用するというわけだ。 Class1 では、初期値鋭敏性が強く全体へと情報が伝播してゆく。 にlass1 では情報は消失し、class2 では初期値は局在化し広がらな 伝播するかは、自然がどのように情報を扱うかに対応している。

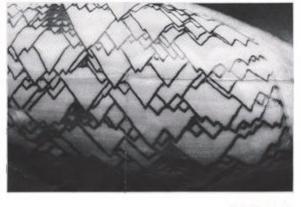




う。マインハルトは、こうしたセルオートマトンの研究を参照しな うな機構が備わっているのではないかとウルフラムは仮説を述べて ウルフラムの一次元セルオートマトンのパタンと注目すべき類似性 が cone shell や volute shell のような貝殻模様だ。これらの模様は、 択による最適化 - 捕食者を避ける・仲間や餌食を引き寄せる等の ている [16]。 子 (inhibitor) の二成分の相互作用によって貝の色素パタンを再現し がら、生化学的な拡散反応系による活性因子 (activator) と抑制因 界現象をマップして、変化を内蔵しつづける生命的音楽となるだろ 生命をかたちづくる。class4 が奏でる音色はパタンとカオスの臨 幅が刻印された成長線は微振動するリズムであり、そこに拡がる平 て、である。音楽に例えるならば、潮の満ち引きによって微妙な振 をもっている。これは偶然ではなく、貝にもセルオートマトンのよ はない、ということを提起している。その例として示しているの 提唱している。それは、生物のパターンや容貌が、生物の自然選 ネスによって偶発的に得られているのではないかとウルフラムは 体表の複雑な生体パタンも、極めてシンプルなルールとランダム の表皮に現れるパタンへと敷衍して議論している。色素沈着による 面空間の様相が音色となるだろう。リズムと音色は同期しながら、 長面の前の状態を参照しながら弁別する生理組織のはたらきによっ い、その成長線を時間軸として、色素を「分泌する/しない」を成 いる。すなわち、貝殻が潮の満ち引きごとに積層して成長するさ ダーウィニズム的な闘争 - のメカニズムによって獲得されたもので ウルフラムはさらに、これらのパタンへの考察を実際の生物組織







セルオートマトンのパターン

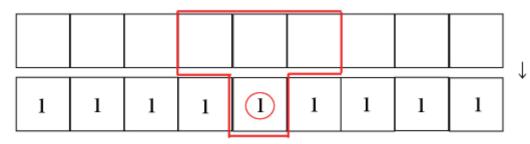
イモ貝の仲間

装だと思われる。 期な時間の CA を構成して ①と示したセルの状態を変 時に状態変化させる。 規則の CA では、 セルの行すべてに[1]と 非同期時間の規則とは以下 ど奇跡的であった。しかし、 そ内部観測的時間発展の実 1) 付したように、 のようなものである。 へと発展させている。 に発生しうるようなモデル 込むことで、class4 が自然 規則の内部に不定性を埋め ムの決定論的規則において る [17]。 CAを展開させて、 郡司は、このウルフラム 下図において、 class4 の生成はほとん 私にはこれこ 決定論的 横並びの セルを同 ウルフラ 非同 赤く その

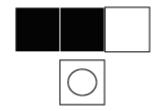
ルオートマトン 非同期の時間を実装したセ

だ。

同期の時間

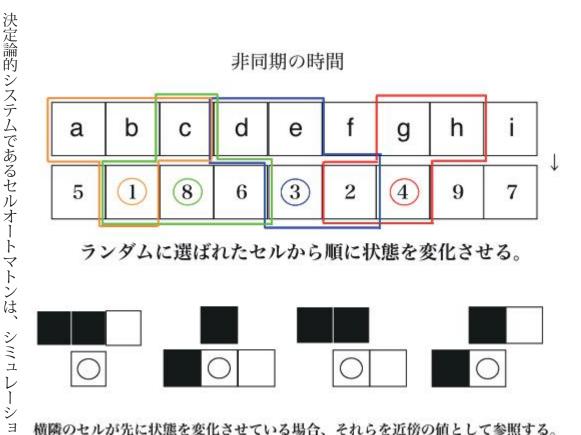


全てのセルが、同時に状態を変化させる。



全てのセルが、前の行3つの配列を参照して、○の値を白/黒か決める。

110, 111, 011,101 全部で8通り)である。これは先に述べたとおり 化させるさいの近傍は、 前の行の3つの配列(000,001,010,100, を生み出すルールにかんしては、 その様相を class4 へと変えたそうである。 セルオートマトンによって、 を内蔵したシステムである。 で非同期的な時間(あるいは同期化へその都度むかうエージェ の行動を決めるのである。 能動的規則に従うセルは、 者であり、 創意がつまっている。 するセルに応じて参照配列を変更調整する。 そして⑧の場合であれば 態を決定している。ここで参照する近傍を以下のように変化させるの る。これを、 横に隣接するセルよりも先行して状態を変化させたセル 変化させるうえでの参照する近傍を変えるのだ。 る順序をランダムに決定する。 である。③の場合ならば、 セル達は、 配列 a,b,c を参照して いえば [1], [2]) てある数字は、 これにたいして非同期の時間では、まず行のセルが状態を変化させ 新たに加わった規則はおよそこれだけであるが、 ④の場合ならば、 みずからの状態を決定するさいに、 過去の歴史だけ参照して自らの行動を決めるのにたいし、 能動的規則と呼んでいる。 その順序を例示している。 は、 オレンジで囲んだ①のように、 比喩的にいえば、 左隣の (同期の時間と同じ)、 (1, c, 6)これが、 前の行の [d], [e] と右隣の [2] の配列 過去の歴史と周囲の状態を参照して、 256 通りのルールのおよそ三分の一が、 [2] と前の行の [g], [h] の配列 郡司によれば、 [1]~[9] まで各セルにランダムにふっ かならず class4 へ変わったという。 となる。 同列水準のタイムステップのなか 他方、 能動的規則に従うセルは先駆 この順序によって、 また class3 のカオス状態 みずからの状態を決定す これを、 このように、 この非同期時間による ③④⑧で示したような 既に横並びのセルが状 ランダムに選ばれ、 前の行の三つの 受動的規則と呼 ここには郡司 (下図の例で 左右に隣接 $(2, g, h)^{\circ}$ 自ら



壊してしまうような脆弱性を持っており、

有効なものであるが、

たった一つのノイズでも加わるとパターンが崩

ン上は

現実の環境のなかで生命現

横隣のセルが先に状態を変化させている場合、 それらを近傍の値として参照する。

その意味でも評価されうるではないだろうか。のモデルでは、頑健に class4(生命のメタファー)が実装できており、象を構成するという課題においては困難があった。しかし、この郡司

要なのは、 時間を込めることが重要な意味を持つのである。 えるだろう。非決定論に陥ることなく、決定論の枠組みなかに非同期 が内部観測の実装であり、 象を変更調整する。これが なかで、ランダムに選ばれたセルは、みずからの状況に応じて観測対 的規則の CA は、 ことで理解されるはずだ。セルがつねに一様な振舞いをみせる決定論 システムとして、実行的モデルを提示したことにある。 ている。ルールと出現した様相の間に時間的不定性を導入する。 このモデルにおいて内部観測とは、一つ一つのセルに視点を落とす 生命のメタファーである class4 を、 外部観測的セルなのである。いっぽう非同期時間の 内部観測体の時間変化の一つの形式化と言 「内部観測するセル」というかたちをとっ 内部観測を内蔵した この郡司の仕事が重 これ

時間性を導入する点で近いものがある。
中間性を導入する点で近いものがある。
中で形式として捉えてゆくなかで、郡司の示したモデルの空間と、メが語る「遮断の流動」[18]を実装し得たのではないかと述べる。生いが、郡司はこの非同期時間のセルオートマトンによって、メイヤスート部観測とは科学の理論であって、思弁的に実在を語ることではな

させるモデルを思弁的に構想している。そこで中心概念となるのが遮思想を実在論的に展開してゆくなかで、生物がみずからの空間を生成メイヤスーは、ベルクソンの『物質と記憶』を介してドゥルーズの

断と流動である。本稿の論旨にそって大まかに要約しよう。

まり、 らの現働的な存在のうちに包摂したまま把持すること、これがまさし 質的なプロセスを記述する方法も使うことができない。 二つの公準を提起する。それが遮断と流動だ。「流動」とは、 端緒とする。たとえば、 が局所的に遅延することを「迂回」とよび、 質的な法則に還元して説明することはできない。 こからさらに「遮断の流動」 - 遮断自身の変化 - が求められると、 できないのは、生成つまり変化が生み出されるために、 ジュが局所的に分離されることを差している。この二つを欠くことが 則ってコミュニケートすることである。また「遮断」とは、そのイマー 実在 - 存在様態を引き出しながら、メイヤスーは「生成」を導き出す な縮減を創発的に行っている。ベルクソンの議論から、 それを縮約して「赤い光」というイマージュとして知覚している。 けるのでなく、物質そのものに直に通じるものとして扱った。 メイヤスー曰く「過去と未来とを同時に孕むこと」過去と未来とを自 スーが考え出したのが流動の時間性「波」という概念であった。 流動の一種となってしまうからだ。つまり決定論や確立論といった物 流動に還元せずに切れ目を入れる遮断が必要となるからだと言う。 なイマージュを持つ多様体であり、 イヤスーはつづける。 イマージュから構成される物質が、そのイマージュ相互を自然法則に まず、 本来的に物質(光を含む)は時間と空間スケールに応じて多様 ベルクソンは知覚を、 しかし、 赤い光は一秒に四〇〇兆回振動するが、 遮断の時間性を考える場合、 カントのように現象と物自体に切り分 生物は実在的なものに対して極端 流動に過去を導入する。 それでは遮断自体も ここでメイヤ 全てを物質的 物質と知覚の それは物 多様な これを メ つ

とは対立するかたちで潜在的な側面があるはずだからである。とは対立するかたちで潜在的な側面に取り上げられたものと、それる現働的な「波」と、それとは対立する真の生成をもたらす潜在的な「袰」とに分けて考えるのだった。物質には、たとえば質と量のように、「袰」とに分けて考えるのだった。物質には、たとえば質と量のように、「といの特性である。」つまり、イマージュの相互連絡に時制を導入し、と波の特性である。」つまり、イマージュの相互連絡に時制を導入し、

動の局所的希薄化であり、「複数の遮断から成る非連続な環(ループ)」 すなわち身体の無機的な生成が必要なのである。」 ち潜在的な希薄化が存在しなければならず、生物の非有機的な過去が することへと帰着する。 あった。 \mathcal{O} の問いかけは、生物空間の基層に巻き起こっている、物質のイマージュ 所 である、と。 こう述べる。)束を流動させ遮断する現働的/潜在的な生成 - 時間へと向かうので こうした論理に基づいてメイヤスーは、 (空間)を画定する存在、それが生物なのである。 そしてメイヤスー 「生物を思考することは必然的に希薄化の領域の生成を思考 流動から完全に独立せず、 生物とは、 知覚がイマージュの縮約であったように、 「そして、」 身体の非-なおかつ環によって一つの場 生物とは何か?と問うて、 有機的な過去、 すなわ 流

流動は、遮断自体の流動であり、その変化を孕んでいる。それは郡司時間変化が重要なファクターになることは理解にかたくない。遮断のマージュが流動するさなかに、それとは独立に遮断を構想するとき、する空間こそがメイヤスーのモデルを実装しうると考えている。メイオコはメイヤスーのこうした議論を受け、非同期時間によって生成

彗眼があると思われる。 的実装はないが、 する点は、まさしく内部観測的と言える。 クの循環や作動の行為の絶え間ない継続を議論してきたが、 満ちているが、ここまで論じてきたオートポイエーシスにも内部観測 的 0) して、産出系に寄与するかたちで記述された。 にも通じるようである。オートポイエーシスにおいて、産出ネットワー 様相によって実装される。 に取り込まれた代謝物質は、 規則をとったセルが、 非同期時間のセルオートマトンにおいて、 物質的イマージュの流動に潜在性を見通すあたりに 次の世代に変化を伝播させて波化していった メイヤスーの生物/空間は、 その物質的イマージュをシステムが縮約 メイヤスーの議論には具体 ランダムに能動的 遮断の時間変化を導入 独特の システム 語彙に /受動

させていると先見的に関与することができる。 可 というシステムの時間性を知っていることが、 楽曲のなかで、未だ出音されておらずこれから鳴るであろう音がある。 ことによって、 (シーケンサー) が同期化させる時間への理解である。 よび潜在性と考える。このとき潜在性を担保するのは、 このように多層化して潜在している音がある状態を、 ミングを制御されている。 れぞれの楽器音は、べつべつのトラックとして出音のフレーズとタイ コンピューターのシーケンサーで作曲をするときを思い浮かべる。 能ではないか。 ここからさらに敷衍して「時間の潜在性」を考えてみてはどうか。 すると、このシステムへの理解とは、 世界には世界の固有の仕方で、 「世界はシステムである」という言明へと敷衍する これをリスナーとして聴くとき、 世界や物理法則にまで拡張 これで、 時間を多層化させ潜在 潜在の可能性を保証す 時間の多層化お 当のシステム 非同期から局 シーケンサー 重奏的な そ

を構想することができるのだ。 所的同期化へとむかう複雑にもつれ多層/潜在化した時間

ところで、筆者は手描きによるセルオートマトンをもちいて、制作をおこなっている [19]。手描きの CA の場合は、描きすすめてゆくさい、一つずつセルを描いてゆかなければならない。行にセルをしきつめてゆくさい、行為者の判断(どのセルを先行して描くか)は規則に現れないかたちで潜在しており、ときにそれは描き間違い(エラー)という形で顕現することになる。すると、郡司の言うような非同期性が潜在的に制作のなかで抑制されていることになるだろうか。これを CA の規則に反映するかたちで構成できれば、内部観測的な制作行為が実行できるはずである。この文章を描きながら、一つの発見的着想として、今こう書いている。そうした制作規則がどのような表現を生み出すかは現時点では想像つかないが、予感をもたらすような事例が、拙作のなかで一つ想起されるので追記しておきたい。

いてみると、別様な解釈が可能なように思える。 ・との共同制作というかたちで発表してきたのだが、そ がいる、という性格の がには同じ規則によっても、描く人によって出現し がいる、という性格の がによって出現し がいる、という性格の がいる、という性格の がいる、という性格の がいる、という性格の がいる、という性格の がいる、という性格の がいる、というで格の がいる、という性格の がいる、という性格の は、





このとき着目してほしいのはセルの形状である。左図は几帳面に均質に展開する迷路に、CAを敷き詰めてゆくことで描画されたものだ。同じ規則が用いられている。制作方法について詳述はしないが、襞状先の二つの画像は異なる行為者によって描かれたもので、それぞれ

5 3 6 1 7 4 2 8 6 3 7 1 8 2 5 9 4

な網目状をしたパターンに、三角のフな網目状をしたパターンに、三角のフル図形がくっきりと現れている。これいびつに歪んだ網目をしている。これらはもしかしたら、セルの描く順序をらはもしかしたら、セルの描く順序をらはもしかしたら、セルの描く順序をらはもしかしたら、セルの描く順序をいびつに歪んだ網目をしている。これとのように選択するかという同期・非

規則)。 合は、 がない場合は鋭角の<を描く 0) 間 段の初期値には均質な形状の<<<< 考案の手描きの CA は、 <の角度を調整する ^^

へ

へ

た

あたえておいた。 ンをつくってゆく。 セルを行に敷き詰めて網目状のパター 時 発展させるさい、 試 しに、 間を導入する。 隣のセルの末端に接するように 先行したセルが横に隣接する場 上図で説明してみる。 横に隣接するセル 行のなかで非同期 図におい (受動的規則)。各 <の形状をした ここから時 て、 (能動的 最上 筆者

> 則の実行時に予期を働かせて、 高い人は確かに居て、 ŧ ができるだろう。 ルの書き順にばらつきがあったのだろう。 の不揃いで歪な網目をつくることができた。 セルの数字は状態変化の順序を例示している。これによって鋭角鈍 一つ一つセルを描き込んでゆくさいに、それぞれに癖があり、 セルの描き順にばらつきがあっても、 結果的にセルの形状を均質に保つこと (他方、形態把握の能力が おそらく実際の 描画 能動的規 セ 角

表現へと展開しなければならない。 しかし、言うだけでは不十分であり、制作の規則に内蔵するかたちであるだろう。制作のなかにはあらゆるところに確かに内部観測がある。孕んでおり、より個体性のあるパターンを生み出す、優れた概念でもこのセルの非同期性は人が手描きで実行する CA ならではの特質を

そして制作論へ

分 - 全体> テム自身が自己組織化するさいの機構を描いており、 あろう(もちろん道半ばではあるが)。オートポイエーシスは、 論のあいだでとらえるために、重要な知見をあたえる基礎的な理論で 続を条件としていることである。行為者を、経験科学の認識論と存在 それはシステムに内的な視座を持つことであり、システムの継続 ような創発を批判的に検証し、創発が オートポイエーシスやウルフラムのセルオートマトンに見いだされる テムが観測行為を実行するさいの時間変化を主題化している。郡司は、 オートポイエーシスと内部観測、これらは共通する点を持っていた。 の関係に分化する理論構想のなかに、二重基準を見いだし、 **〈行為者** - 観察者〉 あるいは 〈部 内部観測はシス シス /持

デル)である。 して経験科学の知たらしめていたのが、シミュレートによる実装(モして経験科学の知たらしめていたのが、シミュレートによる実装(モて非同期性といった時間の概念を導入していた。これを実行的に構成それを解消するための手立てとして内部観測に基づく予期や履歴そし

ま行的でなければプログラムはすぐさま停止してしまう厳密性をそなま行的でなければプログラムはすぐさま停止してしまう厳密性をそなとでいして、もう一つのモデルを仮想空間に走らせる実験数学であり、おりー (観察および理論)、プラクティス (理論にもとづく実践)、ポイエーシス (制作)となる。さらにコンピュータ以降には、新たな科学的な知として、観察でも実践でも制作でもないシミュレート (構成・モデル)が加わるだろう。シミュレートは観測も実験も困難な事象にたいして、もう一つのモデルを仮想空間に走らせる実験数学であり、ポイエーシス (制作)となる。さらにコンピュータ以降には、新たな科を行的でなければプログラムはすぐさま停止してしまう厳密性をそなまでいる。

用したう。

おののではなく、制作のさなかで気づきを得て、新生論を活うてみたい。実証するのではなく、制作のさなかで気づきを得て、新スや内部観測といった諸理論が、制作論としていかに展開可能かを問いった課題において、行為者、内的な視座をすえたオートポイエーシか。たとえば人の心的システムが造形活動においてどのような働きをか。たとえば人の心的システムが造形活動においてどのような働きをかっぽう、芸術における制作(ポイエーシス)のアプローチはどう

の作動を通じて出現したように、ポイエーシスとは「成ること」であた、行為者による制作である。オートポイエーシスのシステムが自らポイエーシスとは、オートポイエーシス(自己制作)の語源ともなっ

り、 らの制作を位置づけようと目論むことになる。 性を組み込んだプログラムによってイメージが生まれる) 作を再構成する。つまり私は、ポイエーシスとシミュレートの 与えたように、今度はシミュレート(単純な規則の再帰的適用や不定 変数調整の結果としてイメージが生まれる)が画家に想像力を影響を 制作において、「つくりながら考える」「とにかく手を動かす」といっ をとりながら行為を連結させるようなプロセスである。 りだすブリコラージュのような知恵が端緒となっており、 クネー)ではない。そういった意味で、理論(入力)にもとづく実践 の方法論や概念を導入することは可能だろうか。 た姿勢がとられるが、これは甚だまっとうな制作行為なのである。 力)とも異なる。身の回りのあらゆる素材を駆使して生活道具をつく さてでは、芸術の本性の一つであるポイエーシスに、シミュレート 何らかの入力を与えられて意味や機能を出力するような技術 かつて写真(光学的 しばしば美術 可能な選択 が画家の 間に自 テ

数の出現」についても記述することができるだろう。私が制作においたする。(前節の最後に見せた手描き CA ドローイングはその所産で、エラーによる再帰性のもつれが起きたり、ルールのなかに制作開始当初は気づかず潜在していた「変数の出現」が、発見的に経験されらも、シミュレートにおいては無化されていた質料性が介在することにならながら、制作において、ルールを与えることによって、プロセスの各場当初は気づかず潜在していた「変数の出現」が、発見的に経験されが当初は気づかず潜在していた「変数の出現」が、発見的に経験されることになる。また、制作においては無化されていた質料性が介在することがら、別になる。また、制作に明示的なルールを与えることで、その「変数の出現」についても記述することができるだろう。私が制作においる。

て経験した変数の出現は、奇しくも、内部観測的な時間の非同期性と



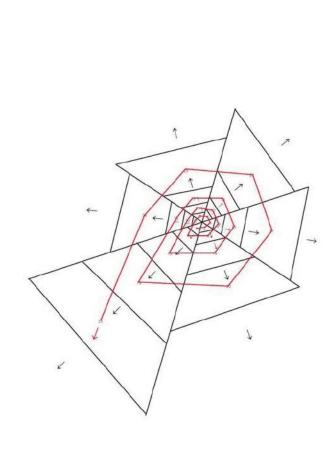


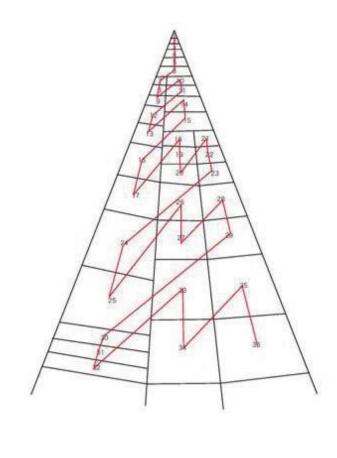
たものだ。両者は同様のシステムで制作されたが、大きく様相がこと 同じ、制作進行シークエンスの多様化として現れたのだった。 二〇一四年に東京芸術大学美術館(高橋コレクション蔵)にて発表し 二○○九年に東京都現代美術館(東京都現代美術館蔵)で、下図は 右の画像は、それぞれ同じシリーズ「織物絵画」の拙作で、 上図が



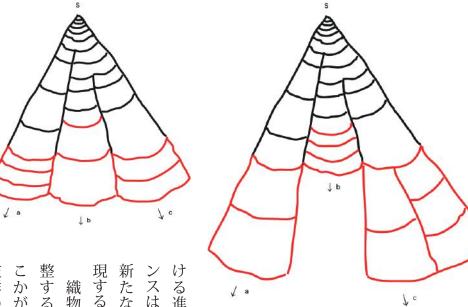
面が大きくなり、そのつどにドローイングを描き足してゆく。布の基 を描いた作品である。植物が成長するように、時間とともに次第に画 制作進行シークエンスの多様化である [20]。以下で説明しよう。 なっている。このなかでおこった変化の内実が、変数の出現であり、 織物絵画とは、手で織り広げた麻布に独自のパターンドローイング







しかし、事前に全体性が措定されるような作品制作の形式は、オート る。このように枝の成長 - 織りの進行プロセスのシークエンスによっ 数の刈り込みをともないつつ、フラットな布が織られるよう実行され 順序よく往復させながら成長させる(右図)。いずれも増えすぎた枝 物を一枚布に仕立てるには、「今の枝を織ったら、次は右隣の枝を織 らない。たとえば下図で示すように、始点から放射状に展開する織 岐した成長面が同時進行で一様に展開するわけではなく、ある時点で また潜在的に時間の非同期性をはらんでいる。普通の植物のように分 ている。基本的には、作者一人で織ってきた。つまりこの樹状構造も の議論を参照[21])を、疑うべくない大前提と設定していたからだ。 ム絵画の平面性に依拠した制作姿勢(たとえばクラウスの「水平性 のシークエンスは、およそ何の疑いもなく暗黙に実行されていた。カ 進行プロセスのシークエンスがあらかじめ決定されている程度に応じ て、布の形状、すなわち作品構造の全体性が獲得される。逆にいうと、 は実現される(左図)。また、扇形に展開する織物では、枝の選択を の選択を、螺旋形に順次旋回しながら成長させることによって、これ る」というような局所的なシークエンスが必要になる。成長させる枝 者は、分岐して増殖した枝の成長スピードを相互に調整しなければな 時間においても、一様で平板な一枚布に形成したいのであれば、 本構造は樹状であり、一点からはじまって描画領域を枝状に分岐させ ンバスを一枚布として疑わず、固執していたのは、いわゆるモダニズ て、作品の全体性(布の形状)を想定されているということが言える。 つの枝が任意に選ばれ織られる(時間の非同期性)。もし非同期な 本作をつくりはじめた二○○八年当初から、こうした進行プロセス



ポイエーシスを活用する本作としては大きな 問題含みでもあった。 作動のさなかで、新た 発の回路がひらかれな ければならない。そう して、織物絵画をつく して、織物絵画をつく

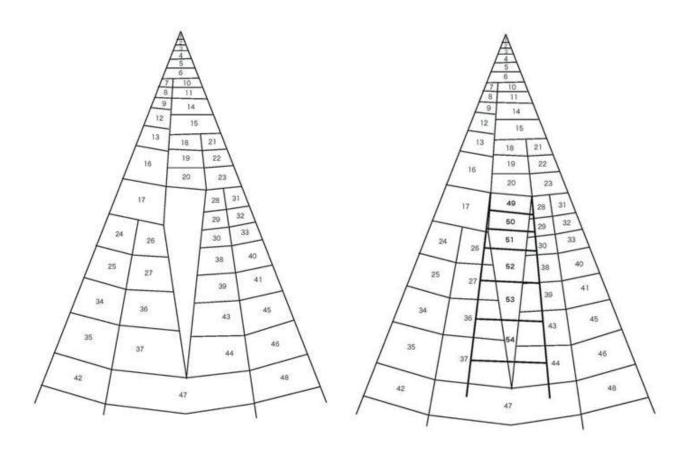
現することになる。
新たな変数として発見的に出
ンスは、「手順の選択」という

離物の各枝は織るさいに調整するわけだが、それでもどこかが偏って伸びすぎるなどこかがままある。通常は、崩れたバランスを自己修正的に修復するだけなのだが、ある特殊な枝の配置によって、織物の平面を維持するという前提の破れがもたらされたのであった。

aと cが、基層の空間的位置を先んじて占め、遅延した枝 bを囲い込 aと cの枝がさらに分岐しながらその領域を拡げて、bの枝が成長す それまで前提としていた平面性の維持とは別の可能性へ筆者をもたら ら強調することもできる(右図)。しかし後者の可能性は、 があるが、ここでは省略する)。他方、このアンバランスな配置をさ 竹の節を連ねるようにして行をなしてゆく(枝の成長と分岐にも規則 相互調整をすればよい(図中央)。織物の枝を成長させてゆくときは、 織物の樹状構造における「三叉 - 層化パタン」と呼んでおく。 むように追い出すことによって、自ずと層構造がつくりだされるのだ。 に占め出し(頁次左図)、多層化する空間を志向しはじめたのである。 した。aとcをさらに拡張して、bの枝を同一平面上の空間から完全 るべき空間を浸食してゆくことになる。こうしたシチュエーションが、 て潜在していたのにもかかわらず、これまでけっして実行しなかった。 面性が前提にあったため、当初から作品のルールに可能な選択肢とし この配置に直面したとき、一枚布の平面を維持するためには、 いる(左図)。赤線で示したのはこれから布が拡張する成長面である。 点に展開する a, b, c の枝があり、真ん中の b の枝の成長が遅延して (下図では行の生成順にナンバーをふって示す。) 上図のように、両脇 a, c の枝が伸張する状況がさらに展開すると、 それは、上図で示したように枝が三本並走する配置である。 絵画の平 これを 枝群の

これは行為者であり、内部観測体である制作(ポイエーシス)が、本シークエンスを複雑化させて、多層化する構造を獲得するに至った。面性を強く維持していたが、分岐しながら成長する作動をへて、制作このように、織物絵画の樹状空間は、当初は絵画の先入観である平





測から、制作論へ展開するための道筋であると私は考えている。
一切である。どの枝を選択して織るかという手順が、新たな出現〉の一例である。どの枝を選択して織るかという手順が、新たないう意味でも、創発がおきたと言えるだろう。このように現実がよりいう意味でも、創発がおきたと言えるだろう。このように現実がよりいう意味でも、創発がおきたと言えるだろう。このように現実がよりいう意味でも、創発がおきたと言えるだろう。これが織物絵画における〈変数の一切である。どの枝を選択して織るかという手順が、新たなりのになる多様化の回路が、導入されたルールの隙間をひらいて、明高において、創発をアートする。これがオートポイエーシスと内部観問において、創発をアートする。これがオートポイエーシスと内部観問において、創発をアートする。これがオートポイエーシスと内部観問において、創発をアートする。これがオートポイエーシスと内部観問において、創発をアートする。これがオートポイエーシスと内部観問において、創発をアートする。これがオートポイエーシスと内部観問において、創発をアートする。これがオートポイエーシスと内部観問において、創発を関する。



追記‐システムの質料性

数への予期は、 強度がそれを下支えしているはずである。 とは難しいが、どこに活用できる変数がありそうかを予期するとき、 感じとっていながら、測ったり意味化することができない、心のそう ている感覚の濃密さである。 においてではないそれ固有の強さ・量として制作者自身に感じとられ ろう。「強度」(意味や測度に還元できない濃密さ)とは、 はすぐさま感じられる。変数にたいする感覚をはっきりと意識するこ ムで新しい色を試したとき、「これはつかえない」という感覚の強度 したはたらきを、ドゥルーズは強度とよんだ。たとえば、 づきにたいしてはたらいているのは、制作行為における感覚の強度だ て無視しているような変数も多くあるのではないか。この変数への気 に活用している変数がたくさんありそうである。 こうした「変数の出現」 強度を介してうながされる。 を見てゆくと、まだまだ制作のなかで暗黙 美しさや高揚感など、確かにその強さを いまだ発見されていない変 あるいは逆に、 線描システ 他との差異 あえ

に雄大な作品空間を張り出しており、いまでも強烈な印象が残っていて、 一〇 九年に織物絵画を発表し、それが一定の評価を得て、このとき私は、創発という作品コンセプトの完遂として、その全貌をこのとき私は、創発という作品コンセプトの完遂として、その全貌を一挙に視野に収められないほどの作品の〈重さ〉にかかわることだ。 まん 「再魔術化する絵画」は六メートルにも達し、壁一面を覆うよう作品「再魔術化する絵画」は六メートルにも達し、壁一面を覆うよう作品「再魔術化する絵画」は六メートルにも達し、壁一面を覆うよう作品「再魔術化する絵画」は六メートルにも達し、壁一面を覆うよう作品「再魔術化する絵画」は六メートルにも達し、壁一面を覆うように雄大な作品空間を張りにはどくに、作品の〈重さ〉にかかわることだ。 この強度にもとづいた「変数の出現」について、いまいちど制作を

テクスチャ、質料性の感触が強く残っていた。それが重さだったのである。麻の布目を樹脂で固めた織物、ローた。それが重さだったのである。麻の布目を樹脂で固めた織物、ローる。それは良かったのだが、この作品には一つの難点をともなっている。それは良かったのだが、この作品には一つの難点をともなっている。それは良かったのだが、この作品には一つの難点をともなっている。それは良かったのだが、この作品には一つの難点をともなっている。

は、 う表現が適切な、 て、 が現れてきたのである。 ら、まずは紐を細くし、織り目を丁寧に詰めて、 地で塗り固めていたため、やたら重かった。とにかく重かった。 めいた反省を自分で引き出していた。以後、 意外なことに、 よう努めた。樹脂と下地の量をできるだけ減らすために。そうすると 作品は軽くなければならない。」こんな、 ーセンチも太さはある麻のロープを織り、 作品の軽量化にも取り組むようになる。 作品が軽くなるだけではなく、 粗目のカンバスだった。それを多量の 当然といえば当然の教訓 前述した資生堂での作品 制作の運用上の課題とし 作品の構造上でも変化 布というよりは網とい 布を細目に仕上げる 画用樹脂と下

バスの樹状構造も伸張していた。は資生堂の作品も同様なのだが、カンバスの布目が粗かったためカンをもって派生的に分岐しながら生成するプロセスをもっている。これって北まで述べてきたとおり、全ての織物絵画のカンバスは樹状構造

品の容貌からも、枝分かれした樹状構造がはっきりと視認されるようバスとなることで、樹状構造も凝縮されたのである。これによって作しかし、その後の織物絵画の布目はきっちりと詰まり、細目のカン

ても、 しているが、それはまたの機会に論じたいと思う。 ちなみに郡司もまた、 択しながら、もっと多様な空間構造体を産み出すようになるだろう。 とたび、フェーズの変更を被れば、 招いたのである。このように制作のさなかで変数の出現を予期し、 をへた予期せぬ結果として、構造が様相を変え、新たな変数の出現を れた強度をもとに質料を調整することによって、 か)を引き起こしたのである。このように、制作をとおして感じとら 各枝が生成速度においても自己差異化し、「どの枝をのばすか」を選 フォーゼ)することになる。手順の変数を活用して、 になった。それは作品の表現力としてだけではなく、制作者本人にとっ より樹状構造を意識した変数調整(それぞれの枝をどう伸ばす システムの質料性について興味深い議論を展開 システムは別様に変態(メタモル ゆるやかな時間経過 樹状カンバスの ひ

うに、 である。 することで、 これに強度と質料性が浸透することで、 回路である。 れていない変数を無数に潜在させている。 質料と様相を介して心の働きを体現する媒体なのだ。 私にとっての作品とは、 創発をシミュレートする制作 みずからに明示的なルールを課し、 母にとっての靴下がそうであったよ 生の制作は駆動しつづけるの 創発は、 (ポイエーシス)となる。 制作システムを構成 これを内から破る

結語

う。これらシステムの構成を手掛かりに、 で、 わることができる。 なはずだ。私が私であるという現象を維持したまま、私は別な私に変 テムの定常的な有様から、別様な現実性へのメタモルフォーゼは可能 発を介して、私たちの現実や心はいかに多様で豊かになりうるか、 つかって、さらに私たちの心は細かく機微に富んで再構成されるだろ システムに導入して、 いう根本的な理念に支えられている。オートポイエーシスの心的シス オートポイエーシスと内部観測、 当体の時間変化を描く。予期、 内部観測は、 いわば心の運動を組織化する。こうした概念を オートポイエーシスとは異なる論理 履歴、 そして制作論へ。 非同期といった時間概念を 制作は前に進んでゆく。制 この流れは、 と 創

参考文献

vol.29 - 12 青土社 (1979 / 2001) [1] フランシスコ・J・ヴァレラ『生物学的自律性の諸原理』現代思想

[2] 鈴木健『なめらかな社会とその敵』勁草書房 (2013) の解説も参

照

ステムとはなにか』国文社 (1980) [3]H. R. マトゥラーナ、F. J. ヴァレラ『オートポイエーシス – 生命シ

[4] 河本英夫『オートポイエーシス 第三世代システム』青土社 (1995)

P.160 を参考

[5]H.R.マトゥラーナ、F.J.ヴァレラ『知恵の樹』朝日出版社 (1984)

活用さ

作は、

社会的制約や先入観などさまざまな環境条件によって、

/ 1987) 第四章 メタ細胞体の生活

[6] 河本英夫『オートポイエーシス 第三世代システム』青土社 (1995)

P.169 を参考

[7] 郡司ペギオ - 幸夫『原生計算と存在論的観測』東京大学出版会

(2004) 二章を参照

[8] 郡司ペギオ - 幸夫『群れは意識をもつ』PHP サイエンス・ワール

ド新書 (2013) 一章を参照

[9] ピエル・ルイジ・ルイージ『創発する生命』NTT 出版 (2009)P73

[10] 郡司ペギオ - 幸夫『生命壱号』青土社 (2010)

[11] 松野孝一郎『来たるべき内部観測』講談社選書メチエ (2016)

[12] 松野孝一郎『内部観測とは何か』青土社 (2000)

[13] 松野孝一郎×上浦基『内部観測 The Origin』Webマガジン

『!』 エウレカ・プロジェクト (2014)

[14] 郡司ペギオ - 幸夫『群れは意識をもつ』PHP サイエンス・ワー

ルド新書 (2013) 四章を参照

[15]Stephen Wolfram "A New Kind of Science" Wolfram Media

Inc(2002)

[16]Deborah R. Fowlery, Hans Meinhardtz, Przemyslaw Prusinkiewiczy "Modeling seashells" From Proceedings of SIGGRAPH

92 (Chicago, Illinois, July 26–31, 1992)

[17] 郡司ペギオ - 幸夫『いきものとなまものの哲学』青土社 (2014)

四章を参照

[18] クァンタン・メイヤスー『減算と縮約』現代思想 2013.1 青土社

[19] 村山悟郎『カップリングの経験化』東京藝術大学 美術学部 論叢

第 10 号 2014.3 p.29 - 40

[20] 村山悟郎『創発する絵画』東京藝術大学 美術研究科 博士論文

2015.7

[21] イヴ=アラン・ボワ、ロザリンド・E・クラウス『アンフォルム

|無形なものの事典』月曜社 (2011)



photo by Josui (B.P.B.

村山

悟郎(むらやま・ごろう)

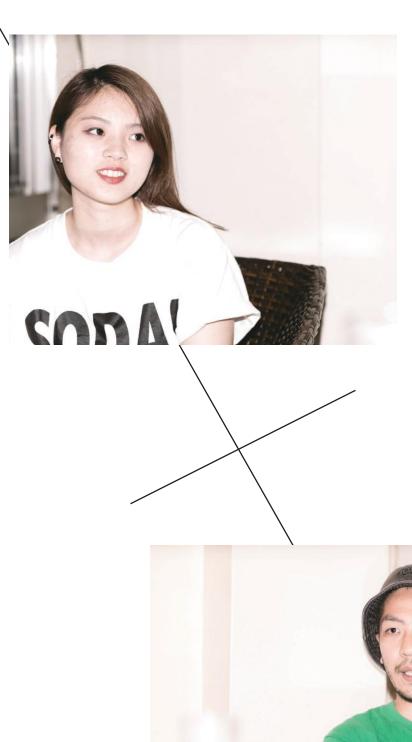
MOTで見る夢」東京都現代美術館(二○○九)などがある。 織化するプロセスやパターンを、絵画やドローイングをとおして 体の再魔術化」資生堂ギャラリー(二〇一〇)、「MOT コレクション・ 芸術センター(二〇一二)、個展「第4回 shiseido art egg・絵画的主 2013 現代美術の展望―新しい平面の作家たち」上野の森美術館 術大学美術館(二○一四)、「生成のヴィジュアル‐触発のつらなり」 個展「監獄のファンタジー」小金井アートスポット シャトー 2F 博士後期課程美術専攻油画 表現している。二〇一〇年、チェルシーカレッジ, MA ファイン α M(二〇一二)、「TRANS COMPLEX - 情報技術時代の絵画」京都 Takuro Someya Contemporary Art, Kashiwa (11○1111)、「VOCA展 アートコース(交換留学)。二〇一五年、東京芸術大学美術研究科 (二○一三)、個展「成層圏 vol.6 私のゆくえ 村山悟郎」ギャラリー (二〇一五)、「東京芸術大学 大学院美術研究科 博士審査展」東京芸 ウィーンで九月に開催する個展に向けて制作に励んでいます。 一九八三年、東京生まれ。アーティスト。博士(美術)。自己組 文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンにて滞在制作。現 ウィーン大学間文化哲学研究室客員研究員。主な展覧会に、 (壁画)研究領域修了。二〇一五-一七

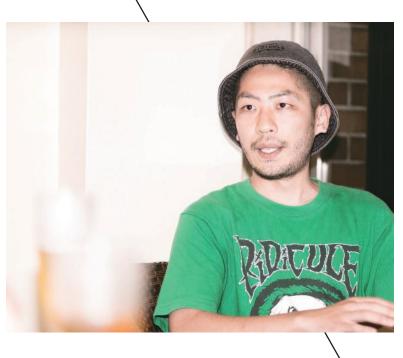
の BGM は Aphex twin の新譜 "Cheetah EP" でした。

街からダサい人が減ったのはなぜか 古着・ファストファッション・ファッションベンチャー

安喰教将×國島萌衣

(司会·澤宏司)撮影·笹屋耕二郎(Fish Photo))





ない。バリエーションの提示は困難だ。は味は伝わらず、自室の匂い立つ佇まいはそう毎日変わるものでもいないだろう。ネットを介して人に見せるときも、スマホの画面でも、どんなに転居が好きでも年に何度も住まいを変えられる人は生活の基本である衣食住のうち、食はだいたい日に三回と限られ

うだ。なくない。五感のうち視覚がメインなのでSNSとの相性もよさそなくない。五感のうち視覚がメインなのでSNSとの相性もよさそションを変えただけで心境やポジションの変化を問われることも少む・好まざるを問わず、それがその人の個性の一部となる。ファッその点、衣は違う。誰しもが毎日身につける。頓着・無頓着、好

明らかになる。

こうしたファッションについて考えざるを得ないことが別いで遭遇する、モノとコトの関係について考えざるを得ないことが定義はあやしいが、少なくともハイ(メイン)カルチャーグロー(サークが、少なくとものでは、どちらも後者に属するだろう。日常に、一人は古着歴十数年のプロ。もう一人は日本一のアパレルこうしたファッションについて考えるべく、二人の専門家をお迎

古着屋とリサイクルショップ

安喰 どんな種類があるか、ですね。自分自身が「MAD SECTION」―― まずは、安喰さんに古着のバリエーションをお伺いします。

USA ものの古着があります。

の人が着ているものをこっちに持ってくるみたいな? --- ビンテージじゃない USA もの? つまり、ふつうのアメリカ

ういうのを僕はレギュラー古着と呼んでいます。 ツならば二八○○円ぐらいで売っています。ラルフローレンとか。そ**安喰** そんなに古くもなく、希少価値がそんなにないものです。シャ

--- GAP はダメですか。

服を販売しています。あそこも若い人たちが昔、古着屋って言ってい基本です。あとはメイド・イン・UKや France とか。ヨーロッパの基本です。あとはメイド・イン・UKや France とか。ヨーロッパの 安喰 GAP を扱っているお店もありますけどメイド・イン・USA が

すけど、それは本当は古着屋じゃないよね、みたいな。 すけど、それは本当は古着屋じゃないよね、みたいな。 すけど、それは本当は古着屋じゃないよね、みたいな。 すけど、それは本当は古着屋で始まったんじゃないかなって思います。 ましたけど、まともに古着屋をやっている人たちからすると、リサイましたけど、まともに古着屋をやっている人だちからすると、リサイましたけど、まともに古着屋をやっている人たちからすると、リサイましたけど、まともに古着屋をやっている人たちからすると、リサイましたけど、まともに古着屋で始まったんじゃないかなって思います。

宿の古着屋でした。 ンキューマートというお店は全品三九〇円というのがコンセプトの原ですね。ちゃんと一個ずつ見ていくとたまにあったんですけどね。サ安喰 メイド・イン・USA のものを探すほうが難しいお店だったん

國島 今はあちこちに。福岡にもあります。

安喰 コンセプトが「全品三九○円の商品を売る」ということでした。―― サンキューマートの成り立ちを教えてください。

した。最近はもう古着は集めきれないのか、新品屋さんみたいになっものとか、そういったものを安く仕入れてきて三九○円で売っていま入れてきたちょっとした新品の小物、おもちゃのサングラスみたいな最初は古着がメインだったんですけど、それに、たぶん中国とかで仕

― それはユニクロとは違うんですね?

てきていますね。

しれないですね。 お客さんにいいものを売りたいっていう。主に若い人がお客さんかも**安喰** コンセプトは近いかもしれないですね。商売として、低価格で

キューマートならいいみたいな風潮はあるんですか?―― しまむらとは違うんですか? しまむらはいやだけどサン

國島もしかしたら買う人たちは一緒かもしれませんね。

ていろんな流行りもの。おしゃれなものがあるのかはちょっとよくわど、しまむらは新品なので、どちらかというと H&M みたいな。安く安喰 今どんなものを置いているか自分も把握していないんですけ―― しまむらとサンキューマートは何が違うのでしょうか?

- フライングタイガーみたいな感じですか。

からないですけど。

國島 フライングタイガーはちょっと違うと思います(笑)。けどた**國島** フライングタイガーはちょっと思います。他別でありますよね。などのなり多いとか。アウトレット品のようなものありますよね。などがあり多いとか。アウトレット品のようなものがに対しているがあります。(笑)。けどた

ジがあります。 ているんですけど、サンキューマートは一、二回で終わりというイメーているんですけど、サンキューマートは一、二回で終わりというイメー國島 質が圧倒的に違いますね。 ユニクロは長く着られるものを売っ

い。自分からするとあれはリサイクルショップみたいな感覚なんです。リート。 地方のロードサイトででかい店舗を借りてやるのがすごい多にできたリサイクルショップの名前なんだっけ? …セカンドストにをた。あとはブランド古着屋とか。 高円寺も最近多いんですけど、そこ安喰 量販古着屋、たくさん数を売るみたいなものがすごい増えてき

ンドンダウンとかありますね はちょっとよくわからないですけど。他にもジャンブルストアとかド やっていることは古着屋と一緒なのでどこまでを古着屋といえるのか

うんですよね? そういう大規模な古着屋さんと安喰さんがやっているのとは違

うです」とかではないと思うんです。 集めているような感じだと思うんです。「このお店のコンセプトはこ らくらいで売れそうだからいくらで買い取ります、といって、 **安喰** ああいうのはコンセプトがなくて。結局、これが流行っている からお客さんから買い取ったときに相場をネットとかで調べて、 ものを いく

古着を回してお金を稼ぐ「古着工場」みたいですよね

うな。 安喰 は二の次になっているような気がします。コンセプトを最優先するよ あるんですけど、やっぱり個性的で人気が出ているお店とかは、 商売ですよね、お金を儲ける。どこの古着屋でもそれが念頭に それ

國島 それは「モノ・コト志向」につながりますね

その話はあとでしましょう。

ユニクロはファストファッションではない

はファストファッションとは違うんですよね? 今度はファストファッションのことを少し伺います。ユニクロ

國島 と思っています。たしかに、ユニクロとか無印良品もファストファッ ファストファッションも古着と同じように何個かくくりがある

> のもあるんですけど、スタンダード商品が多い。 義として流行に特化していて、生産が早いみたいなところがあると思 うんですね。ユニクロや無印は、ものによっては流行を追っているも ションといわれていると思うんですけど、ファストファッションの定

安喰 そうですね。定番で回しているイメージが強いですね

國島 ら、ファストファッションというよりは日用品。ファストファッショ ンというと、H&MとかZARA、FOREVER21とか。 たのですが、スタンダード商品が主、というか八割がそうです。だか 定番のものがほとんどです。ユニクロで四年間バイトをしてい

ユニクロと H&M は違うんですね。僕からすると同じなんだけ

ど (笑)。

國島 ぶん二~三年着ますよね。でも、ZARAで買った服は一年とかで。 違いますね。逆に、 ユニクロで買った服は何年着ますか? た

國島 んなに高額は払えないっていう人が求めるものがファストファッショ … (笑)。そういう人もいますけど、流行を追いたいけど、 私は ZARA でも何年も着ちゃいますね(笑)。

そ

安喰 ユニクロとかと比べて安いですよね

ンだと思います(笑)。

國島 ものが増えてきたらしく、ユニクロよりはもうちょっとファッション いから。 ンのなかに入れるべきではないと思います。だって、流行を追ってな ですけど、ファッションとしてお話をするならば、ファストファッショ 寄りみたいです。ユニクロは、扱い的にはファストファッションなん ユニクロより安いですね。しまむらは最近けっこうおしゃれな



―― 安喰さんの求めているものは流行じゃないんですよね。だとすると、時間で流れないものを追うという意味においては、実は安喰さんのお店はユニクロに近い分もある。もちろん全然違いますけど(笑)。 まののリバイバル、今っぽくアレンジしたものだったり。結局、ビンテージとかがベースにあることが多いと思うんですよ。昔のカルチャーを現代風にアレンジして昇華させるみたいな。そういうコンセプトのブランドとかが多いと思うので。意外とそれをきっかけに、そういうブランドをきっかけにファッションに入った人は、実は安喰さんでブランドをきっかけにファッションに入った人は、実は安喰さと、ビンテージが欲しくなっちゃう。オリジナル志向、本物志向な人と、ビンテージが欲しくなっちゃう。オリジナル志向、本物志向な人と、ビンテージが欲しくなっちゃう。オリジナル志向、本物志向な人と、ビンテージが欲しくなっちゃう。オリジナル志向、本物志向な人と、ビンテージが欲しくなっちゃう。オリジナル志向、本物志向な人と、ビンテージが欲しくなっちゃう。オリジナル志向、本物志向な人と、ビンテージが欲しくなっちゃう。オリジナル志向、本物志向な人と、ビンテージが欲しくなっちゃう。オリジナル志向、本物志向な人と、ビンテージが欲しくなっちゃう。

どり着くみたいな。―― なるほど。再生産化されたファッションから入って、本物にた

感覚で、うちの店とかは。だから、すごいマニアックですよ。て何百万、何億もするような絵を買いたいと思う人が出てくるようなか。そういうのからどんどん勉強して、「こんな画家がいたんだ」といっす。 それはもちろん骨董品みたいなもので。そこらへんで売ってい

安喰 ばかりというわけではないんですけど、極力そういうものを集―― 安喰さんのお店は本物の「辿り着いたもの」ばかりなんですね。

で、そういうカルチャーをずっと。 **安喰** そうですね。音楽とかスケボーとかちょっとかじっていますの―― 集めることに関しては、もともと好きだったんですよね?

―― カルチャーを追ったけれども、生業としては服になった。

安喰 そうですね。

入って、そこで好きになる方が多いのか。どちらですか?客様的にももともと好きな方が多いのか、それとも初めてフラッと國島 突き詰めていった服が多いとおっしゃったんですけど、来るお

多いですね。ていく人は少ないです。何も知らずに、値段を見てビックリする人は安喰 半々くらいじゃないですかね。フラッと迷い込んできて、買っ

國島 そのへんの「雰囲気だけ同じ感じね~」みたいなお店と一緒か

安喰 古着なので、一個一個のサイズやコンディションで同じものを安喰 古着なので、一個一個のサイズやコンディションで同じものを

國島 きっちり説明とかするんですか?

人がきてくれたり。最近はネット通販も多いです。ブログとか Twitter で宣伝しているので、そういうのを見て、ほしいれください」という感じで、お客さんに。今HPで商品を紹介したり、安喰 聞かれれば説明しますけど、聞かれなければ、そんなに。「こ

古着に抵抗がなくなった

安喰 一○年前くらいだと、新品しか買わないという人、古着に抵抗**安喰** 一○年前くらいだと、新品しか買わないという人も結構いたんである人がすごい多かったんです。うちでは半分は新品を扱っている

― 最近ですか?

安喰 そうですね。あとはもう一個の全品五○○円のお店のほうも、 すいと着たくない人も多かったんですけど、最近は安いから買うって きじが。古着に抵抗はなくなってきたなーって。五年くらい前だとネッ がはけっこうおばさんとかに「これ古着なの?」と聞かれて。新品じゃ がとか。

安喰 二次流通になるので。

れだったら新品を買ったほうが。定価がもともと安いので。 安喰 ヤフオク!とかメルカリでユニクロの商品が出ても、たぶんそ國島 ユニクロの立場からみてもライバルにならないですよね。

服がたくさん必要な方がポチっ!みたいな感じだと思います。枚で○○円!」みたいな感じで、すごい安く売られてます。大家族で國島 そういう服ってメルカリにもヤフオク!にもありますよ。「一○

すごいダサい人がいなくなった

れはどういう現象なんですかね?―― 古着に抵抗がなくなったことをもう少し考えたいのですが、そ

というブームが根付いたとか。金を削っているんじゃないですかね。だから、ファストファッション安喰 単純に景気があまりよくないのかもしれない。洋服にかけるお

らにいくのでしょうか?―― お金がかけられないとき、ファストファッションと古着のどち

しないけどおしゃれがしたい、ちょっと個性を出したいという人は古**國島** 流行を追いたい人はファストファッション。流行とか特に気に

着のほうが多いのかな。

安喰 昔に比べて、表を歩いている人を見ていても、すんごいダサい

人ってあまりいなくなった気がします。

國島 言いますよね、それは (笑)。

安喰 昔はやっぱりすんごいダサい人とすんごいおしゃれな人がパッ

ストファッションのおかげというのか、せいというのかはわからないと見たらわかった。今はみんな同じような服を着ていて、それはファ

ですけど、自分はそう思うんですよね。

―― 昔ってどのくらい前ですか?

安喰 この一○年で大きく変わったんじゃないですか。逆に「それっ

前は。そういう人ってあんまりいなくなった気がします。そういうのてどこにありますか?」みたいな服装の人っていたと思うんですよ、

もファストファッションのおかげだと思いますね。安く、ちょっとこ

じゃれたものが買えるようになって。

るんですけど。それによって、古着に対する抵抗が全体的に薄れたの**國島** あとは、古着ブームがあったじゃないですか。まだ残り香はあ

カなと

―― 古着ブームって、いつくらいですか? 僕のイメージだと、ずっ

と古着ブームってあるような気がするんですけど。

安喰 それもわかります。高校くらいのときから何回も、何回も。

―― 僕が最初に意識したのはニルヴァーナ、グランジのあのとき。

こういう格好が流行るんだってとても印象的でした。

り。流行ってそういう影響力のある人たちが作るものだと思うので。**安喰** あのときは野口強とかスタイリストの有名な人とかが仕掛けた

持ったり、掘り下げていく人が出たりとかするんだと思うんですよ。人たちがそれってかっこいいんだなと思って、そういうのに興味を今だとネットだったりとか、そういうので発信することによって若いそういう人たちが「これはいいものだよ」って、当時だと雑誌とか、

― 仕掛けられた古着ブームが何度かあるのですね?

安喰ありますね。

- その反面、古着好きな人はずっと古着が好き、というイメージ

ヤバさの変質

があります。

安喰 今、ファストファッションが流行っていると思うんですけど、 で、終わるとそのあとヤバいやつになっちゃうじゃないですか。それ が、今ファストファッションがすごい流行っていると思うので、今度 が、今ファストファッションがすごい流行っていると思うので、今度 になっちゃうんじゃないかなと。

だと安喰さんは見立てていらっしゃると?みのようなものだと思っていたのですが、それも終わるときが来そう―― ファストファッションはブームでなく、もはやそれ以上の枠組

しでする。 **安喰** 終わりに向かっているんじゃないかなという印象がすごいある

んですね。

國島

安い服をたくさんではなくて。

安喰いいものをほしがっているかもしれないですね。

よね。残りはするんですけど。 **國島** ファストファッションは減っていって、あと数年で終わります

すけど。さっきも言ったんですけど、みんなと一緒になっちゃうんで**安喰** そんな風に感じますね、自分も。終わるというのもあれなんで

國島 「量産型ファッション」と呼ばれているんですよ。

すよね。

ションになっていると思うので。るわけじゃないですか。早い、オシャレな人たちは脱ファストファッ安喰。すんごいダサくはないんだけど、それがダサいことになってい「!」「『『『

--- そうすると、お金のない人たちはどこに行くのでしょうか?

バい人たちなんですけど (笑)。 を人は、もう多いんですよ、今。それを何年も着続ける人がたぶんヤ年も二年も着ている人が多いのかもしれないですね。安いもので十分安喰 ファストファッションの安く買ったものを同じものを大事に一

さが見えなくなった。 は、そこそこのものを長く着続けることによって、パッと見上のヤバー― なるほど、ヤバさの質が変わったんですね。ヤバかった人たち

いやなので。高校生や大学生と同じような服を着たくないという人たいもの新しいもの、新作をどんどんといるとそのコンセプトって成なのに、一個買って、それを大事に着られるとそのコンセプトって成り立たないので。そういうことで、もう買わなくなっていく。オシャリ立たないので。そういうことで、もう買わなくなっていく。オシャレな人たちはオシャレじゃないですか。流行りをどんどん追いかけて、新して、大きは、ファストファッションのコンセプトって、安いからたくさんなん。

ちは、やっぱりそこから離れていくと思うんですよ。

それで、その人たちはどこに行くんですかね?

行ってもすぐ半年で終わるみたいな。全体がこっちに動くというのが安喰 次にまたいろんな流行とかがあると思うので。でも最近は、流

瞬で終わる。

安喰 昔って本当に最先端の情報って、雑誌で得るか、クラブとかそ すいう場所に行って、そういう人たちから直接聞くかしかなかった。 おか をないことは素直に聞かないと。それが楽しかった。あとは最先端の にないことは素直に聞かないと。それが楽しかった。 ないことは素直に聞かないと。それが楽しかった。 ないことは素直に聞かないと。 ないことは素直に聞かないと。 ないことは素直に聞かないと。 ないことは素直に聞かないと。 ないらればいる。 ないことは素直に聞いないと。 ないらればいる。 ないと。 ないらればいる。 ないと。 ないと。 ないらればいる。 ないと。 ないと。 ないと。 ないと。 ないらればいる。 ないと。 ない

らず、いろんな分野で感じられていると思います。 レンマ。そのあたりのさじ加減の重要性についてはファッションに限せないと価値は出せないんだけど、見せすぎちゃっても困るというジ離れつつあると思いますがそのあたりはいかがでしょうか。他人に見…… SNSなど、今は「自分だけのものにしたい」という志向から

の情報だけで満足しちゃって、すぐ飽きちゃいますよね。そういう人る、掘ると思うんです。だけど、表面だけで満足する人とかはネット安喰 本当に好きな人は自分でもっとディープなことを自分で調べ

売られていたり。それをゲットすると嬉しいみたいな。そころは、この値段だけど、そのバンドを知らないお店では低値でうので。こっちのお店、たとえばバンドTシャツにプライド持っていただと思いますね。同じ商品でもお店によって値段の設定が全然違たちは次のことに移っていくと思うので。古着屋の面白いところって

―― 他のお店で買ったものを販売もするんですか?

ろん。 イクルショップとかで安く、ラッキーみたいなのはありますよ。もち女の 基本、古着なので。ものの価値が分かれば、そこらへんのリサ

に回れるわけですよね。―― 価値を知っているだけじゃなくて、価値を作る、流行を作る側

安喰 それも流行らせたいわけではなくて。自分がこれはこれくらいではたれてもいいんじゃないかという発信はできる。ただ、それに人がついてくるかどうか。うちはコンセプトがはっきりしているので、かついてくるかどうか。うちはコンセプトがはっきりしているので、かついてくるかどうか。うちはコンセプトがはっきりしているので、かついで落ちるんだなーって相場になったりとかするんですけど。すごと、そこそこの値段がつく。自分もチェックをして、だいたいこれくと、そこそこの値段がつく。自分もチェックをして、だいたいこれくと、そこそこの値段がつく。自分もチェックをして、だいたいこれくといで出たこともないようなTシャツだと、これは非常に珍しいですよとで出たこともないようなTシャツだと、これは非常に珍しいですよとで出たこともないようなTシャツだと、これは非常に珍しいですよとで出たこともないようなTシャツだと、これは非常に珍しいですよとで出たこともないようなTシャツだと、これは非常に珍しいですよとで出たこともないようなTシャツだと、これは非常に珍しいですよとで出たこともないようなTシャツだと、これは非常に珍しいですよとで出たこともないようない。

究極のふつうとSNS

- 國島さんからノームコアの話を伺いましょう。

スタンダードな日用品。セイミヤケのタートルネックにユニクロのパンツ。本当にいいものと、國島(ノームコアは「究極のふつう」。スティーブ・ジョブズはイッ

國島 考えるのはめんどくさいけど。いいものをしっかり着たい。安喰 考えるのめんどくさい、そういう人もいるかもしれないですね。

安喰ドヤってなりますよね。

國島 WEARと Instargam、二つのSNSを会社でやっていて、どういう人のどういうスタイリングが、いいね!の件数が多いのかをよく見るんですよ。そこで見つけたのがユニクロのお洋服でお洒落をするけど、一方で WEAR や instagram で人気が出た一般人のファッションではターキーとか派手な服装が流行ってきているんでするタイル」を載せるためだけのSNSです。ZOZOTOWN がやっている、「今日のスタイル」を載せるためだけのSNSです。ZOZOTOWNのサイトに連携させて、その人が着ている服がいいなと思ったら速攻で買えるシスケムもあるんです。

安喰 すごいですね。

ているので、アパレルメインなイメージなんですけど、見ているだけ特化したものを載せやすい。WEAR はアパレルの人、会社の人が見國島 WEAR はお洋服全体、スタイリング全体。Instagram は一個に

WEAR のユーザーは本当にふつうの服装の人が多いです。Instagram てありますよね? は映える服装、見せ筋なものが多いです。見せ筋商品と売れ筋商品っ は Instagram のほうが多く、世界的なものなので拡散数が違います。 の人も多いです。インフルエンサーといわれる発信力の高い人たち

國島 安喰 でもこういう服を店頭に置いておくと、こういう人が入ってき 自分はあんまり真っ当な洋服屋で働いたことがないので(笑)。

やすいみたいなのはないですか?

安喰 ……あると思います、わからないです (笑)。

ない。 國島 くちゃいいね!がつくけど、Instagram ではつかない、誰も見てくれ 全くいいね!がつかないんですよ。ある先輩は逆に、WEARではめちゃ いい!」が好まれて、WEAR は「真似できる」なんですよね。わた わたしでも買える」みたいなもの。Instargram では「わあ、 しの服装は、Instagram ではいいね!の件数が多くても、WEAR では うちの店だとあるんですよね。キャッチーなものと「これなら かっこ

同じ服装を両方に載せるんですか。

が。 國島 同じものを載せますね。変えたほうが、 有効的かもしれません

安喰 音楽とすっごい似ています。メインストリームとアンダーグラ

えますか。 メディアによって評価が違うことに関して、安喰さんはどう考

安喰 全部やれるんだったら、やったほうがいいと思います。ダメだっ

たらやめればいいし。

國島 たほうが売れるものもあるんですよ。うちの会社にもインスタグラ マーやウェアリスタがたくさんいます。 わたしは背が低いので、スタイルのいい店員よりもわたしが着

よって自分に置き換えることがしやすいのかもしれません。なんでも このモデルがいいから、というのが、身近な素人の人を使ったことに こよく見えても、自分が着ているときにイメージしづらいというか。 安喰そうなってくるのもわかる気がする。 お手軽なものが流行っているのかもしれませんね。 たとえば、 画面上でかっ

ノームコアとモノ/コト

てこてのものを着るとか。ライフスタイルとしての志向と、衣料とし さっぱりしているんだけど、ファッション、着ている衣料としてはこ をしているけど、家も生活もぐだぐだでみたいな。 マリスト。それらって似ているようで、実は違うと考える余地がある ての志向にズレがあってもおかしくない。 んじゃないでしょうか。つまり、さっぱりしたなにも装飾のない格好 ノームコアというファッション、シンプルな生き方を志すミニ 逆に、家はすごい

それがずっとモノよりコト志向って話です。 國島 ミニマリストの人たちはまだまだノームコアです。 服を買うというよりも、それを買った背景とか、それを作った人とか。 家はどんな感じですか? 流行のお洋

安喰 家はぐっちゃぐちゃです(笑)。

國島 正直、そうだと思いました(笑)。そういう、わりとコテコテ



なお洋服が好きな人は、おうちもコテコテなイメージがあって。

安喰 モノを集める癖がある。いまだにVHSとか大事に取っておすね。

洋服を少なく持っていて。
る人は、生活としてはしないんですよ。いいもの、スタンダードなおな人はお部屋がきれいだと思います。ノームコアを流行として着てい國島 ヨウジヤマモトとかギャルソンとかモードなコテコテさが好き

― そこで、「いいもの」になるのが不思議です。

高いんですよ。来る方はそちらが多いんですよ。面白いポイントで。僕は写真をやっていて、子供写真なんですけど、種屋(撮影参加) 別にユニクロのやつでもいいわけじゃん。そこが

國島 それがモノよりコト志向ってことなんでしょう。

國島 たしかに西海岸とか好きな人はまさにコト志向な人たちですよバックにあるストーリーまで考えれば、古着も全く一緒なんですよ。**笹屋** 完全にコト志向なんですよ。バックにあるストーリーが大好き。

ね。

モノができるまでのストーリーと、モノができたあとにさらに加えらアにしても、共通することは、ストーリーはすごく重要視されている。笹屋 モノとコトって切って離せないもので。古着にしてもノームコ

れるストーリー。

國島 わたしたちの仕事でいうと、それをいかに好きになってもらう

らある。自分がそういうのがかっこいいと憧れたところもあって。ていないだけです。古着屋って、あんまり接客しないイメージが昔か安喰 性格だと思うんですよね (笑)。俺はただ、めんどくさくてし

ブランドと価値

そういうお店ってどう思いますか? ないとか、そんな理由で手が届かない人に向けて始めたみたいです。るのにそぐわないんじゃないかと思っているとか、金額が高くて買えもとお取り扱いのあるブランドのお洋服を何かしらの理由、自分で着國島 うちの会社で最近、同期が USED 事業を始めたんですよ。もと

たら、会社のあれで古着屋とかの人と関係を持っていると、クビになっすけど、街で会ったときに「久しぶり~」と言ったら、「ごめんちょっすけど、街で会ったときに「久しぶり~」と言ったら、「ごめんちょっンドに就職した友達がいて。自分はブランド古着屋で働いていたんでンドに就職した友達がいて。自分はブランド古着屋で働いていたんでと話しかけないでくれ」って言われたんですね。価値を下げられると安喰 自分は自分のところのブランドを、中古だとはいえ、安く販売

守るためにやっていたんだと思うんですけど。てください」とすごい頑張ってやっていて。それはブランドの価値をが一般の人でもできた時代で。並んで商品を買って、隣の委託屋に持っが一般の人でもできた時代で。並んで商品を買って、隣の委託屋に持っが一般の人だと言われて。その当時、その某ブランドは古着にプレミアちゃうんだと言われて。その当時、その某ブランドは古着にプレミア

あとは、知ってもらうためにとかはありますね。 **國島** 一応、ブランドに許可が取れたものを扱っているみたいです。

安喰 それは自滅につながるんじゃないかな。自分のところで定価安喰 それは自滅につながるんじゃないかな。自分のところのブランドだとはいえ買い取って、古

接的にそれにつながるとはあまり思わないです。國島・シーズンが違うもの、三年前のとか、そういう感じなので、直

安くしなきゃ売れないってことだと思うんですけど。ですけど、自分でポリシー持って作ったものを自分で安くするって、絞めているように自分には見えちゃうんですけど。セールとかもそう安喰 安く買えると、みんな安いほうに飛びつくと思う。自分の首を

て見方をしてしまうと思うんですよ、消費者の方は。 安喰 今逆にセール用に作ったりしますもんね。でも同じブランドっ

國島 ブランドの名前だから買う。

作っちゃうのはわかるんですけど。 ランド、ブランドのなかでなんとかレーベルとかいって安いラインを**安喰** 値段が倍違ったりもするじゃないですか。それって自分で、ブ

は?
は仕掛ける側にも回れますよね。そのへんのさじ加減、感覚については仕掛ける側にも回れますよね。そのへんのさじ加減、感覚については好きなものを買っているとおっしゃっていましたが、やろうと思えは好きなものを買っているとおっしゃっていましたが、やろうと思えいいきないから高いのか、高いからいいのかはわからないんだけど、

安喰 自分は本当に好きなものを集めているだけなので。それがブー安喰 自分は本当に好きなものを集めているだけなので、また最近だとヒップホップのTシャンの本が出たんですね。それに載っているものは三万円から五万円でツの本が出たんですね。それに載っているものは三万円から五万円であるようになった。この前、ちょうど一年前までは五千円でも売れなかったの本が出たんですね。それに載っているものは三万円から五万円であるようになった。

― それは日本の本ですか?

やつはないかとくるんですね。 すけど、お客さんとかがたくさんその本を見て、その本に載っているすけど、お客さんとかがたくさんその本を見て、その本に載っているいんで

く。 --- 安喰さんでさえ見たことがないような本で価値が伝播してい

う人たちは今すごいヒップホップのTシャツ欲しがっていますね。そちのお客さんにはすごいいっぱいTシャツコレクターがいる。そうい**安喰** Tシャツコレクターっていうのがいっぱいいるんですけど、う

サイトがどんどんトップに出てくるんですよ。で、ここにあるんじゃ のヒップホップに載っていたTシャツをネットで検索すると、うちの ないかってまたきてくれる

すか。それらに共通するデザインや完成度、かっこよさってあるんで たとえば九○年代、 八〇年代、七〇年代と全然違うじゃないで

すか?

二本入っているんですけど、八○年代になると一本。このミシンって 安喰 思います。当時のものにこだわりたいっていう人が。 うところ。同じ絵なのに、三千円でも欲しくないというのはそこだと クバンドになればなるほど。あとはデザインよりも希少性とかを見て りましたみたいなものにはすごい価値がつく。あとはそのあと、ビッ すけど。八○年代の当時のやつはやっぱり価値があるところはそうい のディテールを、とか。同じ絵型でとか。メタリカとかもそうなんで 同じプリントでもオリジナルはちゃんとしている。本物はビンテージ とか、三○枚くらいしか作っていない、手刷りのメンバーが自分で作 ていたようなバンドのそのときの物販で出されたファーストTシャツ いうのはほとんどなくて、細かいことをいうと、そういうディテール。 いる人は多いかもしれないです。今のTシャツってここにステッチが 難しいな。価値の話で言えば、最初は小さいライブハウスでやっ

安喰さんは着ないTシャツをいっぱい持っているんですよね。

ほとんど店に出しましたね

店に出すということは手放す覚悟はあるってことですよね。 最初はそれがすごいいやだった、それが悩みだったんですけど

店を出したときは。好きで集めたものをなんで売らなきゃいけ

自分のものでいっぱい集めて二枚かぶったものを売ればいいかという に一二万八千円のTシャツが売れました。 分の大事なものを少しずつ出して、売るしかないですね。二、三日前 で。それだと店が薄くなっちゃうというか。 安易な発想だったんですけど、なかなか手に入らないものばかりなの ないんだろうって。最初はもっと経営がうまくいって、自分のものは 弱くなっちゃうので。自

一二万八千円って値付けをしたのは?

國島

それはどんな価値が?

安喰 自分ですね。

安喰 の人だとけっこう有名なTシャツなんですけど。 けど、その人のフォトTシャツです。それはビンテージTシャツ好き フォトグラファーのブルースウェーバーという人がいるんです

システム化されたファッション

分が新しいセレクトショップなんですか? STUDIOUS はいわゆるセレクトショップですよね?

國島 日本のブランドのみの取り扱いなんですよ。

かつ、数字をバリバリ追う。

國島 そう(笑)。なんなら数字しか見ないですね。 だから、

が好きじゃない人も中にはいるんですよ

データ重視の今風のビジネスですね。

國島 人が集まる会社。だから、それが洋服じゃなくてもいいっていう人も データ云々というか、うちの会社を踏み台として何かをしたい

とお洋服が好きな人、両方がいる会社ですね。とお洋服が好きな人、両方がいる会社ですね。ビジネス志向な人を出したいからここで頑張るっていう人もいます。本当にお洋服が好きで、ないから、洋服を売るっていう人もいます。本当にお洋服が好きで、います。でも今は、ここで上に上がるためには洋服を売らなきゃいけ

の違い、実店舗とネット店舗以上の違いはありますか? ―― ファッションベンチャーとしてはどうですか。ZOZOTOWNと

客をします。 るじゃないですかとか、お客様の購入の時の不安に寄り添うような接きにどういうお洋服を着ますか?」と聞いて、こういうときに着られきにどういうお洋服を着ますか?」と聞いて、こういうときに着られ会社的には「顧客感動」といって、必要ではないけど、「どういうと」をします。

それをシステマティックにやると。

國島 それを全アパレルがやったら、もっと売れますよ。そこがうち

なるほど。

しょうね。よく言う、ファッション×ビジネスみたいな。多くのセレる先輩もたくさんいます。でも、求めているものがそこではないのでになるというのが本当は一番いいんですけど。実際にそれをやっていになるというのが本当は一番いいんですけど。実際にそれをやっていいないんですけど、お客様になって、そのブランドの本当のよさを知っている。 最初はもしかしたら、すごくシステマティックにやるかもしれ

くれそうなものを置くみたいな。があるものを七、八割置いて、残りは感度の高い人がいいなと思ってけど、うちの会社はバイヤーが売れると思ったもの、流行的にニーズクトショップはバイヤーが感覚でいいと思ったものを受注するんです

瞬間が面白そうです。 ―― 会社組織としても小売りの現場としても、システムをはずれる

安喰 日本と世界のギャップもあるんですよ。日本では全然評価されていないのに海外ではすごい高くなって、ようやく日本でも高くなってかないのに海外ではすごい高くなって、ようやく日本でも高くなった。それがネット、海外の eBay で相場を調べることができたりとか。か。それがネット、海外の eBay で相場を調べることができたりとか。か。それがネット、海外の eBay で相場を調べることができたりとか。か。それがネット、海外の eBay で相場を調べることができたりとか。か。それがネット、海外の eBay で相場を調べることができたりとか。ルー・ネットワークややり方は最近変わってきてませんか?

安喰 五年前だと、eBayとヤフオク!でできていた人もいたと思う。 安喰 五年前だと、eBayとヤフオク!でできていた人もいたと思う。 安・でいるから、ドクターマーチンとかヨーロッパものも一~二千円 とんどんその差がなくなってきている。海外仕入れが効かなくなって さいじゃないですか。なので、アメリカ行っても買うないから、救援 ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買うと思えば安くは売ら ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買えないから、救援 ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買えないから、救援 ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買えないから、救援 をかで、日本人はこの値段でも買うと思えば安くは売ら ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買えないから、救援 ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買えないから、救援 ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買えないから、救援 ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買えないから、救援 ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買えないから、救援 ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買えないから、救援 ないじゃないですか。なので、アメリカ行っても買えないから、救援

るみたいです。
ているみたいですけど。もう少し治安の悪いほうにいけば、安く買えまって。タイ人が高く売ってしまっているので、買えなくなったりしで買えたり。今もう日本人の古着のバイヤーは全員タイに行ってし

― 価値を巡って世界中を動くのですね。

安喰 もしかしたら五○年後ぐらいにユニクロの服がビンテージ扱い



 $\frac{2}{3}$

安喰 教将(あんじき・のりまさ)

一九八五年生まれ、三一歳。北海道空知郡中富良野町出身。文化服装一九八五年生まれ、三一歳。北海道空知郡中富良野町出身。文化服装一九八五年生まれ、三一歳。北海道空知郡中富良野町出身。文化服装も五万円位するので、非常に悩んでいます。

「カースの国から」のDVD全巻セットの購入を検討中。因みにVHSでは、の国から」のDVD全巻セットの購入を検討中。因みにVHSでは、高アランリーズ・スペシャルドラマ版も全て所有しています。中古でも五万円位するので、非常に悩んでいます。

國島 萌衣 (くにしま・もえ)

多店に勤務。最近の興味はクレンズジュースとリンパマッサージ。チャー TOKYO BASE に就職。現在はセレクトショップ STUDIOUS 博間、学内ファッションショーの代表を経験したのち、アパレルベン 一九九四年生まれ。日本女子大学家政学部被服学科卒。在学中の二年



撮影:笹屋耕二郎(Fish Photo)

MAD SECTION

2008年に高円寺で開業しました。80年代~90年代のスケートブランドやバンドTシャツ等を中心に取り扱っているセレクトショップ。店内の半分は、アンダーグラウンドで活動しているブランドや作家さんの作品を新品で仕入れて販売しています。

巻末言

料理対決の怒涛の一日を終えた夜、久保さんから参加者へ「味の記憶が、なんというか、卑猥に感じられたからである。あたかもひとりでこっかった感覚に襲われてひとり狼狽えた。味や食感に肉薄した幾つかの文面が、なんというか、卑猥に感じられたからである。あたかもひとりでこっかった感覚に襲われてひとり狼狽えた。味や食感に肉薄した幾つかの文面が、なんというか、卑猥に感じられたからである。あたかもひとりでこっそり読んだり書いたりするはずの文章の断片を堂々と送り合っているようそり読んだり書いたりするはずの文章の断片を堂々と送り合っているようそり読んだり書いたりするはずの文章の断片を堂々と送り合っているようを――それでちょっと恥ずかしくなった。

きことがらだとする、 もっと真面目に取り扱おうというのが、排泄物こそ人間が知的に直視すべ ことの認識論と存在論」『講座食の文化(食の思想と行動』)。そんな彼が あるいは狡猾に、忌避してきた」のではないかという(増成隆士 始まり、 う。その理由について彼は、 士氏は、従来〈見る〉という営みが思考において重視されてきたのに比べ という人もいるからである。 とについて考えたり語ったりすることをあえて避けてきたんじゃないか、 そんなに突飛なものでもなさそうである。世の中には、私たちが味わうこ ことをみんなが知っていて、だからそれを「本能的に、あるいは体質的に、 「きれいな」営みであるのに対して、〈食べる〉ことは快楽が誘因となって て、〈食べる〉という営みが正面から考えられることはほぼなかったとい だが、なんで食べたことを素直に書くとどこか卑猥なのかという疑問は、 対象を占有し破壊し、そして「汚物」が出る「汚い」営みである サルバドール・ダリの作品とその思想である。 〈見る〉ことが安全で事後に汚れを残さない たとえば「食の哲学」なるものを説く増成降 「食べる

なかった姿まで思いがけず開示することになってしまった。
た私たちが、食べることから出発して話すことで、互いに見せるつもりの体によるものだったと思う。つまり、一緒にものを食べるほど親しくなかっきのきまり悪さは、ある種〈食べる〉ことを考えてみるというこの企画自遠回りになってしまったが、私が料理対決のコメントを読みなおしたと

たちと同じように。
てみるまでわからない、そういうことに抗い難い魅力を感じるすべての人てしまっただろう。私だけでなく他の方々も皆きっと。何が起こるか行っ誰がのこのこ出かけて行くというのだろうか。……いや、やっぱり私は行っ誰がのこのこ出かけて行くというのだろうか。……いや、やっぱり私は行っ

タ



安喰 教将(あんじき・のりまさ)

高円寺に MAD SECTION を開業。趣味は『北の国から』鑑賞。現在、『北の国から』のD で働きながら、オリジナルブランドRIDICULEを立ち上げ、卸し販売を始める。二〇〇八年、 代にアルバイトをさせてもらっていた原宿の古着屋 CHOICE に就職。二〇〇六年、古着屋 版も全て所有しています。中古でも五万円位するので、非常に悩んでいます。 VD全巻セットの購入を検討中。因みにVHSでは、ドラマシリーズ・スペシャルドラマ 九八五年生まれ、三一歳。北海道空知郡中富良野町出身。文化服装学院卒業後、学生時

COMPLEX - 情報技術時代の絵画」京都芸術センター(二〇一二)、個展「第4回 shiseido MOT で見る夢」東京都現代美術館(二〇〇九)などがある。ウィーンで九月に開催する art egg・絵画的主体の再魔術化」資生堂ギャラリー(二〇一〇)、「MOTコレクション・ 個展「成層圏 vol.6 私のゆくえ 村山悟郎」ギャラリーα M(二○一二)、「TRANS 「VOCA展 2013 現代美術の展望―新しい平面の作家たち」上野の森美術館(二〇一三)、 個展に向けて制作に励んでいます。執筆の BGM は Aphex twinの新譜 "Cheetah EP" でした。 のヴィジュアル -触発のつらなり∫Takuro Someya Contemporary Art, Kashiwa(二○一三)、

岳志(かじた・たけし)

マネージャ。好きな相場は東京とうもろこし 会社・会員事業部サービス開発グループ長を経て、株式会社お金のデザイン・プロダクト 一九八二年生まれ。京都府京都市下京区出身。大阪大学人間科学部卒。クックパッド株式

國島 萌衣 (くにしま・もえ)

クトショップ STUDIOUS 博多店に勤務。 最近の興味はクレンズジュースとリンパマッサー ンショーの代表を経験したのち、アパレルベンチャー TOKYO BASE に就職。現在はセレ 一九九四年生まれ。日本女子大学家政学部被服学科卒。在学中の二年間、学内ファッショ

久保 明教 (くぼ・あきのり)

る現代人類学の展開」『現代思想』41(8): 172-183(青土社)がある。好きな食材は、豚 バラ肉、うすいえんどう、カニカマ。 紀日本の機械と人間』(世界思想社)、「人類学機械と民族誌機械――ガタリ記号論からみ て文化/社会人類学の観点から研究を行う。著書・論文に『ロボットの人類学 博士(人間科学)。一橋大学大学院社会学研究科・准教授。科学技術と社会の関係につい 一九七八年生まれ。神奈川県大和市出身。大阪大学大学院人間科学研究科単位取得退学。 | 20世

村山 悟郎(むらやま・ごろう)

展覧会に、個展「監獄のファンタジー」小金井アートスポット シャトー 2F (二〇一五)、 員としてウィーンにて滯在制作。現在、ウィーン大学間文化哲学研究室客員研究員。主な ンを、絵画やドローイングをとおして表現している。二〇一〇年、チェルシーカレッジ 課程美術専攻油画(壁画)研究領域修了。二〇一五 - 一七年、文化庁新進芸術家海外研修 MA ファインアートコース(交換留学)。二〇一五年、東京芸術大学美術研究科博士後期 「東京芸術大学 大学院美術研究科 博士審査展」東京芸術大学美術館(二〇一四)、「生成 一九八三年、東京生まれ。アーティスト。博士(美術)。自己組織化するプロセスやパター

> 責任編集 組版デザイン 二〇一六年七月二三日発行 澤宏司 vol. 9

E!

WEBプランニング (Eureka Project) 園原 譲

近藤 和敬

facebook.com/yuzuru.jp

表紙・グラフィックデザイン

@yuzurujp on Twitter

企画協力 takamura.mai.mai [at] gmail.com

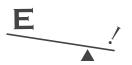
高際 俊介

発行所

エウレカ・プロジェクト

www.eureka-project.jp

ISSN 2188--756X



EUREKA PROJECT